2023年度 姫路日ノ本短期大学幼児教育科カリキュラムのナンバリング

ナンバリングとは授業科目にナンバーを付して分類化することにより、教育課程の体系性を明示し、学生の履修科目選択の支援を行う。 ナンバリングの構成: カテゴリー + 分野 + 枝番 +-(ハイアン)+ 必修・選択 + 履修年次 (ex) 1 01 10 - A 1

1	基礎教養科目	s	01	人文自然	₹ 0	2 社会	03 語学	04 情報	05 キャリア	06 スポーツ	枝	(2桁)
2	専門科目	ij	01 07	原理 表現技		心理 08 実習	03 保健 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	04 福祉 報処理 10	05 養護 ビジネス	06 保育実践		10~90
, A	科目の赤字は卒業必修	# E	В	ピンクに	幼保	必修科	∃ C #	色は幼稚園	收論二種免許	F必修科目		
D	■赤色は幼稚園教諭二種	重免	許達	聲択科目								
ŧΕ	■グリーンは保育士資格	Ø1	科	目	F	薄いグ	リーンは保証	育士資格選択	科目 G	■青は情報処理	世士資格科目	
				_								
G	■資格薄い青は情報処3	里士	選抄	7	н	グレー	は卒業選択	科目				

		G ■ 資格簿い育は情報処理	工選択 H ■クレーは	华果遇 択科日		
		1 1年次履修 2 2年次履修				
1	基礎教養科	目				
	01 人文自然	10110-A1 キリスト教学	10120-A12 特別活動A	10130-H 自然と生命	10111-EG2 キリスト教保育	
	02 社 会	10210-E12 特別活動B	<mark>10220-C1 日</mark> 本国憲法	10230-F2 生活経済	10240-EG12 社会人基礎講座	10250-E12 ボランティア活動
		10260-EG1 子どもと遊びA	<mark>10261-EG1 子</mark> どもと遊びB			
	03 語 学	10310-C1 日本語表現 I	<mark>10311-C2 日本語表現Ⅱ</mark>	10320-CE1 英語		
	04 情報	10410-CG1 ICT活用講座A	10411-CG1_ICT活用講座B			
	05 キャリア	10510-F1 キャ <mark>リアデザイン</mark> I	10511-F2 キャ <mark>リアデザイン</mark> Ⅱ	10520-G2 インターンシップ I	10521-G2 インターンシップ II	
	06 スポーツ	10610-B1 生涯スポーツ	10611-B1 スポーツと健康			
2	専門科目					
	01 原 理	20110-A1 キリスト教教育	20120-B2 教育原理	20130-B2 保育者論	20140-D2 保育原理	20150-E1 人権教育の研究
	02 心 理	20210-B1 教育心理学	20211-D2子ども家庭支援の心理学	20220-B2 保育相談	20230-D2 子どもの理解と援助	
	03 保 健	20310-D1 子どもの食と栄養	20320-D2 子どもの保健	20322-D2 子どもの健康と安全		
	04 福 祉	20410-D1 子ども家庭福祉	20411-D1 社会福祉	20420-D2 子ども家庭支援論		
	05 養 護	20510-D1 社会的養護 I	20511-D1 社会的養護Ⅱ	<mark>20520-C1 特</mark> 別支援	20530-D2 子育て支援	
	06 保育実践	<mark>20610-C1 子ど</mark> もと健康	20611-C1 子どもと人間関係	<mark>20612-C1 子ど</mark> もと環境	<mark>20613-C1 子ど</mark> もと言葉	<mark>20614-C1 子ど</mark> もと造形表現
		<mark>20615-C1 子ど</mark> もと音楽表現				
		20616-B1 保育内容演習健康	20617-B1 保育内容演習人間関	孫 <mark>20618-B1 保育</mark> 内容演習 環境	20619-B1 保育内容演習 言葉	
		20620-B1 保育内容演習 表現 I	20621-B2 保育内容演習 表現 II	20617-D2 保育内容演習 総合表現	20610-B2 保育内容総論	
		20620-C2 教育課程論	20630-C2 保育実践演習	20640-C2 保育方法論	20650-D1 乳児保育 I	<mark>20651-D2 乳</mark> 児保育Ⅱ
		20660-D2 保育の計画と評価				
	07 表現技術	20710-C1 器 _楽 I	20711-C2 器 <mark>楽Ⅱ</mark>	20712-C1 器楽IA	20713-C1 器楽 I B	
		<mark>20712-C2 器</mark> 楽ⅡA	<mark>20713-C2 器</mark> 楽ⅡB			
		<mark>20720-D1 幼</mark> 児音楽 I A	<mark>20721-D1 幼</mark> 児音楽 I B	<mark>20722-E2 幼</mark> 児音楽ⅡA	20723-E2 幼児音楽ⅡB	
		20730-B1 造形 I A	20731-B1 造形 I B	<mark>20732-E2 造</mark> 形ⅡA	20733-E2 造形IIB	
		20740-B1 幼児体育 I A	20741-B1 幼児体育 I B	20742-E2 幼児体育ⅡA	20743-E2 幼児体育ⅡB	
		20750-H2 総合音楽	20760-H2 絵画表現			
	08 実 習	20810-C1 教育実習 I	<mark>20811-C1 教</mark> 育実習指導 I	<mark>20812-C2 教</mark> 育実習Ⅱ	20813-C2 教育実習指導Ⅱ	
		20820-D1 保育実習 I A	<mark>20821-D1 保育</mark> 実習指導 I A	20822-D1 保育実習 I B	20823-D12 保育 実習指導 I B	
		20824-E2 保育実習Ⅱ	20825-E2 保育実習指導Ⅱ	20826-E2 保育実習Ⅲ	20827-E2 保育実習指導Ⅲ	
	09 情報処理	20910-F1 コンピュータ概論	20920-G1 WORD演習 I	20921-G2 WORD演習 II	20930-G1 EXCEL演習 I	20931-G2 EXCEL演習 II
		20940-G2 デジタル <mark>グラフィックス I</mark>	20941-G2 デジタ <mark>ルグラフィックス Ⅱ</mark>	20950-G2 デジ <mark>タルムービー I</mark>	20960-FG2 プレゼンテーション演習	
		20970-F1 情報処理実習 I	20971-F2 情報処理実習Ⅱ			
	10 ビジネス	21010-G1 初級簿記A	21011-G2 初級簿記B	21012-G2 簿記演習	21020-G2 コンピュータ会計 I	21021-G2 コンピュータ会計 II

<参考> 卒業必修 →幼保必修 →幼免必修 →保育士必修 →保育士選択 →情報必修 →情報選択 →卒業選択 A B C D E F G H ホ字科目 →ビンク色 →黄 色 →濃みどり色 →薄みどり色 →濃い青色 →薄い青色 →卒業選択

目 次 幼 児 教 育 科

【1年次】 **基礎教養科目**

【2年次】 基 礎 教 養 科 目

キリスト教学	坂 牛	1	特別活動 A 橋 崎	54
特別活動 A	橋 崎	2	特別活動 B 藤 田	55
特別活動 B	山本區	3	日本語表現 II津田嶋・井口	56
日本語表現 I	井口	4	キャリアデザイン II (保育) 谷 本	57
	小南	5		58
キャリアデザイン I (保育)	谷本	6	インターンシップ I 谷 本	59
キャリアデザイン I(ライフ)	谷本	7	インターンシップ II 谷 本	60
英 語	岡 野	8	キリスト教保育 坂 牛	61
ICT活用講座A	津田	9	生活経済津 田	62
ICT活用講座B	津 田	10	ボランティア活動 谷本・山本	63
ボランティア活動	本・山本	11		
生涯スポーツ	小 野	12		
スポーツと健康	小 野	13		
専 門 科 目			専 門 科 目	
*			*	
教育心理学	林	14	教育原理	64
特別支援	川島	15	保育内容演習「表現Ⅱ」 渕 田	65
子どもと健康	小野	16	保育実践演習	66
子どもと人間関係	津田。	17	器楽 Ⅱ 池田ṣ·宇治田·髙礒·福田·藤井 _萬	67
子どもと環境	藤田	18		68
• = • =•				
子どもと言葉	井口	19	器楽 ⅡB 池田ṣ·宇治田·髙礒·福田·藤井జ	69
子どもと造形表現	津田=	20	保育者論津 田嶋	70
子どもと音楽表現	渕 田	21	教育課程論 田 口	71
保育内容演習「健康」	山本	22	保育内容総論 藤 田	72
保育内容演習「人間関係」	津 田曲	23	保育方法論 濱 田	73
保育内容演習「環境」	藤田	24	保育相談 藤田	74
保育内容演習「言葉」	松 本#	25	教育実習指導 Ⅱ 津田 _曲 ·山本	75
保育内容演習「表現 I 」	渕 田	26	子育て支援 山本 島	76
造形 I A	森	27	子どもの保健 早野・松本ҙ	77
造形 IB	森	28	子どもの健康と安全 内 海	78
幼児体育 IA	小 野	29	子ども家庭支援論 山本 山本 島	79
幼児体育 IB	小野	30	子どもの理解と援助 松本#	80
キリスト教教育	 時 久	31	保育の計画と評価 藤田	81
器楽 I 池田ş·宇治田·高礒·福		32	乳児保育 工 前 田	82
器楽 I A 池田ṣ・宇治田・高礒・福	四、旅开画	33	保育実習指導 IB 藤田·山本 島	83
器楽 I B 池田ṣ・宁治田・高礒・福	四・膝弁画		保育内容演習「総合表現」 小野・松本*・向井	
		34		84
	本・津田』	35	幼児音楽 II A	85
保育原理	井口	36	幼児音楽 II B 向 井	86
社会福祉	山本。	37	造形 II A	87
子ども家庭福祉	濱 田	38	造形 IIB 井 口	88
社会的養護 I	山本副	39	幼児体育 Ⅱ A 小 野	89
子ども家庭支援の心理学	山本區	40	幼児体育 ⅡB 小 野	90
子どもの食と栄養	橋 本	41	保育実習指導 Ⅱ 藤田・山本 農	91
乳児保育 I	前 田	42	保育実習指導 II 山本邑·藤田	92
社会的養護 Ⅱ	山本區	43	WORD 演習 Ⅱ 野 口	93
幼児音楽 I A	松本溫	44	EXCEL演習 II 野 ロ	94
幼児音楽 IB	松本溫	45	プレゼンテーション演習 津 田	95
	⊞・山本疊	46	デジタルグラフティックス I 佐藤	96
	田・山本島	47	デジタルムービー I 佐藤	97
休月天自扫得 1 D			テンダルムービー 1 佐 藤 情報処理実習 Ⅱ 津 田	
コンピュータ概論	津田	48		98
	野口	49	簿記演習 ————————————————————————————————————	99
EXCEL演習 I ·	野口	50	コンピュータ会計 I 津田	100
情報処理実習 I	津田	51	コンピュータ会計 Ⅱ 津 田	101
初級簿記 A	津田	52		
初級簿記 B	津田	53		
専 攻 科【2 年 次】				
保育者論特講	津 田曲	102	図画工作演習 佐 藤	109
教育原理特論	井口	103	臨床心理アセスメント 竹 本	110
教育制度論特講	井口	104	相談援助研究 ————————————————————————————————————	111
乳児保育特論	中尾	105	子どもと健康 小 野	112
器楽演習 I	池田泉	106	情報処理研究 Ⅱ津田	113
器楽演習Ⅱ	池田泉	107	修了研究 Ⅱ -1津 田 _□	114
奋朱演音 II	心 田京 井 口	107	修了研究 Ⅱ-2津 田 _曲	115
小日ズ以明九 単	л Ц	100		113

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
キリスト教学				1年次							
(10110-A1)		講義	2		必修	保育士資格選択	坂牛 裕				
(10110-A1)	1 🗆 2	大学圏の建学	の蛙油・麻由	前期 トスの甘琳で	なる七川つト	数精神について学ぶ。 数					
授業の到達目標	2. キリ	スト教のメッ	セージに触れ	、学んだこと	を自分の言葉で	改権所について子ぶ。 で表現できるようになる。 て生活な知識を身につける。					
学位授与の方針 との関連	キリスト	・教精神に基づ	く倫理観や愛	と奉仕の精神	を身につけてい	いる。					
授業の概要		日容を時系列的 ・では自分の表				て「人としてのあり方」を覚 勉強をします。	さびます。				
	回数				授業						
	1	オリエンテー	ション・自己	紹介アンケー	· }						
	2	イエスキリス	\			新約聖書のメッセージ①					
	3	世界の宗教と	キリスト教			新約聖書のメッセージ②					
	4	天地創造 ア	ダムとイブ			新約聖書のメッセージ③					
	5	ノアの箱舟	バビロンの塔			新約聖書のメッセージ④					
	6	アブラハム~	イサク			新約聖書のメッセージ(5)					
	7	イサク~ヤコ	ブ			新約聖書のメッセージ⑥					
授業計画	8	ヤコブ〜ヨセ				新約聖書のメッセージ⑦					
	9	モーセ① 出	エジプト			新約聖書のメッセージ®					
	10	モーセ② イ		İ		新約聖書のメッセージ⑨					
	11	クリスマス			1分間スピーチ①						
					1分間スピーチ②						
	12 イースター イエス様復活 1分間スピーチ② 13 ローマとキリスト教 1分間スピーチ③										
	-	13 ローマとギリヘト教 1 万間へに一り⑤ 14 カトリックとプロテスタント 1 分間スピーチ④									
		14 カトリックとプロテスタント 1分間スピーチ④ 15 振り返りとまとめ									
		低り返りこま									
授業の評価	「平常点「その他	- [] : 出席及び L] : なし	毎回のレポー			ーチ (20%)					
課題 (レポート等) のフィードバック	・レポー	- 卜等の課題は	、コメントと	評価を付して	返却する。						
事前・事後の学習 等の内容	復習:配	を業内で紹介され 発力で紹介される。 発力である。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	熟読および返	却したレポー	トの確認をし、	授業内容について理解を終	そめること。				
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に	つき自習も含め)て45時間の含	学修が必要です	上。事前学習((135分) 事後学習(1	35分)				
履修上の注意	・配布フ ・居眠り 減点ある ・座席を	積極的に参加 プリントは各自 、私語、授業 いは欠席扱い 指定する。理 画に沿って授	で管理するこ に関係のない とする。 由なき移動は	と(紛失して 行為、許可の 減点対象とす	も原則再配布 にない携帯電話	しない)。 ・タブレット等の電子機器の	D使用は、				
テキスト	 適宜プリ	ントを配布す	<u></u>								
参考書		(新共同訳)参考書につい									
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	ξ̂								

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
特別活動A				1年次通年									
(10120-A12)		演習	1	2年次通年	必修	保育士資格選択	橋崎 良治						
	1. キ	リスト教的	_ 人生観、世界	■ 『観、倫理観	を理解して自	己の人間形成に役立て	る。						
授業の到達目標		と奉仕の精社 ャペルアワ-		-	の参加を通し	,て建学の精神を理解す	- 5.						
学位授与の方針 との関連	・社会		要な幅広い視			Pにつけている。 こは、コミュニケーショ	ン能力や課題発見・						
授業の概要		チャペルアワーやキリスト教関連行事の参加を通じて、キリスト教精神、建学の精神についての 全びを深める。											
	04.	0.1777	1.=#= 구는 피신 그는 피신	L. Hodas	授業内		. L 7 1 1						
		ペルアワー <i>に</i> の礼拝形式		い、聖書を	就み、メッセ	アージを聴き、お祈りを	うるという						
		の礼拝形式		⁻ る。									
				- 0	置かれている	。 講師から聖書の話を	·きき、讃美						
						リスト教の雰囲気にふ							
	する。												
授業計画						は味を考え、平和や、人	、権問題、						
22361	貧困な	どの現代の詞	果題等につい	ても考える	機会を持てる	らようにする。 							
	() この	他のキリス	と数則す行す	ごとお加する									
					0	その直の音味を学ぶ							
		クリスマス点灯式・・・イエスキリストの降誕にあたり、その真の意味を学ぶ。 クリスマス礼拝・・・・イエスキリストの降誕を祝う。											
	卒業礼拝・・・・・本学における教育の締めくくりとして卒業式前日に行い、												
						氰と勧励の場として礼拝							
			・・・卒業式	に参加する	ことを通じて	.、建学の精神について	理解を深める。						
授業の評価	, ,	験」: 占 チャ/	ペルタウ勢は	動への取り	組み状況。	(5.0.9/)							
1文未の計画		点」 . ティ・ 他」 : 感想ご				(50%)							
		167 . 1676/2	K TKU E	(40100)	(0 0 70)								
課題 (レポート 等) のフィードバック	・授業	内容に関する	る質問につい	いては、個別	又は全体に回]答する。							
	, 4 1	ペルマロ・□	目仏さ 不無当	三野お結羽1	<i></i> ⊁И ШПЛ)聖書を読んで理解して	· ta /						
東治・東然の学型)聖書を読んで理解して 『するよう配慮する。	40 / o						
事前・事後の学習 等の内容	–					こついて記入する。							
		にある教会に			•	0							
事前・事後の学習 に必要な時間	1単位に	こつき自習も	含めて45時	間の学修が必	必要です。事	前学習(45分)事	後学習(45分)						
	活動の	参加にあたっ	 っては、私語	吾を慎みおご	そかな思いて								
 履修上の注意													
Impa/ED													
テキスト	新共同訳聖書(日本聖書協会) 讃美歌21(日本基督教団出版局)												
参考書													
その他	【オフィス	アワー】各活動	の前後										

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名							
特別活動B				1年次通年										
(10210-E12)		演習	1	2年次通年	必修	保育士資格選択	山本 邑太							
授業の到達目標		講演会やセミナーを通して、幼児教育に関する専門性を高め、また、多様な視点を身につける。												
学位授与の方針 との関連		として必要 ⁷ けている。	な視野や柔軟	マな思考力、	またはコミニ	- ニケーション能力や講	題発見・解決能力を							
授業の概要		の教科学習だけでは獲得することのできない社会人としての素養を自治会活動や 3会等の様々な活動を通して培うことを目指す。												
						內容								
			学内活動に	参画したうえ	たで、参画時	の積極性、行動を評価で	する。							
	<1年》			- 88										
	1 入当			間										
	 2 新ノ 3 大当 	人生歓迎会 ※祭	2時	f間 幸間										
		^{上宗} 学祭準備	2時											
		己 是教育講演会												
	6 卒第		2時											
授業計画	1年次台	計	16	時間										
	<2年》													
	1 入当			間										
		新入生歓迎会 2時間 大学祭 5時間												
		大学祭準備 2時間 2時間												
		ーポーパ 見教育講演会												
	6 卒第		2時											
	2年次台	平次合計 16時間												
	総合計		32	<u>時間</u>										
授業の評価	「平常					「コミュニケーション 示書)を課す場合がある								
課題(レポート 等) のフィードバック	「平常	験」: 点」:活動 [。] 他」:活動 [‡]		·状況(50										
事前・事後の学習 等の内容	•授業	内容に関する	る質問につい	ては、個別	又は全体に回	1答する。								
事前・事後の学習 に必要な時間	1単位に	こつき自習も	含めて45時	間の学修が必	必要です。事	前学習(45分)事	後学習(45分)							
	活動に	は積極的に国	取りくむこと	0										
履修上の注意														
テキスト														
参考書														
その他	【オフィス	アワー】各活動	の前後	_										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
日本語表現 I				1年次		幼免必修					
		演習	1		選択	保育士資格選択	井口 佳江				
(10310-C1)	① ¬?	- b. 3/-	いたり出む	新期	アルル明十	情報処理士選択					
授業の到達目標	② 自身	が伝えたいこ	とを簡潔にま	とめ、他者に	わかりやすく	るスキルを身につける。 伝えることができるようにな きるようになる。	ప 。				
学位授与の方針と関連					生きる人とし、 決能力を身に・	て必要なコミュニケーション つけている。	能力を有し、				
授業の概要 「読む・書く・話す」の三つの領域にわたる基本的な日本語表現能力が身につけられるよう、課題に取り組む。 社会人として求められる敬語や文書に関する基本的な知識を学び、実践できるよう練習する。											
	1	日本語の重要	性、授業概要	の説明、大学	でのノートの	取り方、初年次教育					
	2				く端的に相手	•					
	3				熟語・慣用表	現・ことわざ・故事成語					
		敬語の種類・									
					電話対応の敬	語・連絡メモの取り方					
	6	7112120	・・メールの	псл							
	7	文章表現②・					_				
授業計画	8			かみ要約する		グループワーク)					
	9					グループリーク) ループワーク)					
	11					<u>ルーファーテル</u> を作成(グループワーク)					
	12			_		みよう(グループワーク)					
	13			ープ発表)と							
	14			ープ発表)と							
	15	全体のまとめ									
	「試験」	: 課題レポ	ート (40%)								
授業の評価	「平常点	」:ディスカ	ッション等、	出席・授業態	度・授業への	参加意欲(30%)					
		」:グループ									
課題(レポート等)の フィードバック			. 0		すい、そこで≒ 全体に回答す♪	, - 0					
事前・事後の学習等の 内容						べて学習してくること。 受業内容の具体的実践を行う	こと。				
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の	学習が必要です	上。事前学習 「	(45分)事後学習(45分)				
						トもメモをとる。					
						ないようにすること。					
履修上の注意					可のないスマ	ートフォン・タブレット等の	電子機器の				
		、減点あるい		する。							
		指定する場合	-	進行(4)コルト	- ア始然士ス	こしがたフ					
					って前後する	ことかめる。 【トレーニング 実践編』三征	全				
テキスト		・偏平 修・3 リント配布	~ 다시시기 [ハテエッため	、 □/や叩びり	コー・ 一マノ 大政権』二1	3 2 .				
参考書			安部朋世 編『	大学生のため	の 日本語表現	トレーニング スキルアップ	プ編』三省堂				
その他	【オフィ	スアワー】授	業の前後								
	1										

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
日本国憲法				1年次		幼免必修						
(10000 G1)		講義	2		選択		小南 浩一					
(10220-C1)	L a de VI			前期		保育士資格選択						
		とはそもそも				日子ファレ がポキフ						
授業の到達目標						握することができる。						
	3. 目取	3. 目的としての人権保障と、手段としての三権分立について理解することができる。										
W(1) = 1. A.	社会人と	1 ア必要お恒	たい 相略 ぬみ	動か田老力	キ たけつミュ	ニケーション能力や課題発見	• 解沖					
学位授与の方針 との関連		けている。	四、加西、木	力パよ心でつり、	A/C/4- \		1 万千万代日ログリ					
憲法とは何か、何のためにあるのかという憲法の立憲主義について解説する。												
												Les Ms James—a
授業の概要	を説明す	⁻ る。										
	回数				授業	内容						
	1	はじめに 憲	法とは何か									
	2	憲法の立憲主	義 その歴史	[と意味								
	3	平和主義の原										
	4			法解釈 (デ	ィベートを行う	5)						
	5	基本的人権の	-									
	6	人権規定の核				-0						
授業計画	7					ープワークを行う)						
	9	集会・結社・ 基本的人権の		刊例を紹介9	<u>ව</u>							
	10	社会権 憲法		冬について								
	11	統治機構、権										
		12 国会、内閣、裁判所										
	13	憲法改正問題										
	14	日本国憲法の	成立の歴史的	経緯								
	15	まとめ										
	「試 験	〕: 学期末	筆記試験 (3 0 %)								
授業の評価	「平常点	〕: 出席点	、授業への貢	献度 (20%	%)							
	「その他	」」: レポー	ト (20%)									
	÷# 87 1	· 1111-	ユ ※**** (*******************************	上っ								
課題 (レポート等) のフィードバック	珠翅レ小	パートについて	は、伱削返却	90.								
事前・事後の学習	予習:テ	キストの該当	箇所を通読し	、各回の授業	内容を把握し	ておくこと。						
等の内容						いて理解を深めておくこと。						
本学 本体の英型に V												
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	つて45時間の学	学修が必要です	上。 事前学習	(135分) 事後学習 (13	35分)					
V 22. 41E3												
			/п Л. Б. 18 л. —	11	₩ 급) ~ 스 소마=+:	k = 1) 1 2 - k) ,						
履修上の注意		.配布 した判例: ぶず精読してお		リントは、授	美甲に全部読	むことはできないので、						
	復首で必	り相前してわ	\ _ < 0									
	 											
テキスト	伊藤真『	『伊藤真の憲法』	入門』講義再	現版第6版(日	日本評論社、20	017年)						
]											
参考書	樋口陽一	·『いま「憲法	改正」をどう	考えるか』岩	波書店、2013年	年						
7 . M.	【オフィスアワ	ー】 毎週火曜	日 授業の後									
その他												
	<u> </u>											

3 年 9 7 9 7 9 7 9 7 1 (総育) 議権	科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
(10510-1)	キャリアデザインI	(保育)			1年次			
日来の生きが極います。	(10510 1)		講義	2	/// 1km	選択	保育士資格選択	谷本 章三
世界の神体日様	(10510-1)	T	- 1 > 1 - 2 51). I.)		4 - 2// 11/27 11	- 1	
 (佐秦の別注目標								
字が使表の力針 との問題	授業の到達目標							
	[大木・八左 h]	3. 保育	についての理り	解を深め、保	育者としての	豊かな資質能	力を醸成する。	
		lu ed M			. == /= .			
を含むつけている。						-		
投業の観要		見・解決能力						
投業の観寒 おりを育成し、より良い保育者としての自立を促す。 投業内容	との関連	を身に	こつけている。					
投業の観寒 おりを育成し、より良い保育者としての自立を促す。 投業内容								
投業の観寒 おりを育成し、より良い保育者としての自立を促す。 投業内容					. ta s	4	to the second second second	
回数 おリエンテーション「キャリアデザインの意味と意義の遺脈と護機計画等を知る」(別年次教育) おリエンテーション「キャリアデザインの意味と意義の遺脈と護機計画等を知る」(別年次教育) 自己認知と自己音定感の施収 4 年本名ことでまたとと「個下ことの「人生をデザインする」 4 年本名こととでまたとと「個下ことの「人生をデザイン中る」 5 年名こととでまたとと「個下ことの「人生をデザイン中る」 5 年名こととでまたとと「個下ことの「人生をデザイン中る」 6 自立して個「ことの連絡運解「角」が変われるに参える」 7 月 小して個「ことの連絡運解「角」が多考える」 8 自立して個「ことの連絡運解「角」が多考える」 9 機能的自立の必要と表の仕組み 10 学問制理送班と社会経験機能 11 保養職としてこれからの自分を考えるの「保育士の仕事について知る」 12 保養職としてこれからの自分を考えるの「保育士の仕事について知る」 13 保養職としてこれからの自分を考えるの「自分が思い捨て保育士像をデザイン中る」 14 保養職としてこれからの自分を考えるの「自分が思い捨て保育士像をデザイン中る」 15 学問の扱り返りと「主との」 15 学の形の 15 学の形の変わる「主との制」 16 保護をしてこれからの自分を考えるの「自分が思い捨て保育士像をデザイン中る」 17 学の権力 18 大業機長、意欲など(20%)「その地」:講義ノート・場出物(20%) 7 年の地) 17 年の地) 18 第 第 1 年の地) 18 第 第 1 年の地) 18 第 1 年の時 18 9 9 9 9 1 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	授業の概要				-		目身のキャリア能力で進路選	択ができ
オリエンテーション「キャリアデザインの意味と意義の病解と講義計画等を知る」(初年次教育) 2 前別の版と返りを短生生活をデザインする(紹介を教育) 3 自己認知と自己作政の助政 4 生きること・学ぶこと・職くこと①「人生をデザインする」 5 生きること・学ぶこと・職くこと①「人生をデザインする」 6 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 7 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 7 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 9 職業的日立の必要性と概の任組の 10 労働開連規と社会保御制度 11 兵舎職として記からの自分を考える①「保育上の仕事について知る」 12 保育職として記からの自分を考える②「国を知る」 13 保育職として記からの自分を考える③「富か知る」 14 保育職として記からの自分を考える③「富か知る」 15 学習の振り返りと「まとめ」 16 戦 計・経総職験 (6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2000	る力を育	成し、より良い	い保育者とし	ての目立を促	す。		
オリエンテーション「キャリアデザインの意味と意義の病解と講義計画等を知る」(初年次教育) 2 前別の版と返りを短生生活をデザインする(紹介を教育) 3 自己認知と自己作政の助政 4 生きること・学ぶこと・職くこと①「人生をデザインする」 5 生きること・学ぶこと・職くこと①「人生をデザインする」 6 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 7 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 7 自立して個くこと②海路理解「職徒と適性について考える」 9 職業的日立の必要性と概の任組の 10 労働開連規と社会保御制度 11 兵舎職として記からの自分を考える①「保育上の仕事について知る」 12 保育職として記からの自分を考える②「国を知る」 13 保育職として記からの自分を考える③「富か知る」 14 保育職として記からの自分を考える③「富か知る」 15 学習の振り返りと「まとめ」 16 戦 計・経総職験 (6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								
2 前期の振り返りと短大生活をデザインする (初年次教育) 3 月 日記郷上日己肯定施の熟成 4 生きること・学ぶこと・働くこと①「人生をデザインする」 5 生きること・学ぶこと・働くこと②「人生における役割を考える」 6 白立して働くこと②連路理解「職権と適性について考える」 7 月立して働くこと②連路理解「同社の封復と仕事をする上での価値観を考える」 8 月立して働くこと②連路理解「同社の対像と仕事をする上での価値観を考える」 9 概念的意立の必要性と扱い仕事。 10 労働陽速比規と社会隔離測度 11 医育機としてこれからの自分を考える②「保育士の仕事について知る」 12 保育機としてこれからの自分を考える②「保育士の仕事について知る」 13 保育機としてこれからの自分を考える②「保育士の仕事について知る」 14 保育機としてこれからの自分を考える②「保育士の仕事について知る」 15 学習の表り返りと「まとめ」 15 学習の表り返りと「まとめ」 「学常点」・授表態度、常数など(2 0 %) 「平常点」・授表態度、常数など(2 0 %) 「平常点」・提表して、ト・特出物(2 0 %) 「単位に小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		回数						
2 日本後の上き字系と上・領くこと①「人生をデザインする」 1 年本をこと・字系と上・領くこと②「人生とデザインする」 1 年本をこと・字系とと・領くこと②「人生における役割を考える」 6 日立して働くこと②連路理解 「職債と強性について考える」 7 日立して働くこと②連路理解 「職債と強性について考える」 8 日立して働くこと②連路理解 「働意力を考える」 9 競別自立の必要性を投の仕組み 10 労働関連法規と社会幹題制度 11 保育課としてこれからの自分を考える②「原を知る」 13 保育課としてこれからの自分を考える②「原を知る」 13 保育課としてこれからの自分を考える③「原められる保育主像」 14 保育課としてこれからの自分を考える③「原められる保育主像」 15 学部の長り返りと「まとめ」 15 学部の長り返りと「まとめ」 16 学部の長り返りと「まとめ」 17 大の他」:講義ノート・提出物(20%) 「早常点」:授業態度、意欲など(20%) 「その他」:講義メート・提出物(20%) 「平常点」・授業態度、意欲など(20%) 「その他」:講義メート・提出物(20%) 「本の他」:講義メート・提出物(20%) 「本の他」:講義メート・提出物(20%) 第一次の内容 20%		1	オリエンテー	ション「キャ	リアデザイン	の意味と意義	の理解と講義計画等を知る」	(初年次教育)
4 生きること・学ぶこと・働くことの「人生をデザインする」 5 生きること・学ぶこと・働くことの「人生における夜報と考える」 6 自立して働くことの過略理解「自己の特徴と仕事をする上での価値観を考える」 7 自立して働くことの過略理解「自己の特徴と仕事をする上での価値観を考える」 8 自立して働くことの過略理解「自己の特徴と仕事をする上での価値観を考える」 9 機能的自立の必要性と扱の仕組み 10 労働関連法規と社会保障制度 11 保育職としてこれからの自分を考えるの「原有士の仕事について知る」 2 保育職としてこれからの自分を考えるの「随を知る」 13 保育職としてこれからの自分を考えるの「加きい端く保育土像をデザインする」 14 保育職としてこれからの自分を考えるの「加きい端く保育土像をデザインする」 15 学科の展り返りと「主とめ」 16 鉄製: 筆記試験(6 0 %)「不常点: は養業態度、意欲など(2 0 %)「その他」:講義ノート・提出物(2 0 %) 17 その他」 講義としたに授業内容をまとめ振り返りをする。 18 日の清義時のレポート等の提出物を清義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや		2	前期の振り返	りと短大生活	をデザインす	る (初年次教	育)	
1		3						
授業計画 6 自立して働くこと①進路理解「職権と適性について考える」 7 自立して働くこと②進路理解「国金力を考える」 8 自立して働くこと③進路理解「働金力を考える」 9 職業的自立の必要性と視の仕組み 10 労働類連法規と社会保障制度 11 保育職としてこれからの自分を考える②「保育士の仕事について知る」 12 保育職としてこれからの自分を考える③「保育士の仕事について知る」 13 保育職としてこれからの自分を考える③「東的もれる保育士像」 14 保育職としてこれからの自分を考える③「東められる保育士像」 15 学習の振り返りと「まとめ」 16 学習の振り返りと「まとめ」 17 栄育成験(60%) 「デポル」:接業態度、意欲など(20%) 「平常点」:接業態度、意欲など(20%) 「での他」:講義サート・提出物(20%) 禁題 (レボート等) のフィードバック 新回の講義時のレポート等の提出物を譲載者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 李前・事後の学習「表別したデートを通能し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 復習:返却したレポート等に再度日を通し、理解を深めること。 李前・事後の学習に 必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135 分)事後学習(135 分) 「職務との注意 講義中は私語を慎み、講義ノートにメモを取り学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 教禁。 「東京、海童・「東京、大阪・「東		4	_	-			-	
校業計画		5		,	0 ,			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		_				-	-	
8 目立して働くことの進路整輝(働き方を考える)	授業計画	7					る上での価値観を考える」	
10 労働関連法規と社会保障制度		_				考える」		
11 保育職としてこれからの自分を考える①「保育士の仕事について知る」 12 保育職としてこれからの自分を考える②「園を知る」 13 保育職としてこれからの自分を考える③「求められる保育士像」 14 保育職としてこれからの自分を考える④「自分が思い描く保育士像をデザインする」 15 学習の凝り返りと「まとめ」 「許 験」 : 築記試験 (6 0 %) 「表記」 : 接表地度、意欲など (2 0 %) 「その他」: 講義ノート・提出物 (2 0 %) 「その他」: 講義ノート・提出物 (2 0 %) 「毎回の講義時のレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 李前・事後の学習に								
12 保育職としてこれからの自分を考える②「聞を知る」 13 保育職としてこれからの自分を考える③「求められる保育士像」 14 保育職としてこれからの自分を考える③「求められる保育士像」 15 学習の振り返りと「まとめ」 15 学習の振り返りと「まとめ」 「試 験」: 筆記試験(60%) 「平常点」: 授業態度、意飲など(20%) 「平常点」: 授業態度、意飲など(20%) 「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 15 大変に使業内容をまとめ振り返りをする。 15 大変に使業内容をまとめ振り返りをする。 15 大変に対したレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや		-				- [/II-tr.] - //:		
13 保育職としてこれからの自分を考える③「求められる保育士像」		-					事について知る]	
14 保育職としてこれからの自分を考える①「自分が思い描く保育士像をデザインする」 15 学習の版り返りと「まとめ」 「試験」: 筆記試験(60%) 「で歌人: 「装業態度、意欲など(20%) 「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 毎回の講義時のレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 予習:配布した資料や講義ノートを通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 復習: 返却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分) 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分) 「講義中は私語を慎み、講義ノートにメモを取り学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 実践キャリア考(実教出版) 【ゼロバリー】 随時		-					/D - * // / / / / / / / / / / / / / / / /	
15 学習の振り返りと「まとめ」							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>
「蔵、験」: 筆記試験 (60%) 「平常点」: 授業態度、意欲など(20%) 「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 課題 (レポート等) のフィードバック 毎回の講義時のレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 事前・事後の学習等の内容 中部・事後の学習に必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分) 議義中は私語を慎み、講義ノートにメモを取り学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考 (実教出版) 【オババワー】 随時		-) 目分か思い	描く保育士像をアサインする)]
授業の評価 「平常点」: 授業態度、意欲など(20%) 「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 課題(レポート等) のフィードバック 毎回の講義時のレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 事前・事後の学習 等の内容 毎回のおおいました。 年前・事後の学習に のでは、変型に変却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に 必要な時間 日単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135 分) 事後学習(135 分) 事後学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 厳禁。)]			
「その他」: 講義ノート・提出物(20%) 課題(レポート等) のフィードパック	極業の調査				0.00/)			
課題(レポート等) 毎回の講義時のレポート等の提出物を講義者がコメントを付して次回に返却するので講義ノートや 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 事前・事後の学習 等の内容 事前・事後の学習に 必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135 分) 事後学習(135 分) 服修上の注意 講義中は私語を慎み、講義ノートにメモを取り学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考(実教出版)	(文表の計画		-					
のフィードバック 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 事前・事後の学習 等の内容		「その他	」:講義ノー	下• 提出物(20%)			
のフィードバック 資料とともに授業内容をまとめ振り返りをする。 事前・事後の学習 等の内容	細胞 (1.48 1 株)	毎回の講	義時のレポー	ト筌の提出物	を講義者がコ	メントを付し	て次回に返却するので講義!	ートや
事前・事後の学習 等の内容 予習:配布した資料や講義ノートを通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 復習:返却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に 心要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (135 分) 事後学習 (135 分) 事務学習 (135 分) 事務學習 (135 分)						, , , , , , , ,	TOTAL CALL OF THE STATE OF THE	
等の内容 復習:返却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に		21100	01-12/10/17	2012171117	~= / = / = 0			
等の内容 復習:返却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に								
等の内容 復習:返却したレポート等に再度目を通し、理解を深めること。 事前・事後の学習に	東前・東然の学羽	予習:配	布した資料や	講義ノートを	通読し、各回	の授業内容の	既要を把握しておくこと。	
必要な時間		復習:返	却したレポー	ト等に再度目	を通し、理解	を深めること。		
必要な時間								
必要な時間								
必要な時間 講義中は私語を慎み、講義ノートにメモを取り学習に励むこと。授業中の許可のないスマホ使用は 厳禁。		1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	上。事前学習	(135 分) 事後学習	(135 分)
履修上の注意 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考(実教出版) 【オフィスアワー】随時	必要な時間	. ,—					, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
履修上の注意 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考(実教出版) 【オフィスアワー】随時								
履修上の注意 厳禁。 テキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考(実教出版) 【オフィスアワー】随時								
アキスト 使用しない。講義ごとに資料を配布する。 参考書 実践キャリア考(実教出版) 【オフィスアワー】随時	H. 11. 33. 44	講義中は	私語を慎み、	講義ノートに	メモを取り学	習に励むこと。	授業中の許可のないスマホ	:使用は
参考書 実践キャリア考 (実教出版) 【オフィスアワー】随時	履修上の注意	厳禁。						
参考書 実践キャリア考 (実教出版) 【オフィスアワー】随時								
参考書 実践キャリア考 (実教出版) 【オフィスアワー】随時								
参考書 実践キャリア考 (実教出版) 【オフィスアワー】随時								
【オフィスアワー】随時	テキスト	使用しな	い。講義ごと	に資料を配布	する。			
【オフィスアワー】随時								
【オフィスアワー】随時								_
	参考書	実践キャ	リア考(実教)	出版)				
								<u> </u>
		【オフィスアリ	/- 】随時					
	その他							

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
キャリアデザインI	(ライフ)	講義	2	1年次	選択	情報処理士必修	谷本 章三					
(10510-2)		再我	2	後期	迭八	用報处连工必修	日本 早二					
	1. 将来	の生き方や働	き方について	考え、自分自	身で進路選択	できる力を身につける。						
	2. キャ	リア形成のた	めの意欲、関	心、態度、能	力を獲得する。							
授業の到達目標	3. ライ	フキャリアか	らワークキャ	リアへの見通	しが持てる力	を育む。						
	・教科学習及び実習を通じて実践力を習得している。											
学位授与の方針	・社会人	社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力										
との関連	を身に	こつけている。										
授業の概要			き方や働き方	について考え	、身につけた	自身のキャリ能力で進路選択	ができる					
以水中 [6] 女	力を育成	さする。										
		T										
	回数					内容	(Lataret M. In)					
	1					の理解と講義計画等を知る」	(初年次教育)					
	2	自己認知と自		成(初年次教	(育)							
	3	短大生活をデ		12 = 1. @ [L	4.4 一世 ボノン	-h 7 .						
	4	生きること・	-			·						
	5 6	生きること・自立して働く				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
	7			•		へる」 る上での価値観を考える						
授業計画	8	職業的自立の				る上への画心既で与んる」						
	9	労働関連法規										
	10	職をイメージ			る :グルー	-プワーク						
	11	社会生活にお	ける消費者ト	ラブル対策に	ついて:グル	ープワーク						
	12	The state of the s										
	13											
	14	Wall alle to be to 2.2.2.2.2.5.5.5.5.4.4.2.4.2.2.3.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5										
	15	学習の振り返	りとまとめ「	2年次に向け	て目標作成」							
	「試 験	〕:筆記試験	(60%)									
授業の評価	,,.	(」:授業態度、										
	「その他	」:講義ノー	ト・提出物(20%)								
	毎回の謎	羊吐のしせ	1 体の担山畑	た誰主老ボっ	J > / L ナ.仕 l :	て地国に追加士をの本護美!	1. %					
課題 (レポート等) のフィードバック		・我時のレホー ・もに授業内容:			メントを刊し	て次回に返却するので講義ノ	- 1.4					
0001 1000	貝付ここ	もに技兼的谷	とまとの扱り	及りをする。								
事前・事後の学習	予習·酥	中 布した資料や	講義ノートを	诵読1. 各回	の授業内容の	既要を把握しておくこと。						
事制・事後の子首 等の内容		却したレポー										
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	て45時間の気	学修が必要です	。事前学習	(135 分) 事後学習	(135 分)					
必要な時間												
履修上の注意	講義中は	私語を慎み、	講義ノートに	メモを取り学	習に励むこと。	授業中の許可のないスマホ	使用は					
腹	厳禁。											
	H-m, ,	., . =± →- ~, .	ファンかい ユーコーノ・									
テキスト	使用しな	い。講義ごと	に貸料を配布	- 9 る。								
							_					
企业 事	宝駐モ い	・リア考(実教)	开程)									
参考書	大成ヤヤ	ノノ 与(夫教)	ЦЛХ)									
	7 1 - · · ·	2 1 174.04										
その他	【オフィスアリ	7-】随時										
Ç : - <u>E</u>												
<u> </u>	1											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
英語				1年次		幼免必修							
		演習	2		選択		岡野 真由子						
(10320-CE1)				後期		保育士資格選択							
授業の到達目標	2. 英語		、天気、手遊	び歌等を日常	的に、気軽に位	力を獲得する。 保育に取り入れられる力を身 保育現場で実践できる力を養							
学位授与の方針 との関連	・社会人	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力を身につけている。											
授業の概要		K国および岡山県西粟倉村でのモンテッソーリ教育の実践をもとに、日本の子ども達と楽しめる 英語表現や様々な遊びを学ぶ。											
	回数				授	業内容							
	1	授業内容と西	栗倉村におけ	゙るモンテッソ	ーリ幼児教育	(英語) の実践紹介 & 英語	で自己紹介						
	2	あいさつ・天	気・日付など	* 日々の保育	で使える英語	表現&歌あそび							
	3	英語絵本の読	み聞かせと関	連遊び									
	4	英語絵本の読	み聞かせと関	連遊び & プロ	ノゼンテーショ	ン							
	5	秋の遊び Hal	loween										
	6	外国人保護者	に対する対応	・挨拶・病気	の伝え方など								
授業計画	7	英語でアート	Vol.1										
1又未可凹	8	映画から学ぶ	英語表現										
	9	英語でアート	Vol. 2										
	10	中間テスト											
	11				木琴、リズム	スティック等)							
	12	英語で音遊び		ーション									
	13	クリスマスの											
	14	冬の遊び&プ											
	15		, ,	プレゼンテー	ション								
		〕:筆記試験											
授業の評価		[]:授業への			貢献度(40°	%)							
	「その他	」:発表・提	出物(30%)									
課題 (レポート等) のフィードバック	実技発表	その課題は個別	もしくは全体	にコメントを	付する。								
事前・事後の学習 等の内容						ーズに慣れ親しんでおくこと を高めておくこと。	o						
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の質	学修が必要です	r。事前学習	(135分)事後学習(13	55分)						
履修上の注意	幼い子ども達を前にし、受験英語の得手不得手は関係ない。学生自身の心と世界が開かれるよう 授業に臨むこと。												
テキスト	適宜配布	iする											
参考書													
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
ICT活用講座A				1年次		幼免必修					
101佰用再座	1	演習	1	14次	選択	保育士資格選択	津田 敏				
(10410-CG1)				前期		情報処理士選択					
授業の到達目標	2. スマホ	ているスマホ ・タブレット リティ・機器	・パソコンの	ハードウェア	・ソフトウェ	アの基礎知識を身につける。					
学位授与の方針 との関連	教科学習	及び実習を通	じて実践力を	習得している	0						
授業の概要	ピイユリティ・機器自生について子の、与後の情報任云でのIOI石用について考える。										
	回数				授業	内容					
	1	スマホを知る	MNO • MVNO	• SIM							
	2	スマホを知る	SIM·LTE·	5G							
	3	スマホを知る		Twitterについ	ハて						
	4	スマホを知る		・Lineについ							
	5	スマホを知る		°リとスマホ管							
	6	スマホを知る		・ィ脆弱につい							
	7	スマホを知る			neとTwitter対	1.44c					
授業計画		,				7					
	8	パソコンを知		·ネット・IPア	トレス						
	9	パソコンを知		•							
	10	パソコンを知	•	e Hardware							
	11	パソコンを知									
	12	パソコンを知									
	13	パソコンを知									
		パソコンを知									
	15	パソコンを知	る 関連機器	メモリ・カメ	ラ・スキャナ						
	「試 駿	〕: 定期試験	È (65%)								
授業の評価	「平常点「その他	i」: 小テスト i」:	(20 %),	平常点(15%)						
課題 (レポート等) のフィードバック		2回に1度の小 容に関する質				不足について指摘し補う。					
事前・事後の学習 等の内容						内容の概要を把握しておくこ め問題を掲載しているので学					
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	宁。事前学習	(30 分) 事後学習	習(30 分)				
履修上の注意		コミュニケー して情報処理				いる。ソフトを使えるだけで と。	なく、				
テキスト	『スマホ	・パソコン活	用基礎知識』	津田敏著	2021年						
参考書											
その他	【オフィスアワ	ワー】授業の前後		Classroom							
· 											

1	科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
(10411-03) 後期 情報報題上遊秋 情報報題上遊秋 投資の資産目標	ICT活用講座B	3	\- <u>+</u> - \(\forall \)	_	1年次	\22 LD		Note that the last						
技権の到途目標	(10411 CC1)		演習 1 選択 保育士資格選択 津田 敏											
技業の利益目報	(10411-061)		1月 7次 月 7次 平 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
接来の概要	授業の到達目標	2. スマー	-トフォン・US	Bフラッシュ	メモリ内・Web	上のデータをI	PCやタブレットPCで活用でき	るようになる。						
ICTS用力を向上させるとともに今後の情報社会でのICTS用について考える。		教科学習	数科学習及び実習を通じて実践力を習得している。											
1	授業の概要													
2		回数				授業	[内容							
2		1	文書処理ソフ	トによる作品	1作り①									
技業計画		2	文書処理ソフ	トによる作品	51作り②									
大学教師		3	文書処理ソフ	トによる作品	51作り③									
授業計画		4	文書処理ソフ	トによる作品	51作り④ 発表	表								
技楽計画		5	文書処理ソフ	トによる作品	L2作り①									
8		6	文書処理ソフ	トによる作品	12作り②									
8 表計算処理ソフトによる作品3作り① 提出 10 表計算処理ソフトによる作品4作り① 11 表計算処理ソフトによる作品4作り② 提出 13 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り② 14 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り② 15 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 16 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 16 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り④ 発表 「試験」: 「学常点」:文書処理作品2作品、表計算作品2作品、Ph作品1作品 5作品=85%、平常点 (15%) 「その他」: は選題 (レボート等) のフィードバック ・ スマートフォンとタブレットPC接続等の活用について助音助力する。・・ソフトによるファイル作成、発表をチェックし、理解不足について指摘し補う。・・投業内容に関する質問については個別に質問を受け回答する。 事前・事後の学習に参考の内容 である。技術等について理解を深めておくこと。 事前・事後の学習に必要な時間 は会につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (30 分) 事後学習 (30 分) 「社会人としての情報処理能力が求められている。ソフトの機能を駆使した情報発信ができることもその一つである。社会人としての情報処理能力を修得するように意識して学ぶこと。 「おなし	極業計型	7	文書処理ソフ	トによる作品	52作り③ 発表	表								
10 表計算処理ソフトによる作品4作り① 提出	1文未訂 四	8	表計算処理ソ	フトによる作	≒品3作り①									
11 表計算処理ソフトによる作品を作り② 提出		9	表計算処理ソ	フトによる作	≒品3作り② 扌	是出								
13 プレゼンテーションソフトによる作品5作り① 14 プレゼンテーションソフトによる作品5作り② 15 プレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 16 プレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 発表		10												
14 プレゼンテーションソフトによる作品5作り② 15 プレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 16 プレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 発表		11												
15 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り③ 発表 16 ブレゼンテーションソフトによる作品5作り④ 発表 18 較 1 「平常点」: 文書処理作品2作品、表計算作品2作品、Pp作品1作品 5作品=85%、平常点 (15%) 下その他」:		13												
16 プレゼンテーションソフトによる作品5作り④ 発表 「試 験」: 「平常点」: 文書処理作品2作品、表計算作品2作品、Pp作品1作品 5作品=85%、平常点 (15%) 「その他」:														
「試験」:														
授業の評価				ションソフト	による作品5位	下り④ 発表								
・ソフトによるファイル作成、発表をチェックし、理解不足について指摘し補う。 ・授業内容に関する質問については個別に質問を受け回答する。 事前・事後の学習	授業の評価	「平常点	〔〕:文書処理	作品2作品、茅	表計算作品2作	品、Pp作品1作	日 5作品=85%、平常点	(15%)						
等の内容 復習:授業で学んだ機能、技術等について理解を深めておくこと。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (30 分) 事後学習 (30 分) 事後学習 (30 分) 事後学習 (30 分) を要な時間 社会では情報処理能力が求められている。ソフトの機能を駆使した情報発信ができることもその一つである。社会人としての情報処理能力を修得するように意識して学ぶこと。 テキスト 指定なし 参考書 【オフィスワラー】授業の前後		・ソフト	によるファイ	ル作成、発表	をチェックし	、理解不足につ	ついて指摘し補う。							
必要な時間														
社会人としての情報処理能力を修得するように意識して学ぶこと。		1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	上。事前学習 ((30 分) 事後学	習(30 分)						
参考書 【オフィスアワー】授業の前後	履修上の注意							その一つである。						
【オフィスアワー】授業の前後	テキスト	指定なし	,											
	参考書													
	その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	ź										

科目名/カリキュラ	ムNO.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
ボランティア活動	動	実習 1 1 選択 保育士資格選択 谷本 章三 山本 郁子											
(10250-E12)				2年次通期			H1\44 110 1						
授業の到達目標	感じられるようになる。 3. ボランティア活動を通して、人として社会人として自己の人生を豊かなものにしていく。												
学位授与の方針 との関連	・社会人	・キリスト教精神に基づく倫理観や愛と奉仕の精神を身につけている。 ・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、または、コミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。											
授業の概要	自発的な意思により、人や社会と関わることを通して自己の再発見や自己実現の中で社会貢献を していく。												
	回数					業内容							
	1					計画等について」(講義)							
	2			に基づく活動									
	3	・任会性、理・無償性、無	帯性のある活										
	5		お性に基づく 拓性・先駆性										
	6				(何時・何処								
	7	・自己の特技			- (I-1) I-1	これのくらい シの残反である							
授業計画	8)に参加した										
	9	ボランティア	活動の心構え	と自己評価									
	10	・守秘義務の	確認・自	己の行動、言	動には責任を	持つ							
	11	・PDCAサ	イクルの実践	を心掛ける	・相手や仲	間の立場、考え方を尊重する	5						
	12	・一人で抱え	込むのでなく	、みんなで仕	事を分担する								
	13				き生きと楽し		_,,,,,						
	14					定の用紙に事業所から確認を	『をもらう 						
	15	【まとめ(所定 〔」: ボランラ				者に提出する) 7.0%)							
授業の評価		、」 .		百期时间、总有	A、愿及守 (7 0 78)							
課題 (レポート等) のフィードバック		を施したボラン・れをもとに常				チェックの上、アドバイスを							
	予習:ボ	ランティア活	動先の業務内	容を事前に把	握し、活動内線	容や活動場所を確認しておく	. 0						
事前・事後の学習						べきか常に考えておく。							
等の内容	復習:自	分の実習先で	の行動を振り	返り、反省点	を次回に生かる	す。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の	学修が必要です	广。事前学習((45 分)事後学習(4	45 分)						
履修上の注意	原則、各自がボランティア活動場所を開拓し自ら参加し活動を行うこと。担当者から活動場所を紹介することもある。実習時間は、合計40時間以上で単位認定を行う。(単位認定は、卒業年度の後期に行う)2年間(長期履修者は3年間)の在学中に活動参加をすること。												
テキスト	テキスト 講義ごとに資料を配布する。												
参考書	自治体等の発行するボランティア通信等												
その他	【オフィスアリ	7-】随時											
-	-						•						

科目名/カリキュラ	ムN0.	ANO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
生涯スポーツ		1年次 幼免必修										
(10610-B1)		実技										
(10010-01)	1	スポーツの意拿	≤ 去, ∓田 毎27 1 年			保育工賞恰必修						
授業の到達目標	2.スポー	ーツの実践を通	通して、精神的	勺、身体的、裆	上会的な健康増	進の重要性を理解する。						
2010 - 2012 11 11		3. 安全にスポーツを行うための留意事項を理解し、安全なスポーツ実践の方法を身につける。 4. 生涯にわたるスポーツ実践のための知識と技能を身に付ける。										
		4. 生涯にわたるスポーツ実践のための知識と技能を身に付ける。										
200		・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。 ・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・										
学位授与の方針 との関連		・ 社会人として必要な幅広い倪野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。										
	/J+V(IIC	177 27 (2 217										
	自らがス	ポーツを楽し	む経験を積ん	でいきます。								
155 MK - 2 MW - 117	前期期間	中に数種のス	ポーツを楽し	みます。								
授業の概要	全ての種	目、基本技術	の習得からは	じめ、段階的	に授業展開を	行います。						
	最終的に	はゲームを楽	しめるように	していきます	0							
	回数				授業	:内容						
	1	オリエンテー										
	2	ゴール型スポ	ーツゲームの	実践 フット	サル							
	3	フットサル										
	4	フットサル	' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	## ×=1	1.18.0							
	5	ゴール型スポ		実践 バスケ	ットホール							
	6 7	バスケットボ バスケットボ										
授業計画	8	ネット型スポ		宝践 バド	ミントン							
	_	バドミントン		大以 / 1	7717							
	10	バドミントン										
	11	ネット型スポ	ーツゲームの	実践 卓球								
	12	卓球										
	13	卓球										
	14	ネット型スポ	ーツゲームの	実践 ソフ	トバレーボー	ル						
	15	ソフトバレー										
		〕:レポート										
授業の評価		、」:授業態度		%)								
	「その他	」:提出物(2 0%)									
課題 (レポート等) のフィードバック	各授業終	子時に振り返	りシートを提	出。特記事項	についてはフ	ィードバックを行う。						
事前・事後の学習 等の内容		—				っては予習を行うこと。 業内容の振り返りとまとめを	行うこと。					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の質	学修が必要です	一。事前学習((45分) 事後学習 (4	15分)					
履修上の注意	 ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、授業前に必ず申し出ること。 											
テキスト	適宜資料配布											
参考書	適宜資料配布											
その他	【オフィスアワ 授業の前	-										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
スポーツと健康	ŧ	-46.345		1年次	244 LE	幼免必修						
(10611-B1)		講義	1	後期	選択	保育士資格必修	小野 昌二					
(10011 D1)	1 7 12.	.W	トノブな話し、		┃ ┃する知識を獲							
		ーノ・エクリリ こおける健康の				を付9 ②。						
授業の到達目標		これける健康。 こスポーツを行			-							
		とスポーツの			ه لا							
		・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
 学位授与の方針		・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・										
との関連		・ 社会人として必要な幅点が発射や未動な芯与力、またはコミューケーション能力や床磨光光・ 解決能力を身につけている。										
授業の概要	実技では	、、スポーツ・	エクササイズ	を通して健康	の維持増進を	図る。						
反素の似安	理論では	、健康的な生	活を営むため	の知識を学ぶ	0							
	回数					内容						
	1					レーニング とは						
	2			ニュースポーツ	.,							
	3				のルールと応	,						
	4				ポーツとルール							
	5				ーツの動きと							
	6 7	バドミントン			ーツの動きと ポーツの運営・	•						
授業計画	8				ルーノの運営・ ポーツの運営・	· ····						
	9	健康と環境	() 4.9.		1、 ノの座呂・	· 天成						
	10	健康と発育・	発達									
	11	健康と運動①										
	12	健康と運動②										
		生活習慣と健										
	14	私たちの体と	健康									
	15	健康と安全・	救急処置									
	「試 験	〕:筆記試験	(実技試験は	(行わない) (30%)							
授業の評価	「平常点	.」:授業態度	、意欲(50	%)								
	「その他	」:提出物(20%)									
		le West is to										
課題 (レポート等) のフィードバック		、授業時に提			明十て ツ亜	に応じて個別に説明する。						
0) / 1 - 1/199	貝向に、	いては、反果	时に主件に回	川 (凹合し就	切りる。 必安(に応して個別に就明する。						
	【宝坛】	予習:食事、時	血肥学 休調	む敕うでむく								
事前・事後の学習		(1) 首・良事、明 復習:心身のク										
事制・事伎の字質 等の内容	I					尋るようにしておく。						
		復習:授業の内										
	1											
事前・事後の学習に必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の	学修が必要です	上。事前学習	(45 分) 事後学習 (45	5 分)					
女体門則												
	授業を受	:ける態度や取	り組む姿勢を	·評価する。								
		が著しく悪い										
履修上の注意		い、病気等の										
The state of the s						付けることは安全面から禁止						
						水分、タオルを用意する、貴 *** ***	重品					
	の官埋を	すること。連	!動かできない	場合、診断書	があれば別途	対応する。						
ニキット	`离 <i>'</i>	而去										
テキスト	適宜資料	HLTH.										
	1											
参考書	適宜資料	·配布										
2 1												
	【オフィスアワ	授業の前後	 ¥									
その他		• 2000 - 2 mark										

科目名/カリキュラ	ムNO.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
教育心理学		演習	2	1年次	選択	幼免必修 保育士資格必修	林 幹士						
(20210-B1)	1. 保	後期 後期 1000 10											
	2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる スピものへの理解を深める												
授業の到達目標	1	子どものへの理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わり											
	1	や体験、環境の意義を理解する。											
		保育に関する専門的知識・技術を修得している。											
学位授与の方針 との関連	保育に	関する専門的	知識・技術を	と修得している	,) ₀								
との財理													
	本講義	では、大きく	以下の3点に	ついて学修し	ていく。								
授業の概要		達を捉える視ん											
122/10/20		どもの発達過程		、 アベキフ									
	3. 于 回数	どもの学びと位	未育、につい	いしである。		授業内容							
		子どもの発達	の理解とその	の意義		3×3×17-1							
	2	子どもの発達	と環境(事	例を通しての	ケースワーク)								
	-	発達観、子ど											
		保育実践の評 社会情動的発											
		社会情動的発											
松米利西		社会情動的発											
授業計画		身体的機能と		発達									
		認知の発達①											
		認知の発達② 認知の発達③											
		乳幼児期の学											
	13	乳幼児期の学	びの過程と	持性①認知的常	学び								
		乳幼児期の学											
		乳幼児期の学 験 : 筆記試			直してのケー	スワーク)							
授業の評価		・			」・態度) (2	2 0 %)							
	「その	他」:提出物	(感想、小し	ンポート、ノー	-ト・ファイル	など) (20%)							
課題(レポート等)		~## - 7)	19 1 1 = -)	V- V- D 0 46	5 W	. A >							
のフィードバック	授業内	で実施するレ	ホートについ	いて、次回の形	受業内で解説る	2行り。							
事前・事後の学習	事前学	習:テキスト	の該当箇所に	こついて、事前	かによく読んで	ごおくこと。							
等の内容	事後学	習:授業で確認	認したテキス	ストの箇所や酢	2布資料等につ	ついて、復習してい	くこと。						
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に	こつき自習も含	うめて45時間	の学修が必要	です。事前学	習(135 分)事	F後学習(135 分)						
Z.2.0163													
	積極的	に文音を記述	するこしか せ	 どめます また	- 授業内のう	ニーマに関すステレ	について 善段から関心を						
		積極的に文章を記述することを求めます。また、授業内のテーマに関することについて、普段から関心を 高めておくこと。授業内で積極的に自分の意見を述べること。											
履修上の注意	同めてねくこと。坟来内で偵慳叩に日刃の息兄を迎へること。												
テキスト	『新・基本保育シリーズ8保育の心理学』公益財団法人児童育成協会=監修/杉村伸一郎、山名裕子=編集												
参考書	授業時に適宜紹介する												
その他	【オフィス	アワー】随時											

科目名/カリキュラ	ムN0.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
特別支援				1年次		幼免必修						
(20520-C1)		演習	2	後期	選択	保育士資格必修	川島直子					
(20320 C1)	1 陪宝児	(早苔の其般)	かる理今と倫		識を翌得」「		 ストレができる					
授業の到達目標	2. 障害児	. 障害児保育の基盤となる理念と倫理・専門的知識を習得し、障害児保育の実践に反映することができる。 . 障害児保育の専門的知識を踏まえ、個々の障害に応じた適切な支援及び環境構成等について習得し、障害児支援等に 舌かすことができる。										
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	わが国では、障害に対する理解と障害児を取り巻く環境の整備に向けて取り組んでいる。 本講座では、ソーシャルインクルージョンを目指すために、インクルーシブ保育・教育に携わる専門職に 必要な知識及び実践的視点を養成する。 併せて、障害の特性を理解し、発達に課題のある子どもたちの"生きづらさ"に着目しつつ、 個々に応じた適切な支援のあり方について学んでいく。											
	回数				***	業内容						
	1					保育・教育)の理論と実践」						
	2					障害の捉え方〜 マッセミナ						
	3	障害の概念			害の概念、障	書の挺え万~						
	5	身体障害の定		1日 基平伝								
		知的障害・発	*	`								
	7	精神障害の概		•								
授業計画	8	視覚・聴覚障	害の特性と配	慮								
	9	肢体不自由の	特性と配慮									
	10	知的障害の特	性と配慮									
	11	発達障害・情	緒障害の特性	と配慮								
	12	障害児の生活	のしづらさと	保護者のニー	・ズ							
	13	障害児の福祉	に関する理念	と動向								
	14	特別支援(イ	ンクルーシブ	"保育・教育)	に関する理念	と動向						
		L		「保育・教育)	に関する制度	・機関・連携						
152 Mg op 377 /mg		[]: 筆記試		(200/)								
授業の評価		.」: 授業態 .」: レポー										
		」. ・ト等の課題は			ろ.							
課題 (レポート等) のフィードバック					る。 体に回答する。							
	予習:テ	キストや参考	書の該当箇所	を通読し、各	回の授業内容の	の概要を把握しておくこと。						
事前・事後の学習		時間、次回授										
等の内容						業内容について理解を深めて を課すことがある。	C					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	。事前学習 「	(135分) 事後学習(135分)					
履修上の注意	テキスト 配布プリ	専門職者を目指す者として自覚して受講すること。 授業内容に関する質問、疑問は積極的にしていただきたい。 テキスト、配布プリント等は授業前に準備し、定刻に授業が開始できるようにする。 配布プリントは一つにファイリングし、毎授業ごと持参する。										
テキスト	・『ソーシャルインクルージョンのための障害児保育』堀智晴・橋本好市・直島正樹 編 ミネルヴァ書房 その他、必要に応じて随時紹介する。											
参考書	・『保育福祉小六法』保育福祉小六法編集委員会編 みらい出版											
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	ź									

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもと健康		VI. 77		1年次		幼免必修							
(20610-C1)		演習 1 選択 小野 昌二 小野 昌二 小野 昌二 小野 山田 小田 小野 山田 小田											
授業の到達目標	1. 幼児期の健康な心と体を育てるために必要な知識や技能を理解する。 2. 幼児期の心身の発達に関する知識や情報を理解する。												
学位授与の方針 との関連	幼児教育	効児教育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	・ 乳幼児が生活や遊びの中で積極的に身近な環境と関わることの意義、その重要性、発達に及ぼす影響について理解を深める。・ 環境に関わる力を育てる保育のあり方とその実践的内容について学ぶ。 健康な心と体を育むために、安全な生活や活動を考える。また、常に社会の変化に敏感な観点を持ち、子どもの現状理解を深める。												
	回数				授業	内容							
	1	オリエンテー	ション・健康	をに生きるため	に必要なもの	を考える							
	2					(間の権利としての健康	=						
	3	保育における	領域「健康」	のねらい・内	容:保育所保	育指針や幼稚園教育要	領を理解する						
	4			:発育と発達									
	5					健康の現状について理							
	6					せるための方法と理解	:						
授業計画	7			もの保育につ 意義と歴史を									
	9			息報と歴史を いて制度や社会		ナス							
	10					ッ る ついて理解する							
	11					子どもの健康を理解す							
	12	たいりこれ た険予知とそ			и Э <u>у</u> СБију	10000000000000000000000000000000000000	.2						
	13				ークを通じて	課題を抽出し現状を理	解する						
	14	0		: 課題の解決			741 7						
	15	まとめ		•									
	「試 験] :筆記試験	(40%)										
授業の評価		.」: レポート .」: 提出物(態度(50%)								
課題(レポート等) のフィードバック		返りシートを		の共有と課題	の確認を行う。	,							
事前・事後の学習 等の内容	・事前学 ・事後学			の通読を通じ 業内容をまと		概要を把握しておく							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の ^質	学修が必要です	¯。事前学習	(45分)事後学習	(45分)						
履修上の注意	・テキスト、資料は必ず持参すること・グループワークでは、積極的に発言すること・課題の提出は、期限を守ること												
テキスト	幼稚園教	育要領、幼保	連携型認定こ	ども園教育・	保育要領、保	育所保育指針							
参考書	授業で適宜資料を配布する												
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	发										
	-												

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
子どもと人間関	係	N. 77		1年次		幼免必修	N
(20611-C1)		演習	1	前期	選択	保育士資格必修	津田由加子
授業の到達目標	2. 人間関 ⁴ 3. 幼児期 通じて育	係が幼児の心 の人間関係の まれることを	情や思考の成 発達について 理解している	現代の特徴と 長に大きな影、身近な大人。	やこども園や		
学位授与の方針 との関連	幼児教育	に関する専門	的知識・技術	を習得してい	る。		
授業の概要						関係」の主旨やその内容 方法をグループワーク等	について理解するとともに、 を通じて学んでいく。
	回数				授業	:内容	
				(人間関係)			
					: (グループワ	<u> </u>	
						着・信頼関係)	
	_				いて (協調・	葛藤)	
		幼児期の感情 感情を調整す					
		恐惧を調整 9 乳幼児期の自					
授業計画				とは(グルー	プワーク)		
		幼児期の共同			,,,,		
	10	共同性を育む	あそびと援助	」(チーム制・	ルール・目標) (グループワーク)
	11	家庭→園→地	域とのひろが	る人間関係の	理想と課題に	ついて	
	12	地域と保育・	幼児教育の接	続を「人間関	係」を通して	考える (グループワ	ーク)
	13	多様な幼児と	のかかわりと	:援助について			
				係」における	資質と能力		
		まとめレポー					
授業の評価		」:筆記試験 :レポート		•			
1文未り計画		」.レゕート 」:提出物()					
課題 (レポート等) のフィードバック	・レポー	ト等の課題は	、コメントを	付して返却す	る 全体に回答す	3.	
事前・事後の学習 等の内容	・事前学 ・事後学			の通読を通じ 業内容をまと		既要を把握しておく	
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位につ	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	广。事前学習	(45 分) 事後	後学習(45 分)
履修上の注意	・グルー	ト、資料は必 プワークでは 提出は、期限	、積極的に発				
テキスト	幼稚園教	育要領、幼保	連携型認定こ	ども園教育・	保育要領、保 [·]	育所保育指針	
参考書	授業で適	宜資料を配布	する				
その他	【オフィスアワ・	一】 授業の前	 前後				

科目名/カリキュラ	ANO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもと環境		演習 1 1年次											
(20612-C1)		供日	1	前期	迭扒	保育士資格必修	(実務家教員)						
授業の到達目標	1. 子どものためになる環境を理解する。 2. 保育者が創り出す環境について理解する。 3. 子どものためのよりよい環境を創り出す保育者の役割について理解を深める。												
学位授与の方針 との関連	保育に関	する専門的知	識・技術を習	得している。									
授業の概要	子どもにとっての「環境」、保育者にとっての「環境」、様々な経験を通して環境について基礎知識を 学習する。												
	回数 1	イントロダク	S/ = 3/		:	授業内容							
	2			・どもの発達に	おける意義								
	3	乳幼児にとっ	て自然環境は	ままな環境か									
	<u>4</u> 5	環境とのかか 環境としての			田いた伊杏・	教育について考える							
	6			保育・園外保		教育について与える							
	7	環境としての	自然3 保育	計画の立案									
授業計画	8			たものをどの わりにおける		ていくかを考える							
	9					との関わりの発達							
	11	子どもの身近	な環境との関	わりにおける	情報・施設、	との関わりの発達							
	12			り巻く環境の	現代課題と幼	児の発達							
	13	幼児期の学び	における「塚	[現]									
	14	乳幼児にふさ	わしい身近な	:環境と環境構	成、幼児の活	動の姿と、援助方法の	あり方とその実践とふりかえり						
	15	まとめ											
授業の評価	「平常点	」:課題(5 .」:授業態度 .」:提出物(、レポート (40%)									
課題 (レポート等) のフィードバック			•	付して返却す 、個別または	- 0	ప .							
事前・事後の学習 等の内容		的、目標をも 業内で学んだ			らの保育の財	産にしましょう。							
事前・事後の学習に 必要な時間	一単位に	つき自習も含	めて45時間	の学修が必要	です。事前学	習(45分) 事後	学習(45分)						
履修上の注意	学ぶ姿勢、楽しみながら授業に参加すること。自身が保育者になったときのことを想像しながら共に学びを 深めていきましょう。												
テキスト	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館												
参考書	授業内で紹介する。												
	【オフィスアワー】												
その他	授業前後												
	以未削饭	•											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
子どもと言葉				1年次		幼免必修						
1 亿 6 亿 日来		演習	1	14次	選択	初光化修	井口 佳江					
(20613-C)				前期		保育士資格必修						
授業の到達目標	1. 人間にとっての言葉の意義や機能を理解する。 2. 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。 3. 幼児にとって児童文化財の意義を理解する。 4. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。											
学位授与の方針と関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	「言葉」を学ぶ。	「言葉」と保育の関係を理解し、子どもと「言葉」の関係について考え、保育実践における領域「言葉」 を学ぶ。										
	1	オリエンテー	·ション・「言	葉」ってなん	だろう							
	2	人の育ちと言	葉の役割									
	3	領域「言葉」	のねらいと内	容								
	4	乳児0歳からの	の言葉の育ちる	を支える								
	5	!	未満児の言葉		<u>る</u>							
	6	3歳以上児に										
	7	言葉で伝え合										
	8	遊びから生ま										
授業計画	9	言葉で考える										
	10	言葉でのかか		安りる子とも								
	11	言葉を育む文										
		12 社会変革の中でのこどもの発達と「言葉」										
	13											
	14			おける言葉の	発達とおとな	の役割						
	15	小学校との接	続 まとめ									
	_	: 課題レポ										
授業の評価					カッション、	出席・授業態度・授業への参	加意欲(30%)					
	「その他	」:授業内デ	ィスカッショ	ン (30%)								
課題 (レポート等) の フィードバック			_		テい、そこでコ 全体に回答す。							
事前・事後の学習等の 内容						授業の予習をしておく。テキ ついての理解を深める。	ストを読むに					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の 質	学習が必要です	上。事前学習 ((135分) 事後学習(135分)					
履修上の注意	 ・授業に積極的に参加し、必ずノートを取る。教授者のコメントもメモをとる。 ・教授者のアナウンス(授業に関するお知らせ等)を聞き逃さないようにすること。 ・遅刻、居眠り、私語、授業に関係ない行為、許可のないスマートフォン・タブレット等の電子機器の使用は、減点あるいは欠席扱いとする。 ・座席を指定する場合がある。 ・授業計画に沿って授業を行うが、進行状況によって前後することがある。 											
テキスト	・戸田雅美 編著『演習 保育内容 言葉―基礎的事項の理解と指導法』建帛社											
参考書	・田中謙編『デザインする 保育内容指導法「言葉」』教育情報出版 ・太田光洋・古相正美・野中千都 編『保育ニュー・スタンダード 保育内容「言葉」 一話し、考え、 つながる言葉の力を育てる―』同文書院											
その他	【オフィ	スアワー】授	業の前後									

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもと造形表現	見			1年次		幼免必修							
(20614-C1)		演習 1 選択 選択 保育士資格必修 ・ 造形教育において自らの目的を見出す。											
(20614-01)	1 24年	な数本によれいて	白色の日始ま			保育士資格必修							
		ク教育において を持って自らの											
授業の到達目標		それって _口 り。 そとの違いを受		1107-0									
	0. 12.		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
学位授与の方針	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力を修得している。											
との関連													
授業の概要				– –	るようにする。	かば 田松光 - ウハよ は 17 光1	K#L**						
				を基調として	共創的授業。10	T活用授業。自分なりに造用	多教育のビションを						
		F究に取り組む T	0		1선 게	* 小 ☆							
	回数	素材研究 身	にかませれ	<u>د</u>	授 ラ	美内容							
	2	素材研究身											
	3	素材研究制		70. C刷・る									
	4			・作成する(カ	· ループワーク)								
	5	素材研究発			<u> </u>								
	6	表現研究作											
1-2 N/4 -2 1	7	表現研究美											
授業計画	8	表現研究 表	現したメディ	<u>-</u> アを探す(ク	゛ ループワーク)								
	9	表現研究 制	作										
	10	表現研究 発	表(プレゼン	ケーション)									
	11	修了研究 制	作準備										
	12	修了研究 制	作										
	13	修了研究	表現」につい	ての論文を執	筆する								
	14	修了研究 発											
	15	修了研究 発											
152 Mg 00 = 17 / 17		剣 : 3回の制		%)									
授業の評価		ī」: レポート h	(40%)										
	「その他	<u> </u>											
課題(レポート等)	個々の割	果題はGoogleク	ラスルームト	で提出し、フ	ィードバック	(点数やコメント等) はそこ	で行う。						
のフィードバック						その都度Googleフォーム等							
事前・事後の学習						:場合は事前に行い、準備し	ておくこと						
等の内容	事後学	学習:授業の資	料をGoogleク	ラスルームに	配布するので、	理解を深めておくこと							
事前・事後の学習に必要													
な時間	1単位に	つき自習も含め	りて45時間の気	学修が必要です	す。事前学習(135 分) 事後学習(135 分)						
	#u //- a	>== kg - kg - kg -	~ 1 N. 12	: III E 3-11-10 3-	 12-1								
履修上の注意					·忘れないこと。 らない服装で臨	iteこと。							
	10/02/1	па - женулга	2,020	1340 000	1 3 6 7 71/22 7 1941	.5							
	幼稚園教	汝 育要領、保育	所保育指針、	幼保連携型認	定こども園教育	・保育要領							
テキスト													
	₽vi. →	المحالة من الكما	N			engle 41							
参考書					: 又四郎訳 美術 美習	f出版社 ・成田秀夫編 東信堂							
	u / / /	<u> </u>	,	- C 1/K/UH1/4=	시 다리 때 다니 다	rベロルハ/mm /ベロ王							
その他	【オフィスア	ワー】 水曜日の	昼休み 造形	準備室									
C V기III	<u>L</u>												

科目名/カリキュラム	NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
子どもと音楽表現				1年次		幼兔必修						
(20615-C1)		演習	1	24. ⊔ п	選択	11 去上次 b	渕田 陽子					
(20015-01)	1 可分	旧の遊びぬ出	汗における領	前期	位置べけにへに	保育士資格必修	キ ス					
授業の到達目標	2. 表現 3. 幼児 4. 協働	 乳幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置づけについて要領・指針を基に説明できる。 表現を生成する過程について理解している。 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。 協働して表現することを通し、他社の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。 様々な音楽的表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。 										
学位授与の方針 との関連	幼児教育	り児教育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	幼児の完	当該科目では、領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、 効児の完成や創造性を豊かにする様々な表現遊び(特に音楽に関する)と、その環境構成など の専門的事項についての知識・技能を身に付ける。										
	回数					紫 内容						
	1					構成と内容について説明する)					
	2					達と表現を理解する						
	3				現について考							
	4				現について考							
	5 C					音楽表現について考える③						
	6 7	読譜の基礎と				」 子どもの歌の歌唱法②						
授業計画	8					」 子ともの歌の歌音伝② 指導法 子どもの歌の歌唱法	=3					
	9				基礎知識と表		<u> </u>					
	10					える 表現② 子どもの歌の伴奏法	((1)					
	11	音階と和音③			- ALIACATIAN C	200 TC 00 WO IT XI						
	12				(ICTや映像資	資料などの活用含む)						
	13	音楽的表現活	動の事例に沿	って考える②	(ICTや映像資	資料などの活用含む)						
	14	幼児の総合的	表現活動									
	15	基礎的な楽典	と幼児の音楽	表現について	まとめ							
	「試 験	〕:筆記試験	(50%)									
授業の評価	「平常点	〔〕: レポート	、発表(40	%)								
	「その他	」:提出物(課題)(10	%)								
課題(レポート等) のフィードバック	レポート	にコメントを	記入し返却す	る。								
	事前学習	: テキスト、	配布プリント	等を通読し、	予定している	受業内容の概要を把握してお	らくこと。					
事前・事後の学習 等の内容	事後学習	!: テキスト、	配布プリント	、ディクテイ	クしたノート	を見直し、授業内容について	理解を深めておくこと。					
事前・事後の学習に必要な 時間	1単位に~	つき自習も含め	うて45時間の営	芝修が必要です	⁻ 。事前学習	(45分)事後学習(45分	分)					
履修上の注意	・テキスト、資料は必ず持参すること・グループワークでは、積極的に発言すること・課題の提出は、期限を守ること											
テキスト	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針											
参考書	授業で適宜資料を配布する											
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	ž									

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「健康	表			1年次		幼免必修						
		演習	1		選択		山本 郁子					
(20616-B1)	1 2017T	旧は本ですが	#### シ lo マ か#	後期	-1\\T 7 -	保育士資格必修	7h- 7					
授業の到達目標	2. 乳幼	児の心身の健	康や運動、基	本的な生活習	慣や安全に関	「ねらい」や「内容」を理所する基礎的な知識を身につけな指導,援助ができるように	ける。					
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	の役割に	乳幼児期における健康の意義、健康と心身の発達の関連、健康で安全な生活習慣形成と保育者の役割について理解する。また、子どもの健康教育についてグループワークや実習を取り入れながら学ぶ。										
	回数				授業	内容						
	1	社会生活にお	ける健康的な	:生き方や生活	(課題解決型学	4習)						
	2	保育内容「健	康」の(ねら	い及び内容)								
	3	保育内容「健	康」の保育方	i法								
	4	乳幼児期の身	体的な発達									
	5	乳幼児期の生	活リズムと生	活習慣								
	6	生活リズム・	生活習慣かか	かる指導								
授業計画	7	乳幼児期の食	生活									
及木町西		食文化につい										
	9	食育にかかわ	る指導 (グ	゛ループワーク)							
	10	乳幼児期の運	動発達									
		運動遊びにか										
	12	乳幼児期の安	全									
	13	安全への配慮	と子どもへの	安全教育								
	14	領域「健康」	にかかわる現	代的課題と動	向							
	15	まとめ										
		:) : 筆記試験										
授業の評価		、」:授業態度	、学習意欲、	小テスト、抗	是出物 (40°	%)						
	「その他											
課題 (レポート等) のフィードバック		ト等の課題は	•		-	3 .						
事前・事後の学習 等の内容		キストを通読業を見直し、		.,.,, _ ,_,_								
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	。事前学習	(45分) 事後学習(45分)					
履修上の注意	・学習態度や学習意欲を評価する。・欠席や遅刻が多い場合は学習意欲に欠けるものとする。・毎授業の課題は、必ず提出すること。・必ずテキスト持参で授業にのぞむこと。											
テキスト	『新しい保育講座 保育内容 健康』 河邊貴子・鈴木康弘・渡邉英則(編著)ミネルヴァ書房											
参考書	『事例で学ぶ保育内容 領域 健康』 無籐 隆(著) 倉持清美(編集)萌文書林 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針											
その他	【オフィスアワ	7-】随時										

(公司7-21)	科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
次報 1 京河 第4代 保存士権金を核 2世刊 中加子 技権の対象に対象に応われた対象を表す。				. ,—				, , , , , ,
 技術の利毒目核 投稿の利毒目標 おりよりの金金や子びの遺極を理解し、領域「人間開発」に関わる具体的な物理場面を起定した保育を構想する方法を存在がする。 おりまりを集やすびの遺極を理解し、領域「人間開発」に関わる具体的な物理場面を起定した保育を構想する方法を含します。 投稿の概要 おりまともの令人人関係体をめてる変化が振露を連絡する。 おきりは生態の中で、人人のかかわりをどのような遺種を経て発展させていくのか。また、それを支える保育者の特別を表の概要 「クリニンデーション」 (プレゼンテーション) (プレゼンテーション) (クレゼンテーション) (クレゼンテーンタの大きに対していているの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの		11001001	演習	1		選択		津田 由加子
	(20617-B1)						11 11 - 1111	
接案の概要	授業の到達目標	2. 幼児の身に付け	発達や学びの る。	過程を理解し	、領域「人間	関係」に関わ		
		保育に関	引する専門的知	識・技術を習	得している。			
1	授業の概要							それを支える保育者の指
2		回数				授業	内容	
接来計画								
投業計画		2					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
5		3	私たちにとっ	ての「人間関	係」とは	(プレゼン	テーション)	
6		4	現代の乳幼児	を取り巻く人	.間関係	(プレゼン	テーション)	
投業計画		5	幼稚園教育要	領・保育所保	:育指針・幼保	連携型認定こ	ども園教育・保育要領改訂	(改定) と背景
8 3~5歳児の人間関係の育ちを支える保護者の人間関係		6	幼児期の終わ	りまでに育っ	てほしい姿			
8 3~5-6歳兄の人間関係の育らを支える 9 子どものすちを支える医療を保育者の人間関係 10 子どもたちの人間関係を育む学級経営 11 関域「人間関係」 (人間関係) か特性や子どもの体験との関連性を考慮した情報機器及び敷材の活用法について 12 指導案の作成 (グループワーク) 13 指導案の実際 (グループワーク) 14 指導案がら保育へ (グループワーク) 15 まとめ 「該 験」:筆記試験 (50%) 「平常点」:授業態度、小テスト(40%) 「その他」:提出物(10%) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	松茶計皿	7	0~2歳児の人	との関わりと	保育			
10	汉未可 凹	8	3~5歳児の人	間関係の育ち	を支える			
1		9	子どもの育ち	を支える保護	者と保育者の	人間関係		
12 指導薬の序成 (グループワーク) 13 指導薬の実際 (グループワーク) 14 指導薬の実際 (グループワーク) 15 まとめ 15 まとめ 15 まとめ 17 (10	子どもたちの	人間関係を育	む学級経営			
13		11	領域「人間関	係」の特性や	·子どもの体験	との関連性を	考慮した情報機器及び教材の)活用法について
14 指導素から保育へ (グループワーク) 15 まとめ 「試験」: 筆記試験 (50%) 「不常点」: 長業態度、小テスト(40%) 「その他」: 提出物(10%) ・小テストについては授業内で答え合わせをする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		12	指導案の作成	(グループ	[°] ワーク)			
15 まとめ 1		13	指導案の実際	(グループ	[°] ワーク)			
「試験」: 筆記試験 (50%)		14	指導案から保	育へ (グル	/一プワーク)			
授業の評価		15	まとめ					•
「その他」:提出物(10%)		「試 験	: 筆記試験	(50%)				
 課題 (レポート等) のフィードバック ・小テストについては授業内で答え合わせをする。 ・授業内容に関する質問については、個別または全体に回答する。 事前・事後の学習 等の内容 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45分) 事後学習 (45分) レアキスト・はさみ・のりは毎回必ず持参すること。・グループ活動では意欲的に参加すること。・グループ活動では意欲的に参加すること。・グループ活動では意欲的に参加すること。・グループ活動では意欲的に参加するように作業している。 ③グループに貢献するように作業している。 ④方なずき・アイコンタクトができている テキスト 『演習 保育内容「人間関係」 - 基礎的事項の理解と指導法ー』田中和美・榎本眞実編著 建帛社 参考書 授業中に紹介する 【おフィワワ-】 授業の前後 	授業の評価	「平常点	〔」:授業態度	、小テスト(4	.0%)			
おおおおいます。 のフィードバック ・授業内容に関する質問については、個別または全体に回答する。 ・受罪・テキストの該当箇所を通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。		「その他	」: 提出物(10	0%)				
# 事前・事後の学習		1 .				9	3 .	
理解度を確認するため、小テストを行うことがある。 事前・事後の学習に		次	(回授業の主な	内容について	予習を課す。			
事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) ・テキスト・はさみ・のりは毎回必ず持参すること。 (グループ活動では、以下の点において評価する) ①準備をして取り組んでいる。 ②指し合いに積極的に参加している。 ③グループに貢献するように作業している。 ④うなずき・アイコンタクトができている テキスト 『演習 保育内容「人間関係」 - 基礎的事項の理解と指導法一』田中和美・榎本眞実編著 建帛社 参考書 授業中に紹介する 【オフィスアター】 授業の前後							0	
・グループ活動では意欲的に参加すること。(グループ活動では、以下の点において評価する) ①準備をして取り組んでいる。 ②話し合いに積極的に参加している。 ③グループに貢献するように作業している。 ④うなずき・アイコンタクトができている テキスト 『演習 保育内容「人間関係」 - 基礎的事項の理解と指導法- 』田中和美・榎本眞実編著 建帛社 参考書 授業中に紹介する 【お7々スアワ-】 授業の前後		1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	。事前学習	(45 分) 事後学 ⁻	習 (45 分)
参考書 授業中に紹介する 【オフィスアワー】 授業の前後	履修上の注意	・グルー ①準備を ②話し合 ③グルー	・プ活動では意 として取り組ん いに積極的に ・プに貢献する	欲的に参加す でいる。 参加している ように作業し	ること。(グ 。 ている。		は、以下の点において評価す	-る)
【オフィスアワー】 授業の前後	テキスト	『演習	保育内容「人	間関係」-基	礎的事項の理解	と指導法一』日	日中和美・榎本眞実編著 建	帛社
	参考書	授業中に	 :紹介する					
	その他	【オフィスアワ	7-】 授業の前					

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「環	境」	冷羽	1	1年次	755 +0	幼免必修	藤田 貴久					
(20618-B1)		演習 1 選択 保育士資格必修 (実務家教員)										
授業の到達目標	2. 保育	1. 子どものためになる環境を理解する。2. 保育者が創り出す環境について理解する。3. 子どものためのよりよい環境を創り出す保育者の役割について理解を深める。										
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を習得している。										
授業の概要		子どもにとっての「環境」、保育者にとっての「環境」、様々な経験を通して環境について基礎知識を 学習する。										
	回数	25.3 282			授業内容	容						
	1 2	イントロダク 子どものため		ついて								
	3	子どものため										
	4	自然とのふれ										
	5 6	グループワー		競について 動について								
授業計画	7	子どもと環境										
投 来計画	8	グループワー										
	9	自然環境を利		舌用した保育は	こついて							
	11	グループワー		を通した環境	<u>.</u>							
	12	1674114113		ら考える環境	Ì							
	13 14	指導内容と援 カリキュラム		について老う	ス							
	15	まとめ	2. 地しく氷先	IC JV CAX	. 'ව 							
授業の評価	「平常点] : 課題(5 .」:授業態度 .」:提出物(、レポート((40%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	授業内名	容の質問につい	っては、個別ス	又は全員に回名	答する。							
事前・事後の学習 等の内容		欠回の授業箇別 レポートを課す				美内容の理解を深め	ておく。					
事前・事後の学習に 必要な時間	一単位に	つき自習も含	めて45時間	の学修が必要	です。事前学	習(45分)	事後学習(45分)					
履修上の注意	必ずテキ	シラバスの内容は授業進行状況と合わせるため変更することがある。 必ずテキストを持参する。また、配布プリントは整理してファイリングすること。 グループの話し合いや活動に積極的に参加すること。										
テキスト	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館											
参考書	授業内で紹介する。											
	【オフィスアワ	<u> </u>										
その他	授業前後	,										
<u> </u>		-										

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「言菊	善			1年次		幼免必修						
(20619-B1)		演習	1	计出	選択	但	松本 恭子					
授業の到達目標	2. 保育 よう 3. 保育	前期 保育士資格必修 1. 乳幼児期、その言葉はどのようにして獲得され育っていくのかを理解する。 2. 保育現場における具体的な状況に応じて、言葉を獲得していくための様々な援助をどのように進めていくのかを学ぶ 3. 保育所保育指針・幼稚園教育要領に基づいて理解を深めるとともに、子どもの豊かな言葉を育む保育者としての資質を養う。										
学位授与の方針 との関連	保育に関	- 育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要		領域 「言葉」 のめざしているものを理解するとともに、 保育実践の場における具体的な取り 組みの手法を 修得し資質を養う。										
	回数				授業	内容						
	1	授業の進め方		-		課題①						
	2	「子育てと言	葉」・言葉の									
	3	5		ニケーション								
	4	「領域」につ	いて・領域の			課題②						
	5	「⇒歩の焼俎		他の領域の関	<u> </u>							
	7	「言葉の獲得	·」 ・一語文 ・話し言									
授業計画	8	「児童文化財		未 育てる児童文	化財	課題③						
	9		る環境」・乳			WAG &						
	10	I J K G 17 K		児の言葉を育		グループワーク	7 (1)					
	11		• 書	き言葉への興	味や関心を育っ	てる環境 グループワーク	72					
	12	「言葉の育ち	にかかわる諸	問題」・言葉	の障害につい	て実践発表①						
	13			母語	が日本語でなり	い子どもの理解と援助 実践	 线発表②					
	14		・まとめ	と評価								
	15		」のまとめ									
授業の評価	「平常点	: 筆記試験: 授業態度: 提出物(、グループワ		5協調性等(2 %)	0 %)						
課題 (レポート等) のフィードバック	授業内容	に関する質問	については、	個別又は全体	*に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容	. ,	(科書に目を通 :業内容につい			おきましょう。							
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	oて45時間の営	学修が必要です	一。事前学習((45分)事後学習(45:	分)					
履修上の注意	授業中の携帯電話の使用は認めません。 意欲的に取り組む態度が見られる学生は大きく評価します。											
テキスト	『保育内容 言葉』 小田豊・芦田宏・門田理世編著 北大路書房 『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』 内閣府 フレーベル館											
参考書												
その他	【オフィスアリ	一】 授業の前	前後									

科目名/カリキュラム	NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「表現]	[]			1年次		幼免必修						
(20620-B1)		演習	1	後期	選択	保育士資格必修	渕田 陽子 					
(20020 D1)	1 保育	 現場での乳幼	児の表現の捉		.	休月工資俗必修						
授業の到達目標	 乳幼 乳幼 	」児の表現発達	に関する知識	を獲得する。		めの、保育者役割や援助法を	考えら					
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	子どもの	子どもの発達を見通したうえでの保育現場での表現援助法について学ぶ。										
	回数					業内容						
	1	保育・教育の	原理と保育内	容「表現」								
	2	保育内容「表	現」のねらい	1								
	3	保育内容「表	現」の内容									
	4	感性とは何か	ı									
	5	子どもの感性	を磨く「音育									
	6	身近なものに										
授業計画	7	子どもが表現			-							
1人人们 四	8		- · · · ·		保育所の場合							
	9		- · · · ·		桟 保育所の場							
	10				を育てる保育者							
	11					・第9章 幼稚園の場合						
	12					新9章 幼稚園の場合						
	13					計第9章 幼稚園の場合	_					
	-	授業で紹介し		美践/首を腮ぐ								
	15	本授業のまと										
 授業の評価		〕:期末試験 〔」:ミニレポ)								
1文未り計画		、」 . ヾーレか L」 : 提出物()								
課題(レポート等) のフィードバック		にコメントを		る。								
事前・事後の学習 等の内容	授 お 復習:教	業の部分の教 りに予習につ	科書を読み深 いて説明を行	めてくること う。	。5-15回目の	4,回目の授業前には、予定し 受業予習については、前の授 し、授業内容について理解を	業の終					
事前・事後の学習に必要な 時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の当	学修が必要です	r。事前学習 ·	(45分) 事後学習 (45½	☆)					
履修上の注意	シラバス	の内容は、 哲	受業進行状況 と	:合わせて変勇	更の可能性があ	5						
テキスト	『新・保	:育と表現』 石	5上浩美編著	発行所 嵯	峨野書院							
参考書		児の発達と保 表現技術実践				監修 ひかりのくに株式会社	:					
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	Ŕ									

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
造形IA				1年次		幼免必修							
		演習 1 選択 森 美代											
(20730-B1)													
授業の到達目標	1. 保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 2. 乳幼児の表現活動の大切さと発達段位を踏まえた造形的な表現の特徴が理解できる。 3. 乳幼児の造形表現活動の展開と援助のあり方を学び、保育者としての知識と技術が修得できる。												
学位授与の方針 との関連	保育に関	呆育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	法をもとに 得と活用、	「えがく」「つ	くる」「造形ある 体物や玩具等の	そび」の題材を通	じて、手の動き	こよる描写や造形、描画	学習をする。実際に材料・用具、手 画材の特徴の理解及び表現技法の習 とで、えがく、つくることの指導・						
	回数				授業内	容							
	1	オリエンテー											
	2	子どもの表現											
	3	乳幼児の造形											
	4	描画活動の技		. ,	ィング								
	5	描画活動の技											
	6			所聞紙である。									
授業計画	7			手でやぶる・†									
	<u>8</u> 9		$\frac{1}{1}$	乍ったものでる ナキムで切る	のてか								
	10			乍ったものでは	ふ ス ど								
	11			指導・援助に									
	12			お誕生日カー									
	13	造形活動 立											
	14	造形活動 立	体表現(3)	お誕生日カー	ド製作								
	15	まとめ											
		: 課題提出											
授業の評価		(」:授業の参	加度(40%)										
	「その他			~HUD →	. 10.0 %	/ F*/. c	*\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						
課題 (レポート等) のフィードバック		_				(点数やコメント等 、その都度Googleフ							
事前・事後の学習 等の内容				· · · · · · · ·		は事前に行い、準備 を深めておくこと。							
履修上の注意		録をつけるこ の提出期限を				こと。							
テキスト)										
参考書	▮幼保連	P携型認定こど	も園教育・保	育要慮解説』	内閣府・文	当科字省・厚生労働	動省 フレーベル館						
その他	【オフィスアリ	·-]											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
造形 I B				1年次		幼免必修							
		演習 1 選択 無											
(20731-B1)		後期 保育士資格必修 保育士資格必修											
授業の到達目標	1. 子どもと共に楽しむための必要な造形的基礎力を獲得する。 2. 表現することを楽しみながら基礎技能や材料、用具に関する知識を身につける。												
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	業の概要												
	回数				授業内	容							
[1	造形活動の指											
		0・1・2歳児の											
	3	3・4・5歳児の	4777 - 4771 - 4		ゼのもりナロ	ハリア)							
		表現活動の展 指導計画(保				2)(()							
	6					立てる①製作活動							
155 21K 크 1	7					立てる②製作活動							
授業計画	8	計画した活動	テーマに沿っ	て、内容を考	え活動を組み	立てる③製作活動							
	9					立てる④製作活動							
						立てる⑤製作活動							
,					え活動を組み	立てる⑥制作活動							
}	12 13	各グループで 計画した活動		1の内谷発衣									
		計画した活動											
	15	まとめ	() ()										
	「試 験	: 課題提出	(60%)										
授業の評価		[]:授業の参	加度(40%)										
	「その他		=	云相 川コーラ	18.8	(上米カーノ)(1な)	はファベ仁さ						
		_				(点数やコメント等) 、その都度Googleフォ							
						は事前に行い、準備し を深めておくこと。	ておくこと。						
		録をつけるこ の提出期限を				こと。							
テキスト													
参考書	『幼保連	1携型認定こど	も園教育・保	育要領解説』	内閣府・文	部科学省・厚生労働省	フレーベル館						
その他	【オフィスアワ	J-]											

3分の名称	科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
(2074年-31)	幼児体育 I A				1年次		幼免必修						
投表の到達日極	(00740 P1)		演習	1		選択	10 to 1 Mer the 21 like	小野 昌二					
提案の到途目標	(20740-B1)	- /I.ID+	Hite bank of 500 H	: 0 let all to 10.1	** ** * * *	- L > 7 F/9E(1)	11 11 - 1111						
接来の評価 技業の制金目標 4、安全に選及という。 3・学もの発育・金融に関する専門的知識・技術を要得している。 3・学的に関する専門的知識・技術を要得している。 3・学的では 3・学のでは													
	授業の到達目標						が上口を作る。						
学位接与の方針 との関連 技業の要要 対見期における身体活動の意味や価値を理解し、子どもの発育・発達表階に応じた運動の基礎知識を習得する。 理教													
接業の概要 対規則における身体活動の意味や価値を理解し、子どもの発育・角度段階に応じた運動の基礎知識を習得する。 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。 「四数 投業内容 (1 オリエンデーション 運動遊びの大阪 (1 東田遊び① (2 現代の効別を取りをく 保度と体育の意味 集団遊び① (3 外別期の心身の勇育発電と運動技能理解 集団遊び② (4 年田遊び③ (5 大型遊具を使った運動遊び マット・眺び第② (5 大型遊具を使った運動遊び マット・眺び第② (5 大型遊具を使った運動遊び デールの (1 小型遊具を使った運動遊び デールの (1 小型遊具を使った速び 襲射ボールの (1 小型海及を使った速び 野師 (5 の (5 大型が成り工作) (5 大型が成り工作) (5 大型が成り工作) (5 大型・海路がの実践と評価 (5) 対象がの実践と評価 (5) 対象がの実践と評価 (5) 対象が変が実践と評価 (5) 対象が変が実践を対象が表していた。最近が変がまたいまながなどに対をつけれて関係に関係も行う。 での他、計算を対象を対し、主な運動変を予言しておくこと。 (2) 対象の学習 (4) 対象の学者 (4) 対象の学者 (4) 対象が変が変がまたいまながを予望を予定を発音させること。 (2) 対象を対象が低するとと。 (2) 対象を全じる態度や実効を評価する。接触などに対をつけれて関係を対する。 (2) 大変を受ける態度や実効を評価する。 (2) 大変を学されて変がままれた疑り返りシートを定に、気づきや学びを変音させること。 (2) 対象を全じる態度や実効を評価する。 (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		4. 安主(4.女全に連期をするための境境設定を埋解する。										
接業の概要 対規則における身体活動の意味や価値を理解し、子どもの発育・角度段階に応じた運動の基礎知識を習得する。 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。 「四数 投業内容 (1 オリエンデーション 運動遊びの大阪 (1 東田遊び① (2 現代の効別を取りをく 保度と体育の意味 集団遊び① (3 外別期の心身の勇育発電と運動技能理解 集団遊び② (4 年田遊び③ (5 大型遊具を使った運動遊び マット・眺び第② (5 大型遊具を使った運動遊び マット・眺び第② (5 大型遊具を使った運動遊び デールの (1 小型遊具を使った運動遊び デールの (1 小型遊具を使った速び 襲射ボールの (1 小型海及を使った速び 野師 (5 の (5 大型が成り工作) (5 大型が成り工作) (5 大型が成り工作) (5 大型・海路がの実践と評価 (5) 対象がの実践と評価 (5) 対象がの実践と評価 (5) 対象が変が実践と評価 (5) 対象が変が実践を対象が表していた。最近が変がまたいまながなどに対をつけれて関係に関係も行う。 での他、計算を対象を対し、主な運動変を予言しておくこと。 (2) 対象の学習 (4) 対象の学者 (4) 対象の学者 (4) 対象が変が変がまたいまながを予望を予定を発音させること。 (2) 対象を対象が低するとと。 (2) 対象を全じる態度や実効を評価する。接触などに対をつけれて関係を対する。 (2) 大変を受ける態度や実効を評価する。 (2) 大変を学されて変がままれた疑り返りシートを定に、気づきや学びを変音させること。 (2) 対象を全じる態度や実効を評価する。 (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		促者に即	ロボル 開ナス 市明 55 5m 強、 壮体と 羽 但 1 マ 1 、フ										
対果期における身体活動の意味や価値を理解し、子どもの発育・免達収除に応じた運動の基礎知識を習得する。 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。 「一般 投業内容 投票と称すの業務 無用遊び① 投業内容 発展と体育の登録 集用遊び② 集間遊び② 事間遊び③ 4 集間遊び③ 6 天曜選具を使った運動遊び マット・競び箱① 7 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱② 8 大型選具を使った運動遊び マット・残び箱② 8 大型選具を使った運動遊び マット・残び箱② 8 大型選具を使った運動遊び アット・の 10 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型送具を使った運動遊び ボール① 11 小型送具を使った運動遊び ボール① 12 投充ものを使った遊び 段ボール 13 身近なものを使った遊び 段ボール 14 運動遊びの実験と評価 15 運動びの実験と評価 15 運動がの実験と評価 16 運動がの実験と評価 16 運動がの実験と評価 17 大会 15 会 要になりを対して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表し		小月10天	1 3 2 1 1 1 1 1 VH	成 汉州乙日	4 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C								
接換の概要 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。	この例定												
接換の概要 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。													
接換の概要 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。		幼児期に	おける身体活動	動の音味や価	値を理解し	子どもの発育	・発達段階に広じた運動の基	磁知識を習得する					
一次リエンテーション 運動遊びの実践 1 オリエンテーション 運動遊びの実践 1 オリエンテーション 運動遊びの実践 2 現代の幼児を取り巻く環境と体育の意味 集団遊び② 4 集団遊び③ 4 集団遊び③ 5 集団遊び④ 6 大型選具を使った運動遊び マット・跳び箱① 7 大型選具を使った運動遊び マット・跳び箱② 8 大型選具を使った運動遊び マット・跳び箱② 8 大型選具を使った運動遊び 平均分・飲煙 9 小型遊見を使った運動遊び 平均分・飲煙 11 小型遊見を使った運動遊び ボール① 10 小型遊見を使った運動遊び ボール① 11 小型遊見を使った運動遊び ボール① 11 小型遊見を使った運動遊び ボール① 12 身近なものを使った遊び 耐酸ボーベットボトル 13 身近なものを使った遊び 殿ボール 14 運動遊びの実践 評価 15 運動設切の実践 評価 15 運動設切の実践 評価 16 実験に受けて 17 表別を作品 18 実際を受ける必要をです。 (50%) 17 中間、 17 実態を受ける関する。 (40%) 20% 20	授業の概要							1,6,4,1,1,2,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1					
1 オリエンテーション 運動遊びの実践 2 現代の幼児を取り着く環境と体育の意味 集団遊び① 3 幼児等の心身の着音流色と運動接能理解 集団遊び① 4 集団遊び② 5 集団遊び② 6 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱① 7 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱② 8 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱② 8 大型選具を使った運動遊び ボール① 10 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 が開版・ペットボトル 3 身立なものを使った遊び 助派・ルール 13 身立なものを使った遊び 助派・ルール 14 運動遊びの実践と評価 「試験:指導実技財験(30%) 「平常点」・授業態度及び取り組む意欲(50%) 「不常点」・授業態度及び取り組む意欲(50%) 「その他)・指導案(20%) 毎回の特実終了時に、最り返りシートを記入し、提出する。接触の使力・接触で及の財を製時に返却する。 投業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 ・ 大震・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・		X237X2 0				0.200107							
1 オリエンテーション 運動遊びの実践 2 現代の幼児を取り着く環境と体育の意味 集団遊び① 3 幼児等の心身の着音流色と運動接能理解 集団遊び① 4 集団遊び② 5 集団遊び② 6 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱① 7 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱② 8 大型選具を使った運動遊び マット・競び箱② 8 大型選具を使った運動遊び ボール① 10 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 遊び ボール① 11 小型選具を使った運動 が開版・ペットボトル 3 身立なものを使った遊び 助派・ルール 13 身立なものを使った遊び 助派・ルール 14 運動遊びの実践と評価 「試験:指導実技財験(30%) 「平常点」・授業態度及び取り組む意欲(50%) 「不常点」・授業態度及び取り組む意欲(50%) 「その他)・指導案(20%) 毎回の特実終了時に、最り返りシートを記入し、提出する。接触の使力・接触で及の財を製時に返却する。 投業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 ・ 大震・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・		同数				授業	 :内容						
2 現代の幼児を取り等く環境と体育の意味 集団遊び① 3 幼児期の心身の発育発達と運動技能理解 集団遊び② 4 集団遊び③ 5 集団遊び④ 6 大型遊具を使った運動遊び マット・跳び箱① 7 大型遊具を使った運動遊び 平ット・跳び箱② 8 大型遊具を使った運動遊び 平り・跳び箱② 9 小型遊具を使った運動遊び ボール① 10 小型遊具を使った運動遊び ボール① 11 小型遊具を使った運動遊び ボールの 11 か型遊具を使った運動遊び ボールの 11 が型の受性のた運び ボールの 11 が変がの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 16 運動遊びの実践と評価 17 を変が上に 援り返りシートを記入し、提出する。 接触度との疑案特別などに気をつけ体調管理を心がける。 次回の性実素が育なに関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 2 が当の性実験が変がを子習しておくこと。 復習:返却された乗り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 2 本部・事後の学習に 必要な時間 2 ・安全に関するを活動質の学修が必要です。事前学習(45 分)事後学習(45 分) ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。後難度が著しく悪い場合は、造場を布じることがある。 ・安全に授業ができるとう。ピアス、ネックレス、つけが、時計等の装飾品は外して受講する。 ・咨询に最もをで表めを評価する。 ・咨询に対して受講する。 ・咨询に対して受講する。 ・咨询に会で表めを記して、第年のと考申し出ること。 2 を言で水分はどケオルを用意する。 ・咨询に会は要がある場合は、事業前に必ず申し出ること。		-	オリエンテー	ション 運動	游びの実践	2271							
3 幼児期の心身の発育発達と運動技能理解 集団遊び② 4 集団遊び③ 5 集団遊び③ 6 大型遊具を使った運動遊び マット・跳び箱① 7 大型遊具を使った運動遊び マット・跳び箱② 8 大型遊具を使った運動遊び マット・跳び箱② 8 大型遊具を使った運動遊び ボルル① 10 小型遊具を使った運動遊び ボルル① 11 小型遊具を使った運動遊び ボルル① 11 小型遊具を使った運動遊び ボルル① 12 身近なものを使った遊び 数開紙・ペットボトル 13 身近なものを使った遊び 数ボール 14 運動遊びの実践と評価 15 駆動遊びの実践と評価 15 駆動遊びの実践と評価 15 駆動遊びの実践と評価 16 駆動遊びの実践と評価 17 減数が近の実践と評価 17 減数が近の実践と評価 18 駆力・指導実技試験 (30%) 12 の個		-	現代の幼児を	取り巻く環境	と体育の意味	集団遊び①							
投業計画		-											
2		4	集団遊び③	7-117-1-		211777							
投業計画	1	<u> </u>											
大型遊具を使った運動遊び マット・跳び箱②	1		7140-0	った運動遊び	マット・跳	:び箱①							
大型遊具を使った運動遊び 平均台・鉄棒 9 小型遊具を使った運動遊び ボール① 10 小型遊具を使った運動遊び ボール① 11 小型遊具を使った運動遊び ボール① 11 小型遊具を使った運動遊び ボール① 12 身近なものを使った遊び 新聞紙・ペットボトル 13 身近なものを使った遊び 段ポール 14 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 16 運動遊びの実践と評価 17 運動がびの実践と評価 17 運動がびの実践と評価 18 乗艦度及び取り組む意欲 (50%) 「平常点」: 授業施度及び取り組む意欲 (50%) 「平常点」: 授業施度及び取り組む意欲 (50%) 「中常点」: 授業を使り取り起む意欲 (50%) 17 年常点」: 授業を使り取り組む意欲 (50%) 17 年常点」: 授業の担じ、提出する。	T≈ 7117 = 1	7											
10 小型遊具を使った運動遊び ボール①	授業計画	8	大型遊具を使	った運動遊び	平均台・鉄	·棒							
11		9	小型遊具を使	った運動遊び	ボール①								
12 身近なものを使った遊び 解開紙・ペットボトル 13 身近なものを使った遊び 段ボール 14 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 薬の 15 薬の 15 薬の 16 薬の 16 薬の 16 薬の 16 薬の 17 ※ 16 薬の 18 ※ 18 ** 18 *		10	小型遊具を使	った運動遊び	ボール①								
13 身近なものを使った遊び 段ボール 14 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 16 で		11	小型遊具を使	った運動遊び	・ フープ・な	わ							
14 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 運動遊びの実践と評価 15 薬別: 指導実技試験 (30%) 17 (30 %) 17 (30 %) 17 (30 %) 18 (12	身近なものを	使った遊び	新聞紙・ペッ	トボトル							
運動遊びの実践と評価		13	身近なものを	使った遊び	段ボール								
「試験」:指導実技試験 (30%)		14	運動遊びの実	践と評価									
長業の評価		15	運動遊びの実	践と評価									
「その他」: 指導案 (20%) 毎回の授業終了時に、振り返りシートを記入し、提出する。 振り返りシートは次回の授業時に返却する。 振り返りシートは次回の授業時に返却する。 投業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 予習: 基本的な生活習慣を整える。特に、食事、睡眠などに気をつけ体調管理を心がける。 次回の授業内容を把握し、主な運動遊びを予習しておくこと。 復習: 返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。 授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装 (ジャージ)と靴 (スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で食品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 適時資料配布		「試 験	〕:指導実技	試験 (30	%)								
課題 (レポート等) のフィードバック 振り返りシートは次回の授業時に返却する。 振り返りシートは次回の授業時に返却する。 授業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 予習:基本的な生活習慣を整える。特に、食事、睡眠などに気をつけ体調管理を心がける。 次回の授業内容を把握し、主な運動遊びを予習しておくこと。 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で電量品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 適時資料配布	授業の評価	「平常点	:授業態度	及び取り組む	意欲 (50	%)							
課題(レポート等)のフィードバック 授業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 授業内容に関する質問は、全体に向けて回答する。必要に応じて、個別に回答も行う。 予習:基本的な生活習慣を整える。特に、食事、睡眠などに気をつけ体調管理を心がける。 次回の授業内容を把握し、主な運動遊びを予習しておくこと。 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) 事後学習 (45 分) 事後学習 (45 分) を業を受ける態度や姿勢を評価する。 授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・ 運動にふさわしい服装 (ジャージ)と靴 (スニーカー)を着用し受講する。 ・ 各自で水分およびタオルを用意する。 ・ 各自で水分およびタオルを用意する。 ・ 体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。													
「						提出する。							
中前・事後の学習 等の内容	INVEX (> 1, 1, 1, 4)					V == 1 = 1 = 10 .	- muu-matti /= 2						
事前・事後の学習 等の内容 次回の授業内容を把握し、主な運動遊びを予習しておくこと。 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装 (ジャージ) と靴 (スニーカー) を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布	0フィードバック	授業内容	に関する質問	は、全体に向	けて回答する	。必要に応じ	て、個別に回答も行う。						
事前・事後の学習 等の内容 次回の授業内容を把握し、主な運動遊びを予習しておくこと。 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装 (ジャージ) と靴 (スニーカー) を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布		→ 1/1 ±	-1-463×4-37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 3	冊を載させ	出い 本本		ナールは一種が出まりょうよう						
# 等の内容 復習:返却された振り返りシートを元に、気づきや学びを定着させること。 事前・事後の学習に													
事前・事後の学習に 必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45 分) 事後学習 (45 分) 履修上の注意 ・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装 (ジャージ) と靴 (スニーカー) を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。		_					*						
必要な時間	サv/l i 仕	及日・巡	シムト (こ 4 し/こ1)区 リコ	<u>〜</u> ッマ ⁻トを	プロ10、X(,) S	、子いで 足有	C. C. & C. O						
必要な時間	-	1											
・授業を受ける態度や姿勢を評価する。授業態度が著しく悪い場合は、退場を命じることがある。 ・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。		1 畄 代	ケにつき白翌ま	含めて45時間	の学修が必要	です 車前学	習 (45 分) 重谷台	芝習 (45 分)					
・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布	必要な時間	1 44	たっ へい 口目 ひ	目いくてものは	.・・ 」 19 /1 光文	、、 / 。 ヂ肘子	ロ 、 10 <i>カ</i> / ず仮っ	1 P \ 10 /1/					
・安全に授業ができるよう。ピアス、ネックレス、つけ爪、時計等の装飾品は外して受講する。 ・運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布		授業を	受ける態度や	姿勢を評価す	る。授業態度	が著しく悪い	場合は、退場を命じることが	 ぶある。					
 運動にふさわしい服装(ジャージ)と靴(スニーカー)を着用し受講する。 ・各自で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布 	1												
・各目で水分およびタオルを用意する。 ・各自で貴重品を管理する。 ・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布													
・体調が悪い、病気や怪我がある場合は、事業前に必ず申し出ること。 テキスト 適時資料配布	履修上の注意	各自で	水分およびタン	オルを用意す	る。								
テキスト 適時資料配布		各自で	*貴重品を管理*	する。	-								
		体調が	悪い、病気や	・ 怪我がある場	合は、事業前	に必ず申し出・	ること。						
				~*				_					
	テキスト	適時資料	配布										
	<u> </u>												
文部科学省「幼児期運動指針ガイドブック」		文部科学	省「幼児期運	動指針ガイド	ブック」								
参考書 https://www.mext.go.jp/a menu/sports/undousisin/1319772.htm	参考書	https:/	//www.mext	.go.in/a m	nenu/sport	s/undousis	in/1319772.htm						
Tages, , The transfer of the first of the fi			,	, JO. 10/ OF 11	. 5 5/ 5/010	_,	,						
【オフィスアワー】		【オフィスアワ	J-]										
その他 授業の前後	その他		_										
1又未 ツノ 川) (人		以未が削	1702										

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
幼児体育 I B				1年次		幼免必修							
(20741-B1)		演習 1 選択 小野 昌二 後期 保育士資格必修											
(20141 D1)	1. 幼児期	佐期 保育工資格必修 1.幼児期における発達の特徴や身体活動が幼児に与える影響について理解を深める。											
授業の到達目標	3.子ども	の発育・発達	幸に応じた援助	ととという という という という という という という という という とい	うになる。	(の土台を作る。							
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を習得している。											
授業の概要	運動遊び	幼児期における身体活動の意味や価値を理解し、子どもの発育・発達段階に応じた運動の基礎知識を習得する。 運動遊びの実践を通して、必要な働きかけや安全管理を習得する。 指導実践はグループを作り、グループディスカッションを行い計画、実践します。											
	回数				授業	内容							
				1/指導案の考え	え方								
	\vdash	幼児体育指導	12.0										
	Ü	幼児体育指導	12.0	t -> <i>中</i>									
			あそびの指導 あそびの指導										
			あそびの指導										
	F		あそびの指導										
授業計画	8	サーキット運	動の指導立案	2									
	9	サーキット運	動の指導実践	(1)									
	10	サーキット運	動の指導実践	2									
			動の指導実践	3									
		リズム運動の											
		リズム運動の											
		リズム運動の	7										
	10	: 指導実技試	***************************************										
授業の評価	「平常点」	: 授業態度及	び取り組む意欲	(50%)									
		: 指導案(2											
				トを記入し、	提出する。								
課題 (レポート等) のフィードバック	** * *		の授業時に返	. , - 0	ひ無によい、	て、個別に回答も行う。							
	汉未门谷	に関する貝미	は、主件に円	11) (凹合する)	。必安に心し	て、旧別に回合も11 7。							
	予習:基	本的な生活習	慣を整える。	特に、食事、	睡眠などに気	をつけ体調管理を心がける。							
事前・事後の学習	次[回の授業内容	を把握し、主	な運動遊びを	予習しておく	こと。							
等の内容	復習:返	却された振り	返りシートを	元に、気づき	や学びを定着	させること。							
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位につ	き自習も含め	かて45時間の	学修が必要です	上。 <u>事</u> 前学習	(45 分) 事後学習((45 分)						
						場合は、退場を命じること							
						計等の装飾品は外して受講で	する。						
履修上の注意					ーカー)を着	用し受講する。							
		水分およひタ 貴重品を管理	オルを用意す	る 。									
			-	合は、事業前	に必ず申し出	ること。							
テキスト	適時資料的	配布											
	文部科学	省「幼児期運	動指針ガイド	`ブック									
参考書	https://www.mext.go.jp/a menu/sports/undousisin/1319772.htm												
	[オフィスアワー]												
その他	授業の前	後											
	(人人・/ 門)	·^											

科目名/カリキュラ	ムN0.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
キリスト教教育		1年次										
(20110-A1)		講義 2 必修 時久 牧人 後期 後期										
(20110 A1)	1 +1											
		2. 「愛すること」を日常生活および教育現場にて適用するための実践的知識と能力を身につける。										
授業の到達目標	3. 「ネ	3. 「神を愛し人を愛せ」という言葉を深く理解する。										
	4.神	4. 神の作品という概念を正しく健全にとらえ、肯定的なセルフイメージを持つ。										
	・キリス	・キリスト教精神に基づく倫理観や愛と奉仕の精神を身につけている。										
学位授与の方針	・社会人	社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、または、コミュニケーション能力や課題発見・										
との関連	解決能	解決能力を身につけている。										
	41171	テリスト教及びキリスト教教育の歴史を学び、愛するとは何かを深く理解し、他者に伝えることが										
授業の概要				丈を子い、笈	9 のこれ加ル·	を休く珪胜し、他有に伝える	C 5 1/3					
	6000	できるよう表現力を培う。										
	同数	回数 授業内容										
	1	「キリスト教	について	聖書の各書の	大まかな把握							
	2		-			・リスト教史から学ぶこと						
	3	聖書の読み方	について(グ	ループディス	カッションを	含む)						
	4			創造主	イエスキリ:	スト、聖霊について①						
	5			創造主	. イエスキリン	スト、聖霊について②						
	6			;	キリスト教の。	人間観について						
授業計画	7					幼児教育の目的について						
1276111	8		現代日本社			を理解し、ディスカッション	の時を持つ					
	9			キリスト		幼児教育の歴史について						
	10				247 - 3	について こしの###の						
	11				「愛する」、	ことの構造①						
	12					. 5 つの方法						
	14					grade up①						
	15			聖書の	物語を読みプレ	ゼンテーションを行う						
	「試 験	:」: 筆記試	験 (30%)									
授業の評価	「平常点	.」: 授業・	発表態度及び	ディスカッシ	ョンの積極性	(45%)						
	「その他	」: 提出物	(25%)									
	45 ULD 34	ا ماد ، ،		\C+1	- ~ N. 王相 !	1113 - 1 3 5						
課題 (レポート等) のフィードバック		ものは、コメ に関する質問				出をしてもらう。						
	汉耒 四谷	に関りる負向	には個別又は	王仲に凹合 9	చ.							
事前・事後の学習	各回のテ	ーマを事前に	調べておく。	また授業の内	容をレポートに	にまとめておく。						
等の内容	疑問点が	あれば調べ、	内容によって	は次の授業に	おいて質問す	るように準備しておく。						
+												
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の当	を修が必要です	一。事前学習	(45分) 事後学習 (45分	分)					
	ے علائما											
屋体しの公立	授業への取り組む姿勢も評価の対象であり、授業内容の理解度も重視している。											
履修上の注意	それらを踏まえて単位取得を目指してほしい。 座席は座席表の通りに着席してください。											
	注/m は/上 m 及 v / 迪 リ 『 仁 信 f h し く \ / に ご v '。											
	『新キリスト教保育指針』キリスト教保育連盟											
テキスト	聖書 讃美歌											
	『(改訂	版) こどもさ	んびか』日本	キリスト教団	出版局、			-				
参考書	『マザー	・・テレサ 愛	のことば』女	子パウロ会								
少 勺首	『トリニティーブック (私たちが信じる神)』時久牧人 広畑キリスト教会											
	『愛するということ』エーリッヒ・フロム 紀伊国屋書店、『愛を伝える5つの方法』チャップマン著											
その他												

科目名/カリキュラ	ムNO. 授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
器楽 I	W ===		1年次	Sam 1	71 A. S. M.	池田京子ほか					
(20710-C1)	演習	1	後期	選択	幼免必修	備考欄参照					
授業の到達目標	楽譜の読み方を習得すると同時に基本的なピアノ演奏技術について学習する。 ①ト音譜表による読譜ができる。 ②二分音符や四分音符による右手と左手で異なる旋律を両手で演奏できる。 ③基本形コードによる簡単な伴奏付けができる。										
学位授与の方針 との関連	©差本形コートによる簡単な任条刊りかできる。 保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	個々の進度に応じたピアノグループレッスンにより、楽譜の読み方、ピアノの基本的な奏法、簡単な 伴奏付けなどを学習する。個々の進度は、受講者のこれまでの音楽経験をもとに、短・高接続教育 プログラムによる本学独自のピアノグレードを用いて決定する。 また、音楽理論やピアノ譜の読譜に関する学習も併せて実施する。										
授業計画	回数授業内容1 オリエンテーション、グレード決定2 楽譜の読み方(1) 五線、音部記号、音名、コード3 楽譜の読み方(2) 拍子、音符の種類4 バイエル 3番~11番 拍子及び様々な種類の音符に関する実践学習5 バイエル12番~15番 5本の指を動かす。レガートでの演奏6 バイエル16番~27番 左右で異なる旋律の両手奏。7 こどものうた100「ちょうちょう」ハ長調、基本形コードによる伴奏付け8 バイエル29番 タイの演奏9 こどものうた100「チューリップ」ハ長調、基本形コードによる伴奏付け10 バイエル32番~40番 左手の加線付き音符の読譜と演奏11 こどものうた100「ぶんぶんぶん」へ長調、基本形コードによる伴奏付け12 バイエル41番~43番:右手の加線付き音符の読譜と演奏。13 こどものうた100:「おはながわらった」へ長調、基本形コードによる伴奏付け14 バイエル44番~46番 八分音符が出現する楽曲の演奏										
授業の評価	「試験」:実技試「平常点」:授業態「その他」:課題(度 発表 (
課題 (レポート等) のフィードバック	毎回の課題について	、個別に到達	度をチェック	してコメントす	ける。						
事前・事後の学習 等の内容	予習:毎回、各自の 弾きにくい 復習:授業で学んだ	箇所や質問内	容を明確にす	ること。							
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位につき自習も含	宮めて45時間の)学修が必要で	です。事前学習	(45 分) 事後学習 (4	15 分)					
履修上の注意	 ・個別のグレードによっては、ブルグミュラーやソナチネなどを学習する。 ・ピアノ演奏のマナーとして、爪は短く切ること。ネイルやマニュキア、指輪、ブレスレット等、アクセサリー類の使用は認めない。 ・適宜、手洗い、手指消毒を実施し、練習中は他の学生と密接、密集して過ごさないこと。 ・教科書の楽譜を毎回必ず持参すること。 ・授業内の練習時間を演奏技術向上のために有効に活用すること。 ・日頃から、課題曲の楽譜を声に出して何度も音読みし、早く楽譜に慣れる等、譜読みやピアノの練習に励んだうえで、授業に臨むこ 										
テキスト	・バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムⅠ・Ⅱ、全音楽譜出版社 ・『こどものうた100』小林美実監修 井戸和秀編 チャイルド本社 楽典 理論と実習 石桁 真礼生他著 音楽之										
参考書	楽典 埋論と実質 石桁 具礼生他者 音楽之 読譜に関する資料をGoogleクラスルームにより配信する。その他の資料は必要に応じて配布する。										
備考	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子										
その他	【オフィスアワー】授業の痕	前後やSNS1	こて対応する。								

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
器楽IA		演習 1 選択 幼免必修 池田京子ほか									
(20712-C1)		演習									
授業の到達目標	1. 基本的な読譜力を獲得している。 2. ピアノ演奏の基礎技術を獲得し、初歩レベルの単純な楽曲を演奏できる。 3. コードによる簡単な伴奏法を学習し、基本形での伴奏付けができる。										
学位授与の方針 との関連	学位授与の方針 保会に関する専用的知識・は係を修復している										
・本学のグレードカリキュラムに従い、個々の進度に応じて学習する個別指導型グループレッスンによる ピアノ実技演習授業。 ・楽譜の読み方やピアノ演奏の基礎技術を進度別グレード課題の楽曲演奏により学習する。 ・基本形を用いたコードによる伴奏法をこどものための楽曲演奏により学習する。 ・原則として、毎回、進度別の楽曲と、こどものための楽曲の2種類の課題を実践、実習する。 ・適宜、よりよい演奏をするための意見交換を実施し、演奏技術向上を目指す。(TPS、ピアティーチング含む)											
	回数	回数									
	\vdash	1 オリエンテーション、各自のグレード判定、音符の読み方・音の高さの学習									
		2 簡単な伴奏のためのコードについての学習									
	4	3 音符の種類と長さ 4 進度別課題① 拍子に合わせて弾く									
	5	進度別課題②				ちょう					
	6			独立して動かす	<u></u>	チュー					
	7			よる和音の練習		伴奏付け実習「こどものうだ					
授業計画	8	進度別課題⑤)左右別々の	音を同時に弾く	·	ぶんぶん					
	9	進度別課題⑥)左右別々に	単き始める	-	ぴょんぴょ	んカエル				
	10	進度別課題(7)タイの練習			伴奏付け実習「こどものうえ	た」 任意の楽曲				
	11	進度別課題®		譜の練習		II.					
	12	進度別課題⑨				II.					
	13	進度別課題⑩)八分音符を注	寅奏する		II.					
	14	進度別課題①) "			II.					
	15			実技演	習のまとめ、乳	実技試験のための練習					
授業の評価	「平常	験」: 実技 常点」: 課題 D他」:			のマナー、授業	態度 (20%)					
課題 (レポート等) のフィードバック	毎回0	の授業課題につ	いて、個別に	到達度をチェ	ックしてコメン	/トする。					
事前・事後の学習 等の内容		弾きにくい箇	所や質問内容	を明確にする	こと。	達度を上げること。 ・練習すること。					
		・人木(丁ルル	WIND JV C	/ 101M C.4 0/C	一 こっか こ と 平田町	PER TOUCO					
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位	につき自習も含	宮めて45時間∉)学修が必要で	ず。事前学習	(45 分) 事後学習 (45	5分)				
履修上の注意	・個別のグレードによっては、ブルグミュラーやソナチネなどを学習する。 ・ピアノ演奏のマナーとして、爪は短く切ること。ネイルやマニュキア、指輪、ブレスレット等、 アクセサリー類の使用は認めない。 ・適宜、手洗い、手指消毒を実施し、練習中は他の学生と密接、密集して過ごさないこと。 ・教科書の楽譜を毎回必ず持参すること。 ・授業内の練習時間を演奏技術向上のために有効に活用すること。 ・日頃から、課題曲の楽譜を声に出して何度も音読みし、早く楽譜に慣れる等、譜読みやピアノの練習に 励んだうえで、授業に臨むこと。 ・バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムI、ほか										
テキスト											
備考	池田	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子									
その他	【オフィ	スアワー】授業の育	一 前後やSNS!	 こて対応する。							

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名	
器楽 I B		演習	1	1年次	選択	幼免必修	池田京子ほか	
(20713-C1)			. == /= .	後期			備考欄参照	
極楽の到法日標	1. 基本的な読譜力を習得している。 2. ピアノ演奏の基礎技術を習得し、へ音譜表を含んだ楽曲を演奏できる。							
授業の到達目標 	3. コードによる簡単な伴奏法を学習し、基本形と転回形とを用いた伴奏付けができる。							
学位授与の方針 保奈に関する専用的知識・技術を修得している								
との関連								
授業の概要	 ・本学のグレードカリキュラムに従い、個々の進度に応じて学習する個別指導型グループレッスンによる ピアノ実技演習授業。 ・進度別グレード課題でへ音譜表を含んだ楽曲を扱い、読譜力やピアノ演奏基礎技術を獲得する。 ・コードによる伴奏法や規則的なリズム表現の技術をこどものための楽曲課題により学習する。 ・原則として、毎回、進度別の楽曲と、こどものための楽曲など、2種類以上の課題を実践、実習する。 ・適宜、よりよい演奏をするための意見交換を実施し、演奏技術向上を目指す。(TPS、ピアティーチング含む) 							
授業計画	回数 授業内容 1 進度別課題① ハ長調 I 、IV、Vの分散和音 伴奏付け実習:「こどものうた						「ァビものらた」	
				, ,,,,,,,		一		
		2 進度別課題② バイエル47番、48番 3 進度別課題③ バイエル50番				″ リズム表現実習:マーチ		
		37 Jun 144 ma C				リハム&元天日・、 リ リ		
						リズム表現実習:任意の楽曲		
	6 進度別課題⑥ バイエル53番、54番				II			
	7 ž	7 進度別課題⑦ 両手とも指を独立して動かす				伴奏付け実習:「こどものうた」		
	8 i	8 進度別課題⑧ バイエル 5 6 番 、 5 7 番				11		
	9 ž	9 進度別課題⑨ 3/8拍子、6/8拍子				実習に役立つ課題の演奏		
	10 ž	10 進度別課題⑩ 左手のへ音譜表での伴奏				II		
) 音符の長さ			讃美歌の演奏		
				曲 バイエル7		IJ		
				曲 バイエル7		伴奏付けの実習:	「こどものうた」	
) イ長調の楽	曲 バイエル7				
	15 実技演習のまとめ、実技試験のための練習 「試 験」: 実技試験 (80%)							
授業の評価	「平常点」: 課題への取り組み、ピアノ演奏のマナー、授業態度 (20%) 「その他」:							
課題(レポート等) のフィードバック 毎回の授業課題について、個別に到達度をチェックしてコメントする。								
事前・事後の学習 等の内容	予習:毎回、各自の進度に応じて与えられた課題を練習し、到達度を上げること。 弾きにくい箇所や質問内容を明確にすること。 復習:授業で学んだ課題について、指摘されたことなどを確認・練習すること。							
事前・事後の学習に 必要な時間								
履修上の注意	 ・個別のグレードによっては、ブルグミュラーやソナチネなどを学習する。 ・ピアノ演奏のマナーとして、爪は短く切ること。ネイルやマニュキア、指輪、ブレスレット等、アクセサリー類の使用は認めない。 ・適宜、手洗い、手指消毒を実施し、練習中は他の学生と密接、密集して過ごさないこと。 ・教科書の楽譜を毎回必ず持参すること。 ・授業内の練習時間を演奏技術向上のために有効に活用すること。 ・日頃から、課題曲の楽譜を声に出して何度も音読みし、早く楽譜に慣れる等、譜読みやピアノの練習に 							
テキスト	励んだうえで、授業に臨むこと。 ・バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムI、ほか ・『こどものうた100』 小林美実監修 井戸和秀編 チャイルド本社 ・『保育のためのマーチ・スキップ・ギャロップ・ワルツ・リズム曲集』 茂田すすむ編著 全音楽譜出版社 ・讃美歌、その他、適宜、プリントを配布する。							
備考	池田京·	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子						
その他	【オフィスア!	【オフィスアワー】授業の前後やSNSにて対応する。						

科目名/カリキュラ	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業心・選 免許・資格 担当者名												
教育実習指導 I		演習 1年次 山本 郁子 選択 幼免必修											
(10811-C1)		津田 由加子 前・後期											
(10011 01)	1. 幼稚	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
伝染 みがより煙	2. 教育	2. 教育実習に必要な知識と技術を習得する。											
授業の到達目標	3. 学内	3. 学内の付属幼稚園にて観察実習を行い、講義で学んだ理論を観察実習にて確認し、教育・保育											
	の基	の基本を理解する。											
学位授与の方針	保育に	関する専門的知	1識・技術を値	多得してる。									
との関連													
	分雅園	• - レ&周勤さ	宇翌の重前	重 2 と 4 と 4 と 4 と 4 と 4 と 4 と 4 と 4 と 4 と	テい 数音宝羽	の意義を理解し、実習を有	音美に						
授業の概要		めの理論と技術		子区旧寺で1	17、秋月天日	の思義を生解し、天日を有。	☆ (大) (一)						
	11 770	グジ生間で扱作	15 1 %-0										
	回数												
	1	教育実習Iの	目的と意義			70.74							
		幼稚園教育要	領 こども園	教育・保育要	領 保育	実技(手あそび)							
	2		第1章「幼稚	性園教育の基本	」「教育及び作	呆育の基本」「教育課程」							
	3	IJ	第2章「ねら	い及び内容」	保育	実技(手あそび)							
	4	IJ	第3章「留意	「事項」「健康		第4章「子育ての支援」							
	5	付属幼稚園見				実技(手あそび・わらべうた)						
松₩⇒1 元	6	幼稚園・こど		活の流れ		実技(手あそび)	本 7. 日日 .↓. ハト)						
授業計画	7	教育実習個人		記録の書きも		。 『ワーク:保育実技(絵本の記 『ワーク:保育実技(絵本の記							
	9	既宗天白口心	-			プーク・保育美技(伝本の記)	にか 町// ¹ セ/						
	10	"				<u>- フェススストー</u> き方③ グループワーク: 棹	草擬保育						
	11	参加実習の方				ープワーク:模擬保育	CONCENT TO						
	12	実習オリエン	テーション	教材研究(絵	本・遊び)								
	13	教育実習に向	けての心得と	マナー									
	14	教育実習の事											
	15	自己評価と今	後の課題	まとめ									
授業の評価	「試験	[] : [] :授業熊度。	坦山伽竺	(G O 9/)								
1文未の計画	, ,,,,,,,			, , , ,	ノ 小テスト等(ム	4 0 %)							
	C 17 C	13 • 13 //e4-23 1 fm		HILL IN PORTING	7 / 1 / 1	1 0 707							
課題(レポート等)	・レポー	ト等の課題は	、コメントを	付して返却す	る。								
のフィードバック	・授業内	容に関する質	問については	:、個別または	全体に回答する	5.							
	•		0.32	\ 	- 10 111 1	m) lander							
						既要を把握しておくこと。	2. ** 中						
事前・事後の学習 等の内容		:美において埋) !解すること。		に事例につい	(は、1欠兼円 d	あるいは授業後に質問し、授	(未刊符を						
4,51114			残に役立つ手	作り教材を課	すことがある。								
	 		,,	2414 CHA	. 2,7 0,7 00								
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	て45時間の学	学修が必要です	上。事前学習(45分) 事後学習 (45)	分)						
安な时间						·							
						マナーを重視する。							
		-			加を認めない。		a . N. / to .) \$						
履修上の注意						度が不良である。③小テスト * ねたした	、(()成績が						
				`美智が認めら	れないと判断る	されたとさ。							
	・提出物期限は厳守すること。												
	 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館												
テキスト	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館												
/ / / / /	『学び続ける保育者をめざす「実習の本」』 久富陽子編著 萌文書林												
参考書	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』 小櫃智子編 わかば社												
その他	【オフィスアリ	- 】授業の前後	É										

科目名/カリキュラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許						免許・資格	担当者名						
保育原理		1年次											
		講義 2 選択 保育士資格必修 井口 佳江											
(20140-D2)		前期											
	1. 保育士	:としてのある	べき姿、保育	士の資質につ	いて理解する	ことを目的に、保育に関する	法令や制度、						
	保育	指針における (呆育の基本を5	里解することが	ゞできる。								
授業の到達目標	2. 幼児教育についての歴史を学び、どのような人物が保育・幼児教育に対してどのようにアプローチして きたのかを理解する。												
	3. 保育者	3.保育者としての基礎的知識を身に付ける。											
学位授与の方針と関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。											
	わたした	ちを取り巻く	社会の環境は	常に変化し、	私たちは様々	な社会問題と向き合いながら	,「保育」という						
授業の概要	営みを継	続しなければ	ならない。保	:育原理では、	「保育となな」	こか」を学ぶために必要な基	こ礎的知識を理解						
1文未り似安	すること	に重点を置い	ている。保育	の基礎的な知	識を理解させ	ることで、保育者としていっ	か直面するであ						
	ろう保育	課題を解決す	る糸口となる	よう指導する	0								
	1	オリエンテー	・ション、保育	で意味と意義									
	2	保育の社会的	役割と責任										
	3	保育の制度((保育所と幼稚	[園]									
	4	保育の制度((認定こども園	、家庭的保育	・多様な保育)							
	5	保育所保育指	針の基本方針	と理念									
	6	保育の目標と	方法										
	7	保育の環境											
15 MAZ 1	8	発達と保育											
授業計画	9	保育と保護者											
	10	保育のねらい	と内容										
	11	保育の思想と	歴史①										
	12	保育の思想と	歴史②										
	13	諸外国の保育	と現状と課題	į									
	14	日本の保育の	現状と課題										
	15	まとめ											
	「試験」	: 筆記試験((30%)										
授業の評価	「平常点	〕: 小テスト	・グループワ	ーク、ディス	カッション、	出席・授業態度・授業への参	≽加意欲(30%)						
	「その他	- IJ : ディスカ	ッション・レ	ポート (40%)								
課題(レポート等)の	・レポー	・卜等の課題は	、Googlクラン	スルーム上で行	fい、そこでコ	メントする。							
フィードバック	•授業内	容に関する質	問については	、個別または	全体に回答す	5.							
	前回の授	業内容を復習	し理解するこ	と、テキスト	を読み次回の	受業の予習をしておく。							
事前・事後の学習等の	時事問題	[(ニュース)	に関心を抱き	、常に問題意	識をもって授	業に取り取り組むこと。							
内容	学ぶとい	うことの重要	性を意識する	こと。									
±36 =1.76 = 0													
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	めて45時間の質	学習が必要です	。事前学習	(135分) 事後学習	(135分)						
女'太四间													
	授業に	.積極的に参加	し、必ずノー	トを取る。教	授者のコメン	トもメモをとる。							
	・教授者	のアナウンス	(授業に関す	るお知らせ等)を聞き逃さ	ないようにすること。							
屋板しの注意	・遅刻、	居眠り、私語	、授業に関係	ない行為、許	可のないスマ	ートフォン・タブレット等 <i>の</i>)電子機器の						
履修上の注意	使用は	、減点あるい	は欠席扱いと	する。									
1	・座席を指定する場合がある。												
	・授業計画に沿って授業を行うが、進行状況によって前後することがある。												
	『基本保育シリーズ1保育原理(第2版)』監修 公益社団法人 児童育成協会 編集 天野珠路 北野幸子												
テキスト	『幼稚園教育要領解説』(文部科学省)『保育園指針解説』(厚生労働省)												
	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(内閣府文部科学省厚生労働省)												
参考書													
7 0 11	【オフィ	スアワー】授	業の前後										
その他													
	-												

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
社会福祉				1年次								
		講義	2	1午次	選択	保育士資格必修	山本 邑太					
(20411-01)				後期								
	1. 現代	代社会における	る社会福祉の意	意義・理念・歴	歴史的変遷・対	才象に関する知識を習得する。	,					
 授業の到達目標	2. 社会	会福祉の各領域	或についての?	去制度・実施体	本系等について	[理解する。						
又来の利達日保	3. 保育士として社会福祉における相談援助・利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。											
学位授与の方針	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
との関連												
				# 12 A								
授業の概要			を埋解し、現	代社会におけ	る社会福祉の	施策と動向及び必要性と今後	この課題について					
3000	概説する	0 0										
	回数			Luce A	授美	業内容						
	1	現代社会にお										
	2	欧米の社会福										
	3	日本の社会福					_					
	4	社会福祉の原		I.								
	5	生活保護制度	<u></u>	古田呦								
	6	社会福祉サー										
授業計画	7	社会福祉専門		無理								
父 果訂画	8	社会福祉の法		内灾①促杏+	レ社会複雑の	関係性~社会福祉法制度上が	 山ら目た促杏士の					
	9	立ち位置へ~		门台①休月工	これ云油加い	医尿压 化去佃位公司及工	10元に休日エッ					
	10	ソーシャルワ	ークの意義と	内容②社会福	祉と保育士の	関連性から見た相談援助(ク	ブループワーク)					
	11	現代社会にお				NACIEM STORES						
	12	現代社会にお										
	13	現代社会にお										
	14	保育士として										
	15	まとめ、ふり	かえり(グル	ープワーク)								
	「試験	<u> </u>	(60%)									
授業の評価	「平常点	〔」:授業態度	、講義ノート	(20%)								
	「その他	1」: レポート	等提出物(20	%)								
課題(レポート等)	・レポー	-ト等の課題は	、コメントを	付して返却す	る。							
のフィードバック	・授業内	容に関する質	問については	、個別又は全	体に回答する。							
						の概要を把握しておくこと。						
事前・事後の学習		時間、次回授				NII. I I						
等の内容						業内容について理解を深めて	•					
	お	がくこと。 毎授	美俊に復省を	水める。その	除、レボート	を課すことがある。						
事前・事後の学習に必	1 出 上 1 =	へまり羽ょる。	トナル「吐田 小)	5枚がり亜ィー	上 事光宗初	/ 195八 \ 古公兴冠 / ・・	DE/\ \					
要な時間	1年位に	ンさ日首も百人	ノ (43時間の)	FIEM化安(T	。 尹則子質	(135分) 事後学習 (1:	DOA /					
	車用職者	で目指す者と	1.で白骨1で	受講すステレ								
					_	始できるようにする。						
履修上の注意		ントは一つに										
		ドに関する質問										
テキスト	・『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹 編 みらい出版 ・『保育福祉小六法』保育福祉小六法編集委員会編 みらい出版(既に持っているものでよい)											
	 『図解 	『で学ぶ保育	社会福祉』直	島正樹・原田	旬哉 編 萌文	で書林						
	 『障害 	学者への支援と	障害者自立支	援制度』相澤	譲治・橋本好	市・直島正樹 編 みらい出	版					
幺 本事	その他	1、必要に応じ	て随時紹介す	る。								
参考書												
その他	【オフィスアリ	フー】当該講義日	日の昼休み	·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
しく月世												

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
子ども家庭福祉	•			1年次			濱田 敏子					
(20410-D1)		講義	2	前期	選択	保育士資格必修	(実務家教員)					
(20410 D1)	1. 現代	1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義及び歴史的展開について理解する。										
校業の初末日種					人権について理							
授業の到達目標	3. 子ど	も家庭福祉の	制度や実施体	系について理	解する。							
	4. 子ど	も家庭福祉の	動向と展望に	ついて理解す	る。							
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	子どもの権利を守るために必要なものはゆるぎない人権意識である。 その基盤となる知識や見識を学ぶ。											
	回数				授業	内容						
	1	オリエンテー	ション									
	2	子ども家庭の	福祉									
	3	子ども家庭福	祉の歴史									
		子ども家庭福										
	5	子ども家庭福	祉にかかわる	機関と施設(D							
		子ども家庭福			2)							
授業計画		児童福祉施設										
22/86/	-	少子化と子育	•									
	9	様々な保育サ										
	10 ひとり親家庭の福祉サービス 11 子育て支援と子どもに関する諸問題											
	-	11 丁育 C 又抜とすともに関する語問題 12 子どもの貧困と対策										
				<u> ۱ ا ا ا</u>	<i></i> →							
		地域のおける これからの子			<u> </u>							
	14 15	まとめグル		と与える								
		よこの										
授業の評価		. : 授業態度	, , , ,	(20%)								
225716 - 121 1100		」:小テスト		(= - / +/								
課題 (レポート等) のフィードバック	・授業内		問については	、個別又は全	ー。 体に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容	教科書の実施する		在の社会状況	と加味して子	ども家庭福祉に	2関する学びを行えるよう(Z					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	」。事前学習(135分) 事後学習(135分)					
履修上の注意	・新聞を読み、ニュースに関心を持つこと。・積極的に発言すること											
テキスト	『図解で学ぶ保育「子ども家庭福祉」』直島正樹・河野清志編著 萌文書林											
参考書	『基本保育データブック2022』全国保育士養成協議会 監修 中央法規 『子ども家庭福祉』 新保幸雄・小林理 著 中央法規											
その他	【オフィスアワ	7-】授業の前後	Ŕ									

科目名/カリキュラ	ュラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名												
社会的養護 I	諸義 2 選択 保育十資格必修 川本 邑太												
		講義 2 選択 保育士資格必修 山本 邑太 前期 1. 社会的養護における原理・原則について理解する。											
(20510-D1)	1 1 1 1	· 关 :#:) ~	4 E.M. E.M.		L 7								
授業の到達目標	2. 社会的	 社会的養護における原理・原則について理解する。 社会的養護の先人の知恵、努力、功績に関する知識を獲得する。 社会的養護の学問を基礎とした自らの考える力を身につける。 											
学位授与の方針 との関連	保育に関す	呆育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	社会的養護の原理・原則を理解し、現代社会における社会的養護の施策と動向、および必要性と 今後の課題について概説する。												
	回数				授美								
	1 社	上会的養護と	は何か										
	2 社	上会的養護を	必要とする子	どもの理解と	権利								
	3 社	上会的養護の	仕組み										
	4 社	上会的養護に	関する法制度	~児童福祉法	、措置制度、	利用・契約制度について~							
	5 社	上会的養護の	歴史的変遷に	ついて									
	6 施	西設養護①~	児童養護施設	、乳児院につ	いて~								
授業計画	7 施	西設養護②~	児童自立支援	施設、児童心	理治療施設、	母子生活支援施設について~	~						
1又未可凹	8 施	西設養護③~	障害児施設に	ついて~									
	9 施	面設における	支援の実際~	社会的養護に	かかわる専門	職~							
	10 施	設養護にお	ける現場実践	について(グ	`ループワーク`)							
					子縁組につい	て~							
			ける実践につ										
					的養護の課題	~							
				三者評価、施	設最低基準~								
		とめ、振り											
極要の証何		: 筆記試験	(60%) 、講義ノート	(000/)									
授業の評価			、再義ノート 等提出物(20	, , , ,									
	1-60万區。		守近山初(20	/0)									
課題 (レポート等) のフィードバック	• 授業内容	に関する質		、個別又は全	体に回答する。								
						の概要を把握しておくこと。							
事前・事後の学習			業の主要な内			حسر و سم بسد در در المالية	_						
等の内容						業内容について理解を深めて							
	おく	こと。毎授	業後に復習を	求める。その	際、レボート	を課すことがある。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位につき	き自習も含め	うて45時間の営	学修が必要です	上。事前学習((135分) 事後学習 (135	5分)						
履修上の注意	テキスト、	専門職者を目指す者として自覚して受講すること。 授業内容に関する質問、疑問は積極的にしていただきたい。 テキスト、配布プリント等は授業前に準備し、定刻に授業が開始できるようにする。 配布プリントは一つにファイリングし、毎授業ごと持参する。											
テキスト	・『演習・保育と社会的養護実践』―社会的養護II― 橋本好市・原田旬哉 編 (株)みらい ・『保育福祉小六法』保育福祉小六法編集委員会編 みらい出版												
参考書	『図解で学ぶ保育 社会的養護 I 』原田旬哉・杉山宗尚 編 萌文書林 その他、必要に応じて随時紹介する。												
その他	【オフィスアワー】	┃当該講義日	の昼休み										

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
子ども家庭支援の	心理学	-11. M		1年次		to the transfer						
(00011 D0)		講義	2	→ 	選択	保育士資格選択	山本 邑太					
(20211-D2)		前期										
授業の到達目標	1.生涯発達に関する心理学の基礎知識や発達課題等について理解する。 2.各発達時期の課題や移行を理解した上で、子どもの精神保健について理解する。 3.家族や家庭の意義や機能を理解した上で、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を身につける。											
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	人間の生涯発達に関する心理学の基礎知識の理解を深め、子どもや保護者、家庭と向き合う際に基本姿勢であるカウンセリングマインドを活かした実践的な教育・保育等について具体例を踏まえて学習する。また、今日の家族・家庭の意義や機能を考えながら、子育て家庭をめぐる現状と課題について解説する。											
	回数				授業	内容						
	1	生涯発達とは	:何か									
	2	乳幼児期から	学童期前期に	こかけての発達								
	3	学童期後期か	ら青年期にか	けての発達								
	4	成人期・老年	期における発	達								
	5	子育てを取り										
	6			多様な家庭形	態の理解~							
授業計画	7		係の理解と心									
	8	子育ての経験										
	9		態とその理解									
	10		必要とする家 要な子どもの									
	11			/V・3 多庭 期に見られる?	テ重h F甲 解2)							
	13			朝に見られる行								
	14			神疾患の理解)								
	15				生育歴)とまと	<u></u> හි						
		: 筆記試験		- <u> </u>	E11/E2/ C 0/ C	**						
授業の評価	「平常点	」:授業態度	、講義ノート	(20%)								
	「その他	」: レポート	等提出物 (20%)								
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 1容に関する質			-	5						
						の概要を把握しておくこと。						
事前・事後の学習		時間、次回授										
等の内容						業内容について理解を深めて	-					
	お	くこと。毎授	業後に復習を	求める。その	際、レポート	を課すことがある。						
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の	学修が必要です	广。事前学習	(135 分) 事後学	色習(135 分)					
履修上の注意	してほし	い。また、生	涯発達や現代	の家族や家庭	について関心	護者、それぞれの家庭を想定 をもち、日頃から様々な情報 欲的に取り組むこと。						
テキスト	『シリー	-ズ知のゆりか	 ご 子ども家	庭支援の心理	学』 青木紀	久代 編 (株)みらい						
参考書	適宜紹介	する。										
その他	【オフィスアり	ワー】講義日のネ	3星休み。									

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもの食と栄	養	養											
(90910_D1)		講義											
(20310-D1)	1 会生	・沃の辛美の労	美に問むる甘	24,,,,	バーフ. じょの	 発育・発達との関連につい	T 田 毎 ま						
	深め		食に関りる巫	(本印)知戦を子	O. TC 800	光月・光達との角壁につい	く生件を						
授業の到達目標		- 0	の基本と内容	および実施環	造を理解 し	協働者との連携の重要性を	理解する。						
							T1/1/ 000						
	3. アレルギーを含む病児に対して栄養学的なアプローチをする能力を身につける。												
 学位授与の方針	保育に関する専門的知識・技術を修得している。												
との関連													
						、食と栄養に関する現状お							
授業の概要			食および幼児	食の提供を行	う栄養士の業	務を紹介し、連携をとれる	ような食育						
	計画を立	工案する。											
					الد عالد	-1-24							
	回数	フレナの会生	江の田仕しま	1晒 胡士ねて		:内容 て;子どもの健康な食生活							
	2	栄養と栄養素				て, するもの健康な良生的							
	3		, , ,			;食育に必要な基礎栄養学							
	4				に必要な基礎	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
	5	栄養素の消化	と吸収;食育	に必要な基礎	栄養学								
	6	健全な児を育	むための食と	栄養について	;妊娠授乳期	の栄養							
授業計画	7	新生児期・乳	児期の栄養に	ついて									
汉未时國			-			期の食事(乳汁,離乳)							
		幼児期の食事			· -								
		保育所、幼稚											
	11	施設ことの食 食育授業を考			て;食育活動								
	12	食育プレゼン											
	14	アレルギー児			<u> </u>								
	15	先天性疾患、	障がい児、病	別に対する栄	養								
	「試 駿) :筆記試験	(40%)										
授業の評価		. : 受講態度	, , , ,										
		1」: レポート) y = 1) % y						
		トによって レホ)内容も含めて				れば修正を含む再提出を求	めることがある。						
課題 (レポート等) のフィードバック						。 るようにする。							
		ァンパートは マ マ マ マ ト ボ ー ト 共				2 x / (C 1 · D)							
						の概要を把握しておくこと。							
事前・事後の学習		時間、次回授				ついて理解を深めておくこ	1.						
等の内容		キスト、配巾 接授業後に復習					۷.						
事前・事後の学習に													
必要な時間	1単位に	つき自習も含め	りて45時間の含	学修が必要です	r。事前学習	(135分) 事後学習(135分)						
	口頃から	学養 食につ	いての桂却巾	生 た 心 が け	毎囲に対して.	<u>+</u> 分に回答できるようにし	アセノトレ						
						「ガに固合くさるようにし レゼンテーションを課しま							
履修上の注意						組んでください。	, ,						
	10回以上の出席がないと、定期試験受験資格を失い、成績評価対象から除外されます。 												
	プリント配布												
テキスト	『子どもの食と栄養』岡崎光子 編著 子どもの食と栄養 光生館												
	[Part 10] (A. A.) Wilder at Sander (IIII.) [Part beauty Consider Statistics of the Consider Statisti												
公	『子どもの食と栄養 改訂第2版』 水野清子ら編著 診断と治療社												
参考書													
	【オフィスアリ	アー授業の前後											
その他													

科目名/カリキュラ	ラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
乳児保育 I		業業 2 1年次 翠和 伊玄上次牧以攸 前田 鹿甫										
		講義	2	後期	選択	保育士資格必修	前田 廣惠					
(20650-D1)	1 /0 本		夕操か四去の	1日 1ヶ ナハナ フ 心	旧仏女の理仏	い細胞について四個十つ						
						と課題について理解する。						
授業の到達目標	2. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容について理解する。 3. 乳児保育における職員間の連携・協同及び保護者や地域の関係機関との連携について学ぶ。											
	TO THE THE WAY OF STANDARD SHIP IS A STANDARD OF STANDARD											
学位授与の方針	保育に関する専門的知識・技術を修得している。											
との関連	休月に関りの号門印和誠・扠側を修付しくいる。											
核类の種用	人格の基	礎が形成され	る時期に、環	境と体験の相	互作用を通し`	て、豊かな心情・意欲・態度	きを					
授業の概要	育てる保	骨者の具体的	な関わりと、	養護と教育に	ついて学ぶ。							
	回数				授業	内容						
	1	乳児保育の意										
	2		を取り巻く現									
	3		機能の発達と									
	4		機能の発達と									
	5		発達を踏ま									
	6		・発達を踏ま	えた保育								
授業計画	7	自己肯定感を		7 /II - 								
	8		と自律を支え									
	9		事物の操作の									
	10		保育における		鬼 (プロボン)	ニ シルン						
	11	11 3歳未満児の発達にふさわしい教材の研究 (プレゼンテーション) 12 あやし遊び、わらべ歌遊びの実際 (グループワーク)										
	13	乳児保育にお			-							
	14	乳児保育と保										
		振り返りとまと										
	10	: 筆記試験										
授業の評価		、	, , , ,									
22276 - 11111111		」:レポート		30%)								
		れたレポート			業の中でコメ	ントする。						
課題(レポート等)	・授業内	容に関する質	問は個別また	は全体に回答	する。							
のフィードバック												
	予習:電	直の中や買い	物などで出会	う乳幼児の観	察をして記録	したり、社会の情勢と						
事前・事後の学習						通したりすること。						
等の内容	復習:テ	キストや配布	プリントを通	読し各回の授	業の内容を理解	解しておくこと。						
事前・事後の学習に必			and many and		1. 1. 1. 1	n						
要な時間	1単位に	つき目習も含め	りて45時間の雪	学修が必要です	一。事前学習(135分) 事後学習(135	5分)					
	分からた	いことはその	場で質問し	積極的に授業	に参加するこ	<u>لم</u>						
履修上の注意	J 14 J 64		<i>m</i> • 92111 0 •	IXIE-WI-	(-9/14/ 0 -							
	『乳児の	生活と保育』	松本園子編	著 ななみ書	房							
テキスト	『保育所保育指針』 『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』											
参考書	授業の中	「で紹介する。										
							<u> </u>					
その他	【オフィスアリ	- 】授業の前後	发									
CV/IE												
						·						

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
社会的養護Ⅱ		1年次										
		演習	1	1十八	選択	保育士資格選択	山本 邑太					
(20511-D1)		後期										
	1. 社会的養護の基礎知識を深め、現状を把握する。											
	2. 児童養護の現場の実状を知り、具体的な支援の方法を学ぶ。											
授業の到達目標	3. 保育所以外の児童福祉施設等での保育士の働きを知り、保育者として多様性のある実践力を身につける。											
	○・											
学位授与の方針	但者に思	する専門的知	識・技術を修	:得1 ている								
との関連	N H CK	1 2 2 1 1H 1VH	戚 汉州之區	. I.d. C. A. 20°								
	社会的着	・誰の見休的宝!	はについて理	解 事例を	むとに保育者は	に求められる役割について考	ラス 施設養護や					
授業の概要						ハて学び、子どもの福祉にか						
	つける。											
	回数				~							
		リヘルギギの	TEL & 1. 146 AF	34-4-1-4-1-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4-4		:r14F						
	1	社会的養護の										
	2	社旗的養護を			権利							
	3	社会的養護に	かかわる保育	f士の役割								
	4	保育士の倫理	および責務									
	5	保育士の専門	性									
	6	施設における	支援の実際①)~アドミッシ	ョンケアにつ	いて~						
	7	施設における	支援の実際②)~インケアに	ついて~							
授業計画	8	施設における	支援の実際3)~リービング	`ケア・アフタ	ーケアについて~						
	9	社会的養護に			-	·						
						<u>&</u> 立支援について~						
	10					立义族に*リバ(~						
	11	記録および評										
	12	記録および評			ける評価~							
	13	記録および評	価③~事例か	ら学ぶ~								
	14	ケーススタデ	ィ〜具体的な	ナースから学	ぶ~(グルー	プワーク)						
	15	まとめ ・振り)返り									
	「試 験	: 筆記試験	(60 %)									
授業の評価	「平常点	: 授業態度、	、講義ノート	(20%)								
	「その他	1:レポート	等提出物 (20)%)								
		- ト等の課題は、			る。							
⇒m H== () 10 1 k-k-\		容に関する質										
課題 (レポート等) のフィードバック	1X-Kr	14に対りの到	II](C)(· C a	、一個加入は主	件に四合する。							
					— I = 1110 I . I .							
						の概要を把握しておくこと。						
事前・事後の学習		時間、次回授			, ,							
等の内容						業内容について理解を深めて						
	お	らくこと。毎授	業後に復習を	・求める。その	際、レポート	を課すことがある。						
+												
事前・事後の学習に	1単位に~	つき自習も含め	て45時間の	学修が必要です	r。事前学習	(45 分) 事後学習(4	.5 分)					
必要な時間												
	1											
						護者、それぞれの家庭を想定						
履修上の注意						先などで取り組まれている子 *** ********************************						
		♪をも ら、日頃 ≧習に対して意?			「ど張つ(適こ	ごし授業に臨むこと。予習・行	复首を古め、					
	日りの子	一日に刈して思1		125 - 20								
テキスト	・『演習	引・保育と社会	的養護実践』	一社会的養護	Ⅱ一 橋本好	市・原田旬哉 編 (株)み	らい					
	『図解で	ご学ぶ保育 社会	会的養護Ⅰ』	原田旬哉・杉	山宗尚 編 i	萌文書林						
参考書	その他	1、必要に応じ	て随時紹介す	`る。								
× • •		· - ·										
	[47 , 977	1.【业************************************	の日仕っ									
その他	レ オノイスどり	ワー】当該講義日	1の生体み									
القارة حاكا												
	I						_					

科目名/カリキュラ	ムNO.	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
幼児音楽IA		演習 1 選択 保育士資格必修 松本 温子											
		演習 1 選択 保育士資格必修 松本 温子 前期											
(20720-D1)	1 甘江村	的な音楽理論	た細報1 洋		並る								
		的な発声を身に											
授業の到達目標	3. 合唱を通して、声を合わせて表現する事を体験し、同時に、表現力、聴き合える耳を養う。												
学位授与の方針	保育に関する専門的知識・技術を修得している。												
との関連													
授業の概要						合う、表現する)の担う力は							
	非常に大	(さい) といり 。	事を埋解し、	その技術や知	識を高め、保	育者としての学びと心を深め)る。						
	□ ¥4				極業								
	回数	極紫内宏,甘	大畑会 /ナロ	エンテーショ		:内容 Iにおける"自己目標"を打	見げて)						
	2	歌唱姿勢・呼			ノ(初光日米	1にわける 日日日保 です	図() (3)						
	3	発声法・譜表											
	4	音符・休符/	- 1.7 1. 4	₩(
	5	コードネーム		("春のうた"	を中心に)								
	6	拍子記号・変	化記号/弾き	:歌い									
	7	調号/弾き歌	\										
授業計画	8	合唱/全音・	半音/弾き鄂	イイグ									
	9	合唱/音階/	弾き歌い('	"夏のうた"を	中心に)								
	10	音階/弾き歌	Vγ										
	11	音程/弾き歌											
	12	プレゼンテーション:「"自己目標"に対しての評価、改善点、新たな目標など」 / 音程/ 弾き歌い											
				3									
	13	歌唱まとめ(V.								
	14	弾き歌いまと まとめ	め(独奏)/	首条埋論まど	<i>Ø</i>								
	15 「計 駐	ょこめ : 音楽理論:	等記試驗 宇	技試驗 (6.0	0/2)		-						
授業の評価		、			/0/								
322K -> H I IIM		1 : 提出物な											
		-2 00/1//	_ , ,,,										
課題(レポート等)	・レポー	- ト、提出物等の	の課題は、押	印やコメント	などを付して	返却する。							
のフィードバック	• 授業内	容に関する質問	問については	:、個別又は全	体に回答する。								
				゚リント、「子	どものうた100)」)箇所をよく読み解き、							
事前・事後の学習		ff要を把握して:		Not a senten 1. se	1 2 #/ /-								
等の内容						プリント、「子どものうた1	00])						
	2	見直しておく		下促出を除り	ることがある。								
事前・事後の学習に必	1単位に	へき白羽 ៖ 今 ;	てÆ時間の	学体が立画で	上 車 計 学 羽	(45 分)事後学習(4.	5 分)						
要な時間	1年位に	フさ日白も日の) (40时间)//-	子修が必安し)。 尹刑子自	(40万)尹牧子自(4	э л)						
	"幼児音	「楽 I " での主	たる内容"音	・楽理論"に真	剣に取り組み、	. 学習し、理解すること。							
						態度を重視する。							
履修上の注意	意欲的な	(姿勢で授業に	取り組み、教	材などの準備	物を忘れない	こと。							
	『子ども	のうた100』	小林美実 監	修 チャイ	ルド本社								
テキスト	教材フ	プリント配布(14	年を通して使	用)									
	1		0 - 2										
参考書	授業の際	₹、必要に応じ、	、プリント配	!布									
	【オフィスアワー】授業の前後												
その他	【 オノイスデリ	戸】 授業の前後	Ĉ										
	<u> </u>												

科目名/カリキュラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名												
幼児音楽 I B				1年次								
(20721-D1)		演習	1		選択	保育士資格必修	松本温子					
(20721-01)	1 /4/18	文字 「 4 本の	光羽のした	後期	およったが出る人	 の理解を深め活用する事が出	1 # 7					
						,	1米の。					
授業の到達目標		2. 基本的な発声を身につけ、豊かな歌唱・弾き歌いが出来る。3. 弾き歌いでは、表情豊かに歌いながら伴奏が出来る技術を習得する。										
						ョロッる。 しみながら音楽表現を行う。						
	4. 加木	口欠と思して	、木砂ツ水	(英仏で日付		しかなから日本な死で行う。						
学位授与の方針 との関連	保育に関	育に関する専門的知識・技術を修得している。										
	(4)田玄海	(1 4 不学羽)	羽伊工夫和鐵	め欠齢をかかま	ニナ ナント	この壮作の知識も古め						
授業の概要		: I A C子自・ : しての学びと		で経験を踏ま	んし、さりに、	. その技術や知識を高め、						
	休月石と	しての子いと	心で採める。									
	回数	I			授業							
	1	前期学習の復	習と確認/幼	児音楽 I Bにお		標" を掲げる/弾き歌い						
	2			("秋のうた		- 1,1,1,1, a,1, vi e						
	3		カデンツ/引									
	4		・カデンツ/『									
	5		・カデンツ/引									
	6		カデンツ/弾き									
	7			- ··· ·のうた"を中	心に)							
授業計画	8				ード/弾き歌	V)						
2271887	9	移調/弾き歌			., ,, ,,	•						
		伴奏付け(ハ		合奏・説明								
	11	伴奏付け(へ										
	- 11				対しての評価。	、改善点、新たな目標など」						
	12	/伴奏付け (7.4 - 4 - H Ilmi	(yell mit white as him as a 3						
	13			まとめ(独唱)							
		弾き歌いまと			-							
	15	まとめ										
	「試 験		、音楽理論筆	記試験(60	%)							
授業の評価	「平常点	〔〕:授業態度	(30%)									
	「その他	」:提出物な	ど (10%)									
課題(レポート等)	・レポー	ト、提出物等	の課題は、押	印やコメント	などを付してi	返却する。						
のフィードバック	・授業内	容に関する質	問については	、個別又は全	体に回答する。							
	予習:次	(回授業で使用	する教材(プ	リント、「子	どものうた100)」)箇所をよく読み解き、						
事前・事後の学習	櫻	ff要を把握して	おくこと。									
等の内容	復習:各	一回に覚えた授	業内容をより	深く理解する	よう、教材(ご	プリント、「子どものうた10)0」)					
	を見直し	ておくこと。	レポート提出	を課すること	がある。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の質	学修が必要です	一。事前学習((45分) 事後学習 (45分	分)					
	"幼児音	·楽 I " での主	たる内容"音	楽理論"に真	剣に取り組み、	学習し、理解すること。						
						態度を重視する。						
履修上の注意		:姿勢で授業に										
						•						
	『子どものうた100』 小林美実 監修 チャイルド本社											
テキスト	・音楽理	温論 教材プリン	ノト配布(1年	Fを通して使用	∄)							
	A STATE OF THE PROPERTY OF THE											
	授業の際	※、必要に応じ	、プリント配	布								
参考書												
ファル	Tilm	7 【 标类 4 4 /	√									
その他	【オノイスグリ	7-】授業の前後										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育実習指導 I	D	藤田 貴久											
体月天日汨等 1	Б	(契首) 1 2年次前期 選択 保育工資格選択 (未務本収算) 山本 邑太											
(20822-D1)							山本 邑太						
授業の到達目標	施設 2. 実習	・福祉施設の内容や機能、また、保育士や施設教員の仕事について講義を通して学び、施設実習が円滑に実践できることを目指す。・実習施設の一日の生活の流れや支援の内容を理解しる。・実習施設が持つ機能や社会的役割について理解する。											
学位授与の方針 との関連	・社会人	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。 社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。											
授業の概要		児童福祉施設での実習を通じて、利用者への理解を深めるとともに、施設の機能および施設職員の 職務について実践的に学ぶ。											
	回数				授	業内容							
	1	意義と目的、	概要、実習生	に求められる	ものなど								
	2	福祉施設、利	用者、職員の	理解									
	3	DVD「施設	実習の基本」										
	4	生活指導、学	習指導、社会	人としての常	·識								
	5	療育指導、自	立支援										
	6	乳児院、母子	生活支援施設	、児童養護施	設								
授業計画	7	児童発達支援	センター										
(文表訂画	8	障害者支援施	設(入所更生	:、通所授産)									
	9	個人票作成、	オリエンテー	・ションについ	て								
	10	実習課題、事	前確認事項										
	11	実習日誌の書	き方										
	12	指導計画の書	き方										
	13	実習中のケー	ススタディ										
	14	グループ討議	、お礼状作成	ż									
	15	実習の反省と	まとめ										
	「試 験	: :											
授業の評価	「平常点	、」: 授業態度	き、課題提出	(40%),	レポート (1	0 %)							
	「その他	」: 実習態度	と、実習評価な	など(50%)									
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 容に関する質				5							
事前・事後の学習 等の内容		配布プリント 席した場合、			にくること								
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	上。事前学習	(45分)事後学習(45	分)						
履修上の注意	①事前指 ③授業に	本科目では「学習に対する意欲的な姿勢」と「社会人としてのマナー」を要求する。 ①事前指導の欠席が2回以上の場合、②授業態度、出席状況が悪い場合、 ③授業において課された課題を提出しない場合、④教員による会議で実習が認められないと 判断された場合、⑤小テストの成績が著しく低い場合、実習を認めない。											
テキスト	『保育・福祉専門職をめざす学習の基礎』 生活技術教育研究会編 ななみ書房												
参考書	『保育所保育指針』 必要に応じ配布する												
その他	【オフィスアリ	J-]											

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
コンピュータ櫻	語			1年次									
(20910-F1)		講義 2 選択 情報処理士必修 津田 敏 後期 後期											
授業の到達目標	2. ネット	ンの内部3大装 ワーク、Wi-F 装器やソフトウ	i、スマホ通信	装置である入力 言について理角		置について理解する。							
学位授与の方針 との関連	・社会人	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力を 身につけている。											
授業の概要	パソコンの基本的知識、ネットワーク、関連機器について学び情報処理について考える。												
	回数				授業								
	1	〈PBL〉スマホの	DOS, PCOOS	ヒ対応ソフトに	こついて								
	2	〈PBL〉スマホの			去について	<u> </u>							
	3	〈PBL〉4Kテレビ											
	4	〈PBL〉PCのメン											
	5 6	〈PBL〉スマホ・ 〈DBI \アナロノ			イトの関係につ	いいて							
	6	〈PBL〉PC5大装			I 下の用がに。	JV . C							
授業計画	7	〈PBL〉プリンタ											
	8	〈PBL〉ブロー Ì	ドバンドルーク	タについて									
	9	<pbl>USBメモ</pbl>	リについて										
	10	<pbl>カメラに</pbl>	こついて										
	11	〈PBL〉メモリカ		C									
	12	〈PBL〉スキャラ											
	13	<pbl>5GとWiF <pbl>Web会議</pbl></pbl>		T									
	15	〈PBL〉データ管			ついて								
授業の評価	「試 駿 「平均点 「その他	〕:毎回の課	題5点×15=7	5%、まとめに	√ポート25%								
課題 (レポート等) のフィードバック		こついて理解度 日容に関する質											
事前・事後の学習 等の内容	復習:自		してClassroo			を把握しておくこと。 ・掲載しているので学んだ内?	容の						
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の質	学修が必要です	「。事前学習	(120 分) 事後学	全習(120 分)						
履修上の注意	社会人が持つ情報処理の基礎知識として修得し、今後の社会で活かせるように取り組むこと。												
テキスト	『スマホ・パソコン活用基礎講座』 津田敏著 2021年												
参考書	『スピードマスター ITパスポート試験 テキスト&問題集 六訂版』著:ITパスポート試験教育研究会 2021年												
その他	【オフィスアリ	ワー】授業の前後	 é及びGoogle	Classroom									

科目名/カリキュラ、	ムNO.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
WORD演習 I		*** 2121	0	1年次	/44.Tu	(±++0-40-70-1-)22.40	m - * **					
(20920-G1)		演習	2	前期	選択	情報処理士選択	野口義栄					
(1. IT基	L と礎・活用講座	┗ どで習得する基	144774	<u>┃</u> こ、より実践⊢	I 的な文章作成技法の習得をす	 -る。					
授業の到達目標	2. WORI	Dを使い、「MC	CAS検定」等の	り資格合格に	必要な実践的	な能力を身につける。						
1文未り判定日保	3. ⊐ ₹	3. コミュニケーションとしての文書表現力の基本を身につける。										
N/ 11-15 h = 1-A1	• 数利.学	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している										
学位授与の方針 との関連	秋村子	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
	実社会で	ごはコミュニケ	ーション手段	愛の一つとし`	てドキュメン	トの果たす役割は重要である	0					
授業の概要	あらゆる	ビジネスシー	・ンに応じて、	的確で分か	り易いドキュ	メント作成技法の演習をする	0					
2270 - 1702												
	回数											
	1	文書表現の概	釆観: コミ:	ュニケーショ		の役割、文書表現手法の概要						
	2					るための文書表現手法	<u>`</u>					
	3	文書表現手法	E2: ビジ ^ン	ネス文書表現	手法							
	4			11777		役割と機能。文書内容の検索	**					
	5					作、改ページ機能操作						
	6	+				トボックスの利用	3					
授業計画	7 8					定、各種オブジェクトの利用 整理。差込機能	1					
	9				の管理、コメ							
	10	文書の共有と	:保護: 共	有の概念、操	作。文書セキ	ュリティの管理						
	11	課題演習1:	必須重点	事項、操作演	習							
	12	課題演習2:										
	13					L<課題解決型学習>	_					
	14 15	総合演習3:			の工大Z PB	L<課題解決型学習>						
授業の評価	「平均点	:受講態度	、小テスト	(20%)								
		1」:提出作品										
課題(レポート等)	· ·	- 卜等の課題は	•		, - 0	7						
のフィードバック	• 授業P	羽容に関する質	間については	は、個別又は	全体に回答す	る。						
	• 予習 :	毎回の演習に	関係する内容	マを教科書等	で確認してお	くこと。						
事前・事後の学習		未習熟な演習										
等の内容	<u> </u>											
事前・事後の学習に必要												
お時間	1単位に	つき自習も含む	めて45時間の	学修が必要で	ず。事前学習	習(135分)事後学習(135分)					
P /r L a Vizz												
履修上の注意	・課外に	こおいても継続	的な練習が望	望ましい。								
テキスト	 『完全~	フスター Word	1 2016 noa	出版								
ノイベト	『完全マスター Word 2016』 noa出版											
	†											
参考書	『Word 2016 パーフェクトマスター』 秀和システム											
	<u> </u>											
その他	【オフィスア!	ワー】授業の前征	发									
	<u> </u>											

科目名/カリキュラ、	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名												
EXCEL演習 I				1年次									
(20930-G1)		演習 2 選択 情報処理士選択 野口 義栄 後期 後期											
授業の到達目標	2. EXCE		ICAS検定」等	能を基に、よ の資格合格に	必要な実践的	計算技法の習得をする。 は能力を身につける。							
学位授与の方針 との関連	・教科学	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。											
授業の概要		E数値情報を含む処理(データの視覚化・蓄積管理等)は実社会においても欠かせない手法である。 これらの基本概念を理解し、具体的操作方法を演習していく。											
	回数 1 2 3	データの作成と	と基本操作:オ	ート機能、デー	の基本的な取扱い	業内容 ハ手法、視覚化・蓄積の重要性 フークシートの管理 テーブルの書式設定	Ē						
授業計画	4 5 6 7	数式の作成と約 数式の作成と約 データの視覚(編集 2 : 条件付 編集 3 : 条件付 比1 : 各種グラ	き数式でのデー き数式でのデー フを使ってのデ	ータ検索、文字を データの視覚化を	列操作							
以 朱时回	8 9 10 11	データの視覚化	ヒ3:各種関数 ビキュリティ:	を使って総合的 ブックの管理、	って総合的な視り 内な視覚化処理 保護、共有、配	記布の各種機能							
	11		実社会における 実社会における	表計算処理1	F演習 PBL<課題解決 PBL<課題解決								
授業の評価	「試 験 「平均点 「その他	L : 筆記試験 : 受講態度 : 提出作品	、小テスト 、課題レポー	(20%) -ト等(20°									
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 1容に関する質	•		-	3.							
事前・事後の学習 等の内容	. , ,	毎回の演習に 未習熟な演習				· · · · ·							
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含と	めて45時間の	学修が必要で	ず。事前学習	」(135分)事後学習(135分)						
履修上の注意	・課外においても継続的な練習が望ましい。												
テキスト	『完全マスター Excel 2016』 noa出版												
参考書	『Excel 2016 パーフェクトマスター』 秀和システム												
その他	【オフィスアワ	一】授業の前行	发										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
情報処理実習	[1年次									
(20970-F1)		実習 1 選択 情報処理士選択 津田 敏 後期 後期											
授業の到達目標	1. テキストエディタを使用してWebサイトを作成する能力を修得する。 2. Webサイトの作成をHTMLとCSSで学び、情報発信力を修得する。 3. Webサイトの作成に当たり、画像の編集や形式、パスについて学び、それらに伴う知識を修得する。												
学位授与の方針 との関連	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。												
授業の概要	授業の概要 情報発信作成の基礎を身につけ社会での情報発信の在り方について考える。												
	回数				授業	内容							
		Webサイトを制		前に									
	2	制作の準備と											
	3	リストとグル	•										
	4	ナビゲーショ											
	5	リンクと画像											
	6	リンクと画像	の挿入②										
授業計画	7	CSSの基礎① CSSの基礎②											
	8 9	CSSの基礎② CSSの基礎③											
		2ページ目以降	をとHTMI 編集										
	11	フォームの基											
	12	自作Webサイ											
	13	自作Webサイ											
	14	自作Webサイ											
	15	自作Webサイ		長									
授業の評価	「平常	験」: 対点」:各回の	理解度・作成	度60%、自作	Webサイト作品	₹40%							
	140)他」:											
課題 (レポート等) のフィードバック	• Web	サイト作成には	aけるHTMLやC	SSについての	質問に個別に)フォローする。 回答する。 びれかの言語で作成している。	ことを認識する。						
事前・事後の学習 等の内容		HTML、CSSに、 HTML、CSSで作				lできるようにすること。							
事前・事後の学習に 必要な時間]	1単位につき自	習も含めて45	時間の学修が	必要です。事	前学習(45 分) 事後等	学習(45 分)						
履修上の注意	Webサイト作成の基礎について修得し、今後就職先で貢献するとの思いで取り組むこと。												
テキスト	『スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版』狩野祐東著(SBクリエイティブ)2022年7月												
参考書	なし												
その他	【 オフィ)	スアワー】授業の育	前後										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
初級簿記A		演習	2	1年次	選択	情報処理士選択	津田・敏					
(21010-G1)		前期										
授業の到達目標		の用語や企業(の日々の取引)			て理解する。 法を身につける	0						
学位授与の方針 との関連	・教科学	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
授業の概要		•			そして国家予算。	まで幅広く用いられているこ 学ぶ。	ことを学ぶ。					
	回数				授業	内容						
	1	簿記の基礎	5要素									
	2	簿記の基礎	仕訳と転割									
	3	商品売買①	仕入と売上	こ、掛けや返品	1							
	4	商品売買②	基本問題									
	5	現金預金①	現金、普通	通預金、当座 預	頁金と小切手							
	6	現金預金②	小口現金									
les villes 1	7	現金預金③	基本問題									
授業計画	8	手形と電子	記録債権・債	養務								
	9	手形と電子	記録債権・債	養基本問題								
	10		産、未収入金									
	11			行・借入、前	が払・前受							
	12		受金、立替金		11120							
	13				品券 差入保証金	を、支払家賃、その他						
	14	基本問題①		20 202-101919	177 ()117 () () ()	21 77,577, 6 7 12						
	15	基本問題②										
		」:定期試験										
授業の評価		」 : ルテスト										
大木・バー III	「その他	-	(00 /0)									
課題 (レポート等) のフィードバック			については、	個別又は全体	本に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容		テキストの該当 新しい用語や仕			ておくこと。							
事前・事後の学習に必要な時間	1単位につ	つき自習も含め)て45時間の気	学修が必要で	す。事前学習(135分)事後学習(13	5分)					
履修上の注意	• 会計特	有の専門用語の	の意味を理解	うることに努	らめる。							
テキスト	『みんな	が欲しかった	 章記の教科書	第10版』:	滝澤ななみ著	TAC出版 2022年2月						
参考書												
その他	【オフィスアワ	-】授業の前後	<u> </u>									

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
初級簿記B (21011-G2)		演習 2 選択 情報処理士選択 後期										
授業の到達目標		1.仕訳の理解を深め、伝票と日計表の作成、試算表の作成を学ぶ。 2.試算表から損益計算書・貸借対照表をまとめた精算表を作成する力をつける。										
学位授与の方針 との関連	教科学	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
授業の概要	·初級簿詞	初級簿記Aに連続するもので、簿記についてさらに理解を深める。										
	回数				授業	内容						
	1	試算表①	合計試算表									
	2		残高試算表									
	3	伝票と仕訳										
	4		から総勘定元									
	5		から総勘定元	に帳 問題								
	6	決算手続き		- H - 42 M - 1 1 1	. ^							
授業計画	7			、 「足、貸倒引当 「一本形円去"								
	8			の答字が書	建医元却 骨税納付額計算							
	9				『枕柄がり顔計算 ミ払、収益の未収	7						
	11			ラス、 貝川 シス								
	12	決算手続き		1 17/01-11 11/0								
	13	決算手続き										
	14	精算表の作										
	15	財務諸表の	作成									
	「試 験	」:定期試験	(60%)									
授業の評価		」: 小テスト	(40%)									
	「その他	.] :										
課題 (レポート等) のフィードバック	・授業内領	容に関する質問	見については、	個別又は全体	本に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容		欠回の内容を誘 新しい勘定科目										
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要でで	す。事前学習(135分)事後学習(135	分)					
履修上の注意	・会計の特	・会計の特殊な用語、勘定科目があるので、意味を理解するように心掛ける。										
テキスト	『みんなが欲しかった簿記の教科書 第10版』: 滝澤ななみ著 TAC出版 2022年2月											
参考書												
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	Ź									

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
特別活動A	1年次通年 1年												
(10100 110)		演習	1		必修	保育士資格選択	橋崎 良治						
(10120-A12)	T		hera III rea hera	2年次通年		THE ALL AND A STATE OF							
				倫埋観を埋解	して自己の人	間形成に役立てる。							
授業の到達目標		2. 愛と奉仕の精神を身につける。3. チャペルアワーやキリスト教関連行事の参加を通して建学の精神を理解する。											
	3. ナャヘルドリーやキリスト教関連行事の参加を通して建字の精神を理解する。 												
	・キリスト教精神に其づく倫理組や受と泰什の特神を身につけている												
	・キリスト教精神に基づく倫理観や愛と奉仕の精神を身につけている。												
学位授与の方針	・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、または、コミュニケーション能力や課題発見・												
との関連	解決能	力を身につけ	ている。										
			> 144 mm> 1-4-			S. Martinia and St. Martinia							
授業の概要	チャペル	アワーやキリ	スト教関連行	事の参加を通	じて、キリス	ト教精神、建学の精神につて	「の学びを深める。						
1XXX 194X													
					授業内容								
	○チャペ	ルアワーは讃	美歌を歌い、	聖書を読み、	メッセージを	聴き、お祈りをするという							
		.拝形式で行う	_										
		ヤペルアワー											
	チャペル	アワーの中心	は聖書に学ぶ	ことに置かれ	ている。講師	から聖書の話をきき、讃美							
	歌を歌い	、祈りを通し	て、キリスト	教の知識を深	め、キリスト	教の雰囲気にふれる機会と							
	する。												
授業計画	具体的に	.はメッセージ	(説教)を通	じて聖書の言	葉の意味を考	え、平和や、人権問題、							
[[[] [[] [[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	貧困など	で現代の課題	等についても	考える機会を	持てるように [、]	する。							
	○その他	のキリスト教	関連行事に参	加する。									
	クリスマ	ス点灯式・・	・イエスキリ	ストの降誕に	あたり、その	真の意味を学ぶ。							
	クリスマ	ス礼拝・・・	・イエスキリ	ストの降誕を	祝う。								
	卒業礼拝		本学におけ	る教育の締め	くくりとして	卒業式前日に行い、							
	社会に出	ていく卒業生	への祝福と勧]励の場として	礼拝をおこな	う。							
	卒業式・		・卒業式に参	油することを	通じて、建学の	の精神について理解を深める	0						
	「試 験	: :											
授業の評価	「平常点	」:チャペル	や宗教活動へ	の取り組み状	況。(50%))							
	「その他	」:感想文・	報告書(毎回]提出) (50	%)								
課題(レポート等)	/ 经		問については	、個別又は全	休に回答する								
のフィードバック	1又未75	付に関する貝	回に フィ・てい	、一回別入は主	件に凹合する。								
						読んで理解しておく。							
事前・事後の学習				リスト教行事									
等の内容				箇所やメッセ	ージについて	記入する。							
	・近くに	ある教会に行	ってみる。										
事前・事後の学習に必													
事制・事体の子音に必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の	学修が必要です	r。事前学習	(45分) 事後学習 (45分	分)						
履修上の注意	活動の参	:加にあたって	は、私語を憤	[みおごそかな	思いで臨むこ	کی							
/8/91/1/8/	111297	7001-051-0	TON PART CO	(,) 40 = 610 8									
	lus		± 11. 13										
		聖書(日本聖											
テキスト	讚美歌21	. (日本基督教	団出版局)										
参考書													
その他	【オフィスアワ	-】各活動の 育	前後										
C -> 10													

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
特別活動B				1年次通年									
(10210-E12)		演習	1	2年次通年	必修	保育士資格選択	山本 邑太						
	1. 講演会	. 講演会やセミナーを通して、幼児教育に関する専門性を高め、また、多様な視点を身につける。											
		:会人として必要な視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 3決能力を身につけている。											
授業の概要		重常の教科学習だけでは獲得することのできない社会人としての素養を自治会活動や 構演会等の様々な活動を通して培うことを目指す。											
	授業内容 ・2年間で32時間の学内活動に参画したうえで、参画時の積極性、行動を評価する。 < 1 年次 >												
授業の評価		」:「積極性」				ュニケーション力」等を評値 を課す場合がある。	新する。						
課題(レポート等) のフィードバック	「平常点	」: 」:活動への 」:活動報告	取り組み状況										
事前・事後の学習 等の内容	• 授業内	 容に関する質	——- 問については	 、個別又は全	体に回答する。								
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	一。事前学習((45分) 事後学習 (45	分)						
履修上の注意	活動には	積極的に取り	くむこと。										
テキスト													
参考書													
参考書 	【オフィスアワ	-】各活動の育	前後										

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
日本語表現Ⅱ	[2年次 幼兔必修 津田 由加子											
/		演習											
(10311-C2)													
		1. 日本語表現を幅広く深く理解する。											
 授業の到達目標	2. 保育	2. 保育者、そして社会人としての人間力を身につける。											
以来の判定日保	3. 自己表	3. 自己表現する力を獲得する。											
	4. 論文(4. 論文作成や文献検索等に使用できるICT能力を身につける。											
	・教科学習及び実習を通じて実践力を習得している。												
学位授与の方針	・社会人	・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力											
との関連	を身に	を身につけている。											
I sally too	1. 学び	で通してコミ	ュニケーショ	ン能力やプレ	ゼンテーショ	ン力を高める。							
授業の概要	2. 関心	を持つテーマ	を取り上げ、	論文としてま	とめる。								
	回数				授業								
	1	オリエンテー	3/3 1/		汉未	:1.141							
		教育時事問題		i水丰 1. 計業介	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \								
	2												
	3	教育時事問題											
	4	教育時事問題			1								
	5	卒業論文作成			5 の吐二/								
	6	卒業論文の題			らの助言)								
授業計画	7	ICTを使用した											
	8	論文作成の形											
	9	卒業論文の原	_										
	10	卒業論文の原											
	11	卒業論文の原			言)								
	12	卒業論文の仕											
	13	卒業論文のま		i文報告会の準	備)								
	14	卒業論文報告											
	15	卒業論文報告	–										
		〕:卒業論文(%)									
授業の評価		〔」:授業態度	, , , ,										
	「その他	」:提出物(20%)										
課題(レポート等)		首文の原稿を添											
のフィードバック	・授業内	容に関する質	問については	、個別または	全体に回答す	る。							
事前・事後の学習	予習:論	食文作成にあた	り、取り上げ	るテーマの資	料の収集を行	う。							
等の内容	復習:授	業内容に関す	る質問につい	ては、個別ま	たは全体に回	答する。							
事業 事物を英型に													
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	つて45時間の当	学修が必要です	上。事前学習	(45 分) 事後学習(4	5 分)						
2.女 6.以旧													
屋板しの注章	********	- 大 坐	よそ,目のロル	0 -01:1-	いてのボーウ:	子的 白蚁的运动的 50 mm = 1							
履修上の注意	本科目は	(学業論人の作)	以 ど 取 於 日 的	の一つとして	いるので、目	主的、自発的に取り組むこと	0						
テキスト	適宜プリ	ント配付											
参考書	授業内で	紹介する											
, , <u>,</u> ,													
	【オフィスアワー】随時												
その他	14/1//	/ 】 以但时											
<u> </u>													

科目名/カリキュラ	ラムNO.	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
キャリアデザインⅡ	(保育)	03/10/12/12/12/12/12/12/12/12/12/12/12/12/12/											
(講義											
(10511-1)													
		1. 将来の生き方や働き方について考え、自分自身で進路選択できる力を身につける。											
 授業の到達目標		2. キャリア形成のための意欲、関心、態度、能力を獲得する。											
以来の判定日伝	3. 保育	3. 保育についての理解を深め、保育者としての豊かな資質能力を醸成する。											
	・教科学	・教科学習及び実習を通じて実践力を習得している。											
学位授与の方針	・社会人	・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力											
との関連	を身に	・ 但云八として必要な幅広い院野、朱秋な心与力、よにはコミューケーション配力、味起光光・肝八配力・を身につけている。											
les alle es leur arc	一人ひと	りが自分の生	き方や働き方	について考え	、身につけた	自身のキャリア能力で進路選	択ができ						
授業の概要	る力を育	成し、より良	い保育者とし	ての自立を促	す。								
	回数				授業	· - 内容							
	1	オリエンテー	ション「キャ	リアデザイン	の意味と意義	の理解と講義計画等を知る」							
	2	社会人として	生きる意味に	ついて									
	3	保育の現状と	課題										
	4	雇用情勢と経											
	5	自分を知る「		i性।									
	6	就職先を考え		-									
	7	就職活動①「											
授業計画	8	就職活動②「											
	9	就職活動③「											
	10	就職活動④「) 」 ・グル	ープワーク							
	11) :グループワーク							
	12	就職活動⑥「			-	-							
	13	就職活動⑦「											
		知っておこう				1X -> 1277]							
		学習の振り返											
		: 筆記試験		300 000 000 000	1.1 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1								
授業の評価		: 授業態度	, , , ,	2.0%)									
1×/<->		、」 : 淡米心及 」 : 講義ノー											
		1] · htt-42(/	1 MEMIN	2 0 707									
┃ 課題 (レポート等)	毎回の講	義時のレポー	ト等の提出物	を講義者がコ	メントを付し	て次回に返却するので講義ノ	ートや						
のフィードバック		もに授業内容											
	71100	0. 200ic. v II	20.2 / 3.4	, _, _,									
事前・事後の学習	予習:配	布した資料や	講義ノートを	通読し、各回	の授業内容の	既要を把握しておくこと。							
■ 事削・事後の字質 ■ 等の内容		却したレポー											
4		- , - ,- , -, .	, .=, 1/X H	,/,		•							
	1												
事前・事後の学習に	1単位に~	つき白習も今は	って45時間の6	芝修が必要です	上 事前学習	(135 分) 事後学習	(135 分)						
必要な時間	1-1-1-1	- C 日日 D 白 V	~ ~ 10 m/l lb] v) □	,炒~之女()	。 尹即于日	、 100 刀/ 平板千日	(100 /1/						
	1												
	講差由け	私語を植み	講義ノートに	メモを取り今	習に励むこと	授業中の許可のないスマホ	使用は						
履修上の注意	厳禁。		冊我 / 1 (⊂	ク こと取り子	H (C////8 C C)	5 及来中の前内のないが、	(K)1114						
	川入万代。												
	-												
テキスト	使田しか	い。講義ごと	に資料を配右	する									
ノヤヘト	X/II しな	、 。 冊找⊆ ⊂	(- 頁 /17 G BL/II)) ·W 0									
	1												
公本事	宝比セム	リア考(実教	出肥)										
参考書	大以イヤ	ノノ 与(夫教)	µДЛХ <i>)</i>										
	 												
その他	【オフィスアリ	ル】随時											
-C V/IIL													
<u> </u>	<u> </u>												

科目名/カリキュラ	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名													
キャリアデザインⅡ((ライフ)													
	() ()	講義												
(10511-2)														
						できる力を身につける。								
 授業の到達目標	2. キャ	リア形成のたる	めの意欲、関	心、態度、能	力を獲得する。									
(父来の判定日保)	3. ライ	3. ライフキャリアからワークキャリアへの見通しが持てる力を育む。												
	・教科学習及び実習を通じて実践力を習得している。													
学位授与の方針	・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力													
との関連	を身に	・ 任 云 八 こ し じ 心 安 な 幅 広 り												
	一人ひと	りが自分の生	き方や働き方	について考え	、身につけた	自身のキャリ能力で進路選択	ができ							
授業の概要	る力を育	が成する。												
		,,,,,												
	回数				授業									
	1	オリェンテー	ション「キャ	·リアデザイン	*****	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□								
	2	社会人として				シオル こ 時 致 川 園 寺 で か り]								
					_									
	3	社会人として												
	4	社会人として		.③「進龄理解	:]									
	5	雇用情勢と経		リンキング										
	6	就職活動①「]									
授業計画	7	就活活動②「												
	8	就職活動③「												
	9	就職活動④「			<u>ーク</u>									
	10	就職活動⑤「												
	11	就職活動⑥「												
	12	社会人として												
	13					遣い等」 :グループワーク								
	14	社会人になる	あなたに「環	境の変化への	対応について									
	15	学習の振り返	りとまとめ											
	「試験	〕:筆記試験	(60%)											
授業の評価	「平常点	〔」:授業態度、	、意欲など(20%)										
	「その他	」:講義ノー	ト・提出物(20%)										
課題(レポート等)	毎回の講	義時のレポー	ト等の提出物	を講義者がコ	メントを付し	て次回に返却するので講義ノ	ートや							
のフィードバック	資料とと	もに授業内容	をまとめ振り	返りをする。										
事前・事後の学習	予習:配	見布した資料や	講義ノートを	通読し、各回	の授業内容の	既要を把握しておくこと。								
等の内容	復習:返	対したレポー	ト等に再度目	を通し、理解	を深めること。									
1.52														
事前・事後の学習に 必要な時間	1 単	単位につき自習	も含めて45時	時間の学修が必	要です。事前	学習 (135 分) 事後学	習(135 分)							
必娄な時间														
	講義中は	私語を慎み、	講義ノートに	メモを取り学	習に励むこと。	授業中の許可のないスマホ	使用は							
履修上の注意	厳禁。													
	777740													
テキスト	使用した	い。講義ごと	に資料を配布	する。										
/ 7 / 1	10/11 0/4	· · 0 htt4% — C /		, 00										
女 女 事	宇駐モ い	・リア考(実教)	开辟)											
参考書	大成ヤヤ	ノノ与 (夫教)	ц/IX <i>)</i>											
その他	【オフィスアワ	ル】随時												
てり他														
	1													

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
インターンシップ	I	字羽 2 2年次 選出 集却加珊上以依 公太 辛二										
(10520)		実習 2 選択 情報処理士必修 谷本 章三 前期										
(10520)	I₁ ઇ⊐	八七し働ノ辛	主ナ、理細小フ									
授業の到達目標	2. 就業	自己分析と働く意義を理解する。 2. 就業体験を通じて職業能力と自己の現在の能力について理解する。 3. 就職体験から学び得たことをまとめ分析ができる能力を身につける。										
学位授与の方針 との関連	・社会人	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。 社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。										
授業の概要		プンターンシップの目的や意義、課題を理解認識し、就業体験に臨み、現在の自己能力について 考え、今後の学び方について考える。										
	回数				授業	内容						
	1	インターンシ	′ップを考える	①就きたい仕	:事の具体化と	働く意義						
	2	インターンシ	′ップを考える	②インターン	シップの目的	と課題						
	3	インターンシ	′ップを考える	③インターン	シップ先の企	業研究						
	4	インターンシ	ップの実践	臨地就業体験	ì							
	5		IJ									
	6		IJ									
授業計画	7		IJ									
	8		"									
	9		"									
	10		"									
	12		"									
	13		"									
	14]]									
	15	インターンシ	ップ体験発表	体験発表と	今後について	の意見交換						
	「試 験	<u> </u>										
授業の評価	「平常点	[] :										
	「その他	」: 授業意見	見発表30点、/	インターンショ	ップ先評価70点	計100点						
課題(レポート等) のフィードバック	各テーマ	たついての考	えがまとまる	ようにアドバ	イスをする。							
事前・事後の学習 等の内容		テーマの内容 業で考えまと	-		と。 いながら再度を	考えること。						
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の質	学修が必要です	 。事前学習((135分) 事後学習(13	35分)					
履修上の注意	社会人に求められる能力にコミュニケーション能力や課題発見・解決能力がある。 問題や気づいたことについて考え調べ分析解決が出来る力が身につくように授業に臨むこと。											
テキスト	指定なし											
参考書	『インターンシップ』 マイナビ 2020年度版											
その他	【オフィスアリ	-】授業の前 後	发									

科目名/カリキュラ	ムNO.	iO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
インターンシップ	·П	実習 2 選択 情報処理士選択 谷本 章三											
(10521-G2)		実習 2 選択 情報処理士選択 谷本 章三 後期 6 ・自己分析と働く意義を理解する。											
(10521-62)	1 白コ	公垢し働く辛	主な理例する										
授業の到達目標	2. 就業	1. 自己が何と働く思義を理解する。 2. 就業体験を通じて職業能力と自己の現在の能力について理解する。 3. 就職体験から学び得たことをまとめ分析ができる能力を身につける。											
学位授与の方針 との関連	・社会人	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。 ・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。											
授業の概要		インターンシップの目的や意義、課題を理解認識し、就業体験に臨み、現在の自己能力につい て考え、今後の学び方について考える。											
	回数				授美	業内容							
	1	インターンシ	′ップを考える	①就きたい仕	事の具体化と	働く意義							
	2	インターンシ	′ップを考える	②インターン	シップの目的	と課題							
	3				シップ先の企	業研究							
	4	インターンシ		臨地就業体験									
	5		"										
	6												
授業計画	7 8		"										
	9												
	10		"										
	11		IJ										
	12		IJ										
	13		IJ										
	14		IJ										
	15	インターンシ	′ップ体験発表	・ 体験発表と	今後について	の意見交換							
	「試 験												
授業の評価	「平均点	-	→10 →10 = 10 × 10		011 37 1 1-	-1b							
	「その他	」:授業意見	発表30点、イ	ンターンシッ	プ先評価70点	計100点							
課題 (レポート等) のフィードバック	各テーマ	についての考	えがまとまる	ようにアドバ	イスをする。								
事前・事後の学習 等の内容		テーマの内容 業で考えまと			と。 いながら再度 ^え	考えること。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含々	かて45時間の 彎	学修が必要です	一。事前学習((135分)事後学習(1:	35分)						
履修上の注意	社会人に求められる能力にコミュニケーション能力や課題発見・解決能力がある。 問題や気づいたことについて考え調べ分析解決が出来る力が身につくように授業に臨むこと。												
テキスト	指定なし												
参考書	『インターンシップ』 マイナビ 2020年度版												
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	发										

科目名/カリキュラ	ラムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
キリスト教保	育	2年次											
(10111-EG2)		後期											
	1. キリ	1. キリスト教の「愛し愛される人間」になる考え方、知識、方法を知る											
	2. その	上で実践を行	い、身に着け	る									
授業の到達目標	3. 愛を	前提としたキ	リスト教保育	の具体的保育	実践方法を学ん	\$							
学位授与の方針													
との関連	キリスト	教精神に基づ	く倫理観や愛	と奉仕の精神	を身につけてい	いる。							
	キリスト	教の「愛し愛	される人間」	になるため、	知識、方法を気	知り、ボードゲームを活用し	して						
授業の概要		を行っていき											
	また、キ	・リスト教保育	の具体的方法	、考え方を詳	しく解説する。								
	□ ₩	I			松光	. 由宏							
	回数	.1.11>	· · · · · · · ·			·内容							
	1				キリスト教保	育なのか	H-11 12 12 12 12						
	2	+			も大切なもの	- D	実践ボードゲーム①						
	3				テレオタイプ		実践ボードゲーム②						
	4	世の中の不条	理、理不尽の	捉え方 苦労	の捉え方、考	え方	実践ボードゲーム③						
	5	キリスト教保	育実践理論	欲求代替法	信頼関係の構	築と能力の引き出し	実践ボードゲーム④						
	6	キリスト教保	育実践理論	子どもの伸ば	し方 ヴィゴ	ツキー最近接領域	実践ボードゲーム⑤						
授業計画	7	キリスト教保	育実践理論	愛と無関心	コップの水		実践ボードゲーム⑥						
汉未可凹	8	キリスト教保	育実践理論	お祈りの意味	効果 道具	と玩具の選定	実践ボードゲーム⑦						
	9	キリスト教保	育実践理論	しつけ① 保	育者の振る舞	いと動作 見る学問	実践ボードゲーム⑧						
	10	キリスト教保	育実践理論	しつけ② シ	ョウウィンド	ウ症候群	実践ボードゲーム⑨						
	11	キリスト教保	育実践理論	しつけ③ エ	リクソン 第	1・2段階	実践ボードゲーム⑩						
	12	キリスト教保	育実践理論	言葉は添える	もの 音環境	への配慮	実践ボードゲーム⑪						
	13	キリスト教保				ストーミング・KJ法	実践ボードゲーム(2)						
	14	キリスト教保		勝敗の理解			実践ボードゲーム(3)						
	15	予備日 まと	め 振り返り				実践ボードゲーム⑭						
	「試 験	: レポート					<u> </u>						
授業の評価	「平常点	- : 出席、授	業態度、授業	への参加意欲	を評価する (9	90%)							
22218 - 11 1100		ロ:なし	×10.000			- , , ,							
			ポート)及び	「その他」を	それぞれ 3 段	階評価(A・B・C)。							
課題(レポート等)	レポート	はテーマに対	する理解度の	チェックを行	った上、返却	していく。							
のフィードバック		じて個別の回											
事前・事後の学習	返却する	レポートの積	み重ねをノー	トとして扱う	_								
事削・事後の子首 等の内容		は、図書館の			_	介する。							
4 v.H			, , ,	> 1 1/2""11	_ ↓ / ▼	. , 🐷 ()							
事前・事後の学習に													
必要な時間	事前学習	135	分) 事行	後学習(1	35 分)								
	1												
		当者が指定す	ス度レオス	指定度けぶ西	に広じて亦画。	することがある。							
		授業の阻害と				, DCCN-00, Do							
履修上の注意		技業の阻害と ・参加意欲を		一市尽どサス	'4 ∧ .º								
				亜にはいマギ	※上フェしぶ 。	ł 7							
	欠 来計画	iに沿って授業	を打りか、必	安に応して削	1友りることかん	める。							
	= + - ;	は任田は平	左 □ =	たば よーい	\ \ \ + ===++	フムナニエットトレッ							
テキスト	フャスト	は使用です、	世凹、アーマ	に伱つにソリ	ノ Γ を配布し、	· それをテキストとする							
75 - 162 - 20	Γπα.≠s	/#*.!!. □==	n	`									
参考書	「聖書」	(新共同訳	口本聖書協会)									
	ļ												
w ~ !!	【オフィスアワ] —]											
その他	授業の前	i後を積極的に	活用してほり	い. 休齢 レ1	て聖パウロラ	ども園の見学を奨励する。							
	1/A /A */ [1]	, IN C IN ENTRY C	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· o maxco	/	- OH-201 - OM/1 / OO							

科目名/カリキュラ	ラムNO.	ANO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
生活経済		2年次											
		講義 2 選択 情報処理士選択 前期											
(10230-F2)		前期											
授業の到達目標	1. 社会人としての経済観念を身につける。 2. 正規・非正規雇用の違い、基本的な税について理解する。 3. 家庭生活で必要な費用・経費、自動車・住宅ローン購入について理解し表計算ソフトで算出ができる ようにする。												
学位授与の方針 との関連	・社会人	・教科学習及び実習を通じて実践力を習得している。・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・解決能力を身につけている。											
授業の概要	労働者の	労働者の所得や税、生活費等についての理解を深め、社会人としての生活の在り方を考える。											
	回数				授業	:内容							
	1	初任給はどれ	くらいか(学	歴差・性差・	地域差・職歴	差等から考える)							
	2	生活最低必要											
	3	贅沢品等購入	費はどれくら	い使うか									
	4	自動車の購入	費用や維持費	はどのくらい	掛かるか								
	5	住宅の購入(
	6	税金にはどの			471.7								
	7	年間に納める	税金はどのく	らいか									
授業計画	8) はどのくら	いか							
	9	定年後の生活			, , _								
	10	正規雇用と不											
	11	正規雇用と不			らいか								
	12	家計簿をつけ											
	13	家計簿を作る		· ~ ~ ~									
	14	家計簿を作る											
	15	生活経済で学)									
	「試験	1	<u> </u>										
授業の評価		-	レポート5点>	<15コマ(75%	6) 、取組・理	!解・まとめ (25%)							
	「その他	<u>.</u>] :											
課題 (レポート等) のフィードバック	・感想文	だについてはコ	メントを付し	て返却する。									
	事前:・	自主学習支援	としてGoogle	Classroom/C	授業で使用す	る資料等を掲載するので学ぶ	(学んだ) 内容						
事前・事後の学習		の理解を深め	_										
等の内容		日頃から金銭			-								
	事後:授	業でまとめた	ものを見返し	、今後の生活	に生かせる工	夫をする。							
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	广。事前学習	(135 分) 事後学習(135 分)						
履修上の注意	社会人に	社会人に求められる能力に経済観念がある。経済観念を持った考えや行動が身につくように臨むこと。											
テキスト	指定なし												
参考書	『 くらし	『くらしとお金のワークブック』日本FP協会											
その他	【オフィスアワ	7-】授業の前後	を及びGoogle	Classroom		_							

科目名/カリキュラ	ムNO.	0. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
ボランティア活動	動	実習 1 選択 保育士資格選択 谷本 章三 山本 郁子										
(10250-E12) 授業の到達目標	2. 「感 感じ	2年次通期 2年次通期										
学位授与の方針 との関連	・社会人	キリスト教精神に基づく倫理観や愛と奉仕の精神を身につけている。 社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、または、コミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。										
授業の概要	自発的な意思により、人や社会と関わることを通して自己の再発見や自己実現の中で社会貢献をしていく。											
	回数	オリエンテーミ	/コン「ボランド	ティアの甘木原		業内容 こついて」 (講義)						
	2	基本原理・自主		17	生と牛側前 四寺(こづいて」 (語我)						
	3	・社会性、連帯										
	4	・無償性、無給	性に基づく活動	助								
	5		i性・先駆性のa									
	6			イルの確認(何時	時・何処で・どれ	1くらいの頻度で参加できるか)						
授業計画	7	自己の特技や何如(提訴)	が能刀の活用 に参加したいだ	h.			_					
	8 9	ボランティア活										
	10			: の行動、言動にに	は責任を持つ							
	11	・PDCAサイ	クルの実践を	心掛ける ・ 村	相手や仲間の立場	易、考え方を尊重する						
	12	一人で抱え込	むのでなく、み	みんなで仕事を含	分担する							
	13				きと楽しんで活動	•						
	14				こ) ※所定の用約 し、担当者に提出	紙に事業所から確認印をもらう -						
授業の評価		まこの (がたら 」: ボランラ 」:提出物	ティア活動の流									
課題 (レポート等) のフィードバック		施したボランれをもとに常			– . –	チェックの上、アドバイスを	:行う					
	予習:ポ	ランティア活	動先の業務内	容を事前に把	握し、活動内線	容や活動場所を確認しておく	. 0					
事前・事後の学習 等の内容	_	た、実習先か 分の実習先で				べきか常に考えておく。 す。						
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の ^会	学修が必要です	十。事前学習 ((45 分) 事後学習 (4	45 分)					
履修上の注意	原則、各自がボランティア活動場所を開拓し自ら参加し活動を行うこと。担当者から活動場所を紹介 することもある。実習時間は、合計40時間以上で単位認定を行う。(単位認定は、卒業年度の後期 に行う)2年間(長期履修者は3年間)の在学中に活動参加をすること。											
テキスト	キスト 講義ごとに資料を配布する。											
参考書	自治体等の発行するボランティア通信等											
その他	【オフィスアリ	7-】随時										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
教育原理		2年次 幼免必修											
		講義 2 選択 切免必修 井口 佳江 後期 保育士資格必修											
(20120-B2)		教育の基本理念についての基礎的な知識を身につける。 機育士資格必修											
 授業の到達目標		•	•			教育思想や実践を理解する。							
及来の判定はい		日本の教育史				.,							
	4. 歴史的	4. 歴史的観点から子どもの権利を理解し、保育者としてのあるべき姿を考えることができる。											
学位授与の方針と関連	保育に関	呆育に関する専門的知識・技術を修得している。											
	幼児教育	を理解する上	で、基盤とな	る概念を学ぶ	。現代の幼児	教育の基礎となった教育思想	と を 学び、						
			-			度を学ぶ。これにより、日本							
授業の概要						たのかを理解し、我々が保育							
		権利と、これ											
	1	オリエンテー			74 C [X(H) 7 D)								
		教育の基本理		WITE 101									
		近代教育学の		の誕生 ルソ	_								
		近代教育学の											
		近代教育学の			-72								
		近代教育学の											
	7	近代教育制度		·/ [·									
	8			沈 数玄甘木	· 注: 但	育指針における教育概念							
授業計画		教育内容	及.日平国思	(広、教育基本	伝、休月別休	月旧町にわける秋月帆心							
	9												
	10	教育方法	₩ ゴ (①										
	11	教育を受ける											
	12	教育者の権利	-										
		信頼される教		は									
		日本の教育課	題(発表)										
	15	まとめ											
	F-1 5 6		()										
100 NIA - 377 have		: 筆記試験					1 = + N (o /)						
授業の評価		-				出席・授業態度・授業への参	:加意欲 (30%)						
	「その他	!」:ディスカ	ッション・レ	ボート等 (40	%)								
課題 (レポート等) の フィードバック		・ト等の課題は 容に関する質				* *							
事前・事後の学習等の 内容	前回の授	業内容を復習	し理解するこ	と、次回の授	業の内容をイ	ンターネット、図書館などを	利用し予習する。						
事前・事後の学習に必 要な時間							(135分)						
履修上の注意	 ・授業に積極的に参加し、必ずノートを取る。教授者のコメントもメモをとる。 ・教授者のアナウンス(授業に関するお知らせ等)を聞き逃さないようにすること。 ・遅刻、居眠り、私語、授業に関係ない行為、許可のないスマートフォン・タブレット等の電子機器の使用は、減点あるいは欠席扱いとする。 ・座席を指定する場合がある・授業計画に沿って授業を行うが、進行状況によって前後することがある。 												
テキスト	適宜資料配布												
参考書													
その他	【オフィ	スアワー】授	業の前後										

科目名/カリキュラ	ラムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「表	現Ⅱ」			2年次		幼免必修						
(20621-B2)		演習	1	前期	選択	保育士資格必修	渕田 陽子 					
(20021 B2)	1 数玄明	見場での表現教育	ちの日的レ音			休月工賃俗必修						
授業の到達目標	2. 幼児の	での表現を引き出す 記表現を引き出す 記の表現教育の打	す技術を獲得	する。								
学位授与の方針 との関連	保育に関	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
授業の概要	それらの ①乳幼児 ②自らの	で獲得した知識を で活動を通して、 他の表現を引きし の感性を養う。 他の活動の予測を	出す方法を学	:\$;		こつけるために自らで体験を 考察する。	重ねる。					
	回数				授業	内容						
	1	保育の場での表										
	2	保育の場での表	J-42477				(大) 技ィド)					
	3	保育の場での表 表現活動におい			もの具体的な姿、	ねらい、活動名、内容、(音楽	や近()					
	4				(子どもの目体的	りな姿、ねらい、活動名、内容)	(美術)					
	5 6			10 17/11///	作成 (留意)		(关例)					
	7	ペープサート										
授業計画	8	創造力を育てる		()uld 3/100/9/	7.124							
	9	社会性を育てる	表現遊び									
	10	感覚や気づきを	育てる表現遊び),								
	11	保育内容「表現	」に関する指導	尊計画 (理論)								
	12	保育内容「表現										
	13				もの具体的な姿、	ねらい、活動名、内容、(歌唱	計算)					
	14	表現活動におい										
	15	保育内容「表現			0/)							
 授業の評価) : 筆記試験 i [: 授業への]				ビ (40%)						
汉未少时间		1 : 提出物(感										
課題 (レポート等) のフィードバック	・授業内	容に関する質問	問については			コメントを付する。 る。						
事前・事後の学習 等の内容		送当箇所の通読、 受業内容の見直		う実践に生か	していくかをえ	考えよう。						
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に	つき自習も含め	て45時間の	学修が必要です	」。事前学習((45分) 事後学習(45分	分)					
履修上の注意	・ノート、ファイル(配付プリント用)を持参すること。ノート・ファイルは提出することがある。 ・授業は、学生の興味・関心、進度に応じて、授業計画の各単元を行き来しながら総合的に進める。											
テキスト	『新・保	育と表現』 石上	告美編著 孝	ě行所 嵯峨野書	院							
参考書	適宜紹介	<u></u>										
その他	【オフィスアリ	ワー】授業の前後										

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名							
保育実践演習		演習 2 選択 幼免必修 金谷 公子												
(20630-C2)		後期 保育士資格必修												
(20000 02)	1. 保育	1. 保育者の役割と子どもの見方、捉え方について理解する。												
授業の到達目標		2. 子どもの発達や心身の状況に応じて、適切な指導ができる知識を身につける。3. 保育内容の知識や技能等を獲得する。												
学位授与の方針 との関連		・保育に関する専門的知識・技術を修得している。 ・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。												
授業の概要		変化する社会の中で、求められる保育者としての理解を深め、子どもや保護者に対する援助の 技術方法等についての実践力を学ぶ。												
	回数				授	業内容								
	1	保育実践演習	にについての)概要と目標を	・理解し、毎回の	の学習内容と学習方法を確認	する。							
	2	保育者とは、 ついて理解す		ての保育者の仕	事とは、保育	者の役割、子どもに対する責	務に							
	3			ついて理解する		la Nora								
	4				要素について									
	5 6				いく理解し壊! 「例を通して考!	竟の構成について考える。 > ス								
	7		10.04 - 11.	,, ,, _ ,		くる。 ート制作・教材作り)								
	8													
授業計画	9					展開する。(ペープサートの	発表)							
	10	子どもの反応	を見ながら作	F成した教材を	・使用し保育を原	展開する。(ペープサートの	- 発表)							
	11	保育実践を想	定して保育環	環境の構成・遊	びの展開につい	ハて考える。								
		(グループワ	. , , , , ,											
	12					の循環について理解する。								
	13		必要な子ども	ったついて個々	の子どもの特性	生や状況に応じた対応の方法								
	-	を理解する。	必要かヱレォ	への対応にへ	いて事例を通	ア老ラス								
	14	グループワ). 107XI/ILI(C 2	11、人事的で価	ひくみんる。								
		授業の振り返	りと理解度を	子再確認し、保	:育に関する新7	たな課題に関心を持ち自分な								
	15	に理解する。												
		i : 課題レポ [、]												
授業の評価		:授業態度												
		リ」:実技(ペ・				却後要点の解説を行い知識の								
	定着を		/が促山(よー)/	1 1 2 11 C C	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	中区女爪の舟肌で刊り、小喊の								
課題(レポート等)	/	. ロ v 。 容に関する質	問については	は、個別又は全	体に回答する。									
のフィードバック		-プの討議につい												
	・主体的]かつ意欲的に	授業に参加す	-ることを期待	します。									
		『リント、ノー				しておくこと。								
事前・事後の学習		時間、次回授												
等の内容		記布プリントを 2巻後に復羽なる												
	授	業後に復習を	水め。その院	ドレルートを課	りことかめる。									
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	計。事前学習(135分)事後学習(13	5分)							
	課題に	ついては、定	められた期間	で取り組み提	出すること。									
	・課題については、定められた期間で取り組み提出すること。 ・ペープサート制作については、事前に内容、教材等を研究をし、材料を準備しておくこと。													
	・毎回授	業内で配布する	るプリント、	資料などにつ	いては活用する	ることがあるため毎回持参す	ること。							
テキスト	・プリント・資料などを配布													
参考書	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』『認定こども園教育・保育要領解説』 『保育・教職実践演習(第2版)「保者に求められる保育実践力」』小原敏郎・神藏幸子・義永睦子 編著 建帛社													
その他	【オフィスアワ ・授業の	-												
L														

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
器楽Ⅱ				2年次			池田京子ほか						
(20711-C1)		演習											
授業の到達目標	①ト音 ②調性	器楽 I で学習したピアノ演奏技術の向上。 ①ト音譜表及びへ音譜表による読譜ができる。 ②調性及びハーモニーを意識し、楽曲に相応しい演奏表現ができる。 ③基本形及び転回形コードによる簡単な伴奏付けができる。											
学位授与の方針 との関連	保育に	R育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	レッス、	短・高接続教育プログラムによる本学独自のピアノグレードを用い、個々の進度に応じたピアノグループレッスン。ト音譜表及びへ音譜表による楽譜を読み、楽曲に相応しい演奏表現を工夫することなどを通して、演奏技術の向上を目指す。また、ピアノ譜の読譜のために必要な理論、和声、学識に関する学習も併せて実施する。											
	回数	回数 授業内容											
						よる和音又は分散和音による	伴奏付け 						
					分散和音による) 1						
					り」栄囲に相り	なしい表情を工夫した伴奏付	i)						
		バイエル52番 [,] こどものらた			へ長調 転回!	ドコードを含む伴奏付け							
						回形コードを含む伴奏付け コ形コードを含む伴奏付け							
	Ü			で記述の法が									
授業計画						周、転回形コードを含む伴奏	 付け						
		バイエル66					<u> </u>						
	10	こどものうた	100 706	いたひらいた	」イ短調の楽印	#							
	11	バイエル 7 5	番~80番	ト長調、ニ長	:調、イ長調のシ	終曲							
	12	こどものうた	100「すう	じのうた」「	しゃぼんだま」	付点のリズム							
	10				よる伴奏付け								
	11	バイエル83		[習									
		実技試験のた		- ()									
		験」: 実技i 点: 授業i											
		点」: 授業! 他」: 課題		(20%)									
	「ての」	他」: 珠趣	(挺山物)										
課題 (レポート等) のフィードバック	毎回の記	課題について、	、個別に到達	度をチェック	してコメントす	ける。							
事前・事後の学習	予習:4			「与えられた課 容を明確にする		達度を上げること。							
等の内容	復習:				-	習・練習すること。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に	こつき自習も含	名めて45時間の	の学修が必要~	です。事前学習	(45 分) 事後学習 (4	15 分)						
			•		やソナチネなる		1 /55						
居依しの注辛		ノ演奏のマナ [、] セサリー類の	•		こ。イイルや~	マニュキア、指輪、ブレスレ	ツァ寺、						
履修上の注意					他の学生と変わ	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							
		、チルバ、デ 書の楽譜を毎			心ツナエと衝り	*、汨米して廻しではV'こと。	1						
					効に活用するこ	こと。							
						*	ピアノの練習に						
	・日頃から、課題曲の楽譜を声に出して何度も音読みし、早く楽譜に慣れる等、譜読みやピアノの練習に励んだうえで、授業に臨むこと。												
備考	池田京	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子											
その他	【オフィス)	アワー】授業の前	前後やSNSV	こて対応する。									
	1												

科目名/カリキュラム	×N0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
	2年次 池田京子ほど											
		演習										
(20712-C2)												
授業の到達目標		. やや複雑なリズムや音階を含んだ楽曲をスムーズに演奏できる。 - ヘ 本 華 末に離れて対応できる										
1文米の判定日保		2. へ音譜表に難なく対応できる。 3. 少し速いテンポのリズムや付点のリズムを演奏できる。										
	0. /	0,22,7,4,4	-> > > (1	7M-> 7 - 1-1 G	IXX CC Us							
学位授与の方針 との関連	保育に	保育に関する専門的知識・技術を修得している。										
	•個々(の進度に応じて	学習する個別指	導型グループレ	/ ッスンによるピ	アノ実技演習授業。						
	進度	別グレード課題	などで、やや複	雑なリズムや音	f階を扱い、ピア	ノ演奏基礎技術を習得する。						
授業の概要	・こど	ものうたやリズ	ム表現等の楽曲	による演習を重	ね、読譜力や表	現力の向上を目指す。						
						種類以上の課題を実践、実習する						
		、よりよい演奏	をするための怠	見交換を実施し		を目指す。(TPS、ピアティーチンク	⁷ 含む) 					
	回数	進度別課題①	女郎の 毎羽		授	業内容 5月頃~7月頃のうた、又は付	古のロブルの海曲 仲					
	1	進度別課題① T 進度別課題②	「「「「「「「」」 「「」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「	レ83来		5月頃~7月頃のりた、又は11						
	3	進度別課題③		V O O 街								
	4	進度別課題④	バイエル	レ85番		"	1					
	5	進度別課題⑤ 相				少し速いテンポのリズム	表現実習:かけあし					
	6	進度別課題⑥	バイエル	レ86番		"	1					
松米寸元	7	進度別課題⑦	アーフタクトの	練習		保育・教育実習	に役立つ課題					
授業計画	8	進度別課題⑧	バイエル	レ89番、90	番	"	1					
	9	進度別課題⑨				讃美歌						
	10	進度別課題⑩	バイエル	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		リズム表現実習						
	11	進度別課題⑪										
	12	進度別課題 ^② 進度別課題 ^③	バイエル			こどものうたの実習	<u> </u>					
	13	進度別課題(4)	バイエル									
	14 15	延 及 / N 麻 / B · B	7 1 447		技演習のまとめ、	実技試験のための練習						
		■ 験□: 実技	試験 (80	%)								
授業の評価					のマナー、授	業態度 (20%)						
	「その	他」:										
課題 (レポート等) のフィードバック	毎回の	課題について	、到達度を個	別にチェック	してコメント	する。						
	₹. च्रघ्न .	左回 夕白の	*#	とさされた細	日百 ナ、夕士 习习 1 3	知夫産を しばえ と 1.						
事前・事後の学習 等の内容		一世四、合日の 単きにくい箇月				到達度を上げること。						
4 1 1 4	1				_ 0	忍・練習すること						
	ΖД.	以水() 70亿	WW.	(101b) C 401C	C - & C - E E							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に	こつき自習も含	含めて45時間の	の学修が必要で	です。事前学習	(45 分)事後学習(4	5分)					
	・個別の	のグレードによ	っては、ブルグ	ミュラーやソナ	-チネなどを学習	する。						
		-				アクセサリー類の使用は認めない	0.0					
履修上の注意					生生と密接、密集	して過ごさないこと。						
水形上ツ任息		書の楽譜を毎回		-	· m · · · ·							
		内の練習時間を ひめピマノの練										
		みやピアノの練 ^っ の履修科日等の										
	・個々の履修科目等の都合により、クラス編成を調整する場合がある。・バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムI・Ⅱ、その他											
	・パイエルピアノ教則本、ブルクミュフー25の練習曲、ソナナネアルバム1・Ⅱ、その他 ・『こどものうた100』 小林美実監修 井戸和秀編 チャイルド本社											
テキスト	・『保育のためのマーチ・スキップ・ギャロップ・ワルツ・リズム曲集』 茂田すすむ編著、全音楽譜出版社											
	・ 間保育のにあめマーナ・スキッノ・キャロッノ・リルン・リスム曲集』 及田 すすむ 編者、至音楽譜 山版任 ・ 讃美歌、その他、適宜、プリントを配布する。											
備考	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子											
	7 .1.⊶	つつ 【 4公34k ァ ユ と 3 k	544 ch 0 27 0 1	ァットルナン								
その他	 	パパー】授業の前	仮ヤSNS	こく对心する。								
	<u> </u>											

科目名/カリキュラム	NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
器楽ⅡB				2年次			池田京子ほか				
(90712 (20)	演習 1 選択 幼免必修										
(20713-C2)	I	W 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
授業の到達目標	2. 5		楽曲を弱拍に	も音が加わっ	た楽譜通りの	したが演奏できる。 伴奏で、演奏できる。					
学位授与の方針 との関連	保育に	- 関する専門的	知識・技術を	習得している	0						
授業の概要	ピアこど原則	ノ演奏技術を進 ものうたやリズ として、毎回、	度別グレード課 ム表現等の演習 進度別の楽曲と	題の楽曲演奏に を重ね、教育・ 、こどものため	より学習する。 保育現場での実 の楽曲などの 2	アノ実技演習授業。 選送を目指してレパートリーを増す 種類以上の課題を実践、実習する で目指す。(TPS、ピアティーチン	3.				
	回数	V4 observant Dec (s)	E =		授	業内容	- /n .l. am pr				
	1	進度別課題① ハ		7.77 /#.ma> A	1.	保育・教育実習に	こ役立つ課題				
	2			学習(借用和音含	む)	J.	1				
	3	進度別課題③ レ				,,					
	4	進度別課題④ ブ		5の練習曲 1番		リズム表現の実					
	5	進度別課題⑤ イ					1				
	6	進度別課題⑥ 素				リズム表現の実習:	任意の楽曲				
授業計画	7			六分音符を演奏す	る	J.	1				
1又未可凹	8	進度別課題⑧ ブ		5の練習曲 2番		讃美歌	の演奏				
	9	進度別課題⑨ へ				I.	1				
	10	進度別課題⑩ 3	3/4拍子を意識	して演奏する		こどものうたの実習	3:任意の楽曲				
	11	進度別課題⑪ -	ト六分音符の音階	的な動き		I.	1				
	12	進度別課題⑫	1拍の幅を十分に	勘定して弾く		I.	1				
	13	進度別課題⑬ ୬	業曲の前半と後半	の表情を弾き分に	ける	J.	ı				
	14	進度別課題⑭	ブルグミュラー2	5の練習曲 5番		1.	ı				
	15			実	技演習のまとめ、	実技試験のための練習					
授業の評価	「平常	験」: 実技 [点]: 課題 [)他]:			のマナー、授	業態度 (20%)					
課題(レポート等) のフィードバック	毎回の)課題について	、到達度を個	別にチェック	してコメント	する。					
事前・事後の学習 等の内容						到達度を上げること。 習・練習すること。					
事前・事後の学習に必要 な時間						習(45 分)事後学習(45 分)				
履修上の注意	・個別のグレードによっては、ソナチネ I・II 巻、ソナタ、その他の楽曲を学習する。 ・爪は短く切ること。ネイルやマニュキア、指輪、ブレスレット等、アクセサリー類の使用は認めない。 ・適宜、手洗い、手指消毒を実施し、練習中は他の学生と密接、密集して過ごさないこと。 ・教科書の楽譜を毎回必ず持参すること。 ・授業内の練習時間を演奏技術向上のために有効に活用すること。 ・譜読みやピアノの練習によく励んだうえで、授業に臨むこと。 ・個々の履修科目等の都合により、クラス編成を調整する場合がある。										
テキスト	・ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムⅠ・Ⅱ、その他 ・『こどものうた100』 小林美実監修 井戸和秀編 チャイルド本社 ・『保育のためのマーチ・スキップ・ギャロップ・ワルツ・リズム曲集』 茂田すすむ編著、全音楽譜出版社 ・讃美歌、その他、適宜、プリントを配布する。										
備考	池田京子・宇治田仁美・髙礒八千代・福田真梨奈・藤井直子										
その他	【オフィブ	スアワー】授業の前	前後やSNS≀	こて対応する。							

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育者論		- II. M.		2年次		幼免必修	M						
(20130-B2)		講義 2 選択 津田 由加子 前期 保育士資格必修											
(20130-b2)	1 / h/h												
					子(よ)型(V) C /へ C	1、この貝山の里女でを恥叫	X 9 2						
授業の到達目標		とともに知識や技術を身につける。 2. 保育者へ目指すことの意味を明確にしていき、 保育者の役割や倫理について理解を深める。											
		1. 保育者へら指すことの意味を明確にしている、保育者の役割や無理について理解を保める。 3. 子どもへのかかわりや保護者支援に関する協働などについて幅広く理解する。											
	0. , C	ル・」と ひ ^ v///*//*4/ソ /											
学位授与の方針													
との関連	保育に関	する専門的知	識・技術を習	得している。									
授業の概要						こし、 保育の具体的な実践か	ら保育の協働性						
1人木 7 M 女	について	「考え、保育者	の専門的成長	について理解	していく。								
	回数	1 11			授業	内容							
	1	オリエンテーシ		₽113 \/.=									
	2	保育者になると 保育職とは		プレゼンテーシ									
	3	子どもとのかか	V	プレゼンテーシ	/								
	5	現代の保育にま											
	6	保育者の仕事と											
	7	保育者の制度的											
授業計画	8	保育者になるた	めの学び										
	9	保育者に求めら	れる資質とは										
	10	子育て支援と保	骨者の役割										
	11	現代社会の変化	と保育者の仕事	事や課題									
	12	日本の保育者の	あゆみ										
	13	資料にみる保育											
	14	諸外国の保育者	<u> </u>										
	15	まとめ	()										
152 N/4 00 = 77 /m) : 筆記試験		(0.00/)									
授業の評価		[] :授業態度											
	「その他	1」:ワークシ	一下寺徒山物	(20%)									
課題(レポート等)													
のフィードバック	•授業内	容に関する質	問については	、個別またに	は全体に回答す	る。							
	予習:事	耳前に配布され	たプリントを	通読し、各回	の授業内容の	既要を把握しておくこと。							
事前・事後の学習	沙	(回授業の主な	内容について	予習を課す。									
等の内容		一回のプリント				ておくこと。							
	珥	1解度を確認す	るため、小テ	ストを行うこ	とがある。								
事前・事後の学習に	1 # H->-	これ 直切っ へつ	L	416.28 31	F ** ** ** **	(4F /\\ ±w »/caa /	45 (1)						
必要な時間	1単位に、	つさ目智も含め) (45時間の气	子修か必要です)。	45 分) 事後学習(45 分)						
	・はさみ	・のりは毎回	持参すること	0									
履修上の注意		ルたプリントは		-	0								
	,												
テキスト	適宜プリ	ント配布											
A. In al	뉴죠 게노	マグロ 人・トラ											
参考書	授業内で紹介する												
その他	【オフィスア!	ア】授業の前後	Ź										
C *> E													
<u> </u>	<u> </u>												

科目名/カリキュラ、	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
教育課程論				2年次							
(00000 00)		講義	2	→← ++n	選択	幼免必修	田口 啓子				
(20620-C2)	1 (4.44)	ヨリアよいよ マ 歩せ	5細和領出の3	前期	┃						
授業の到達目標	2. 教育訓	園にわける教育 果程編成の基本 キュラム・マネ	原理や編成プ	方法を理解する	5 .						
学位授与の方針 との関連	保育に関	呆育に関する専門的知識・技術を修得している。									
授業の概要		、指導計画のついて学ぶ。	意義や編成の	方法、それに	関わるカリキュ	ラム・マネジメントの基準	本的				
	回数				授業内	7容					
		幼稚園教育要	領及び幼保連	携型認定こど	も園教育・保育						
	_	教育課程の意	義			•					
		幼稚園教育要	領の変遷(ク	· ループワーク)						
	Ü	教育課程の役		<u></u>	<u>* </u>						
	-	教育課程編成									
	U	教育課程編成		1							
	7	教育課程編成	= =								
授業計画	_				長期(グループ!	フーカ)					
	U		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		豆期(グループ)						
	<u> </u>										
	10			《と展開(3)/	小学校への円滑が	よ接続					
	- 11	教育課程に関									
	12	教育課程の類									
	10	教育課程の評		0							
		教育課程の改		"ワーク)							
	10	まとめ(グル									
	「試 験	」:筆記試験		(80 %)						
授業の評価	「平常点	」:授業への	取り組み	(20 %)						
	「その他	.] :		(%)						
課題 (レポート等) のフィードバック					返却時にコメン 義時間内で回答						
	予習:テ	キストや配布	プリント等の	該当箇所を通	読し、各回の授	業内容の概要を把握しては	おくこと。				
事前・事後の学習	毎	時間、次回授	業の主要な内	容について予	習を課す。						
等の内容	復習:テ	キスト、配布	プリント等を	通読し、各回	の授業内容につ	いて理解を深めておくこ	<u>L</u> .				
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位につ	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	h。事前学習(135分)事後学習(1	.35 分)				
履修上の注意	•授業内	スマホ等の利容に関する疑	問、質問を積	極的にするこ	-						
					読しておくこと	0					
テキスト		教育要領』(携型認定こど				府・文部科学省)					
参考書	授業の中	で適宜紹介し	ます。								
その他	【オフィスアワ	ー】授業の前後	Ź								

科目名/カリキュラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名													
保育内容総論	保育内容総論 2年次 幼免必修 藤田 貴久 演習 2 選択												
(20610-B2)		演習											
(20010 B2)	1. 保育	. 保育の全体的な構造と5領域について総合的に学ぶとともに、実際の保育においては領域の											
		・ 休月の主体的な構造と5関域について総合的に子がとともに、美原の休月においては関域の 枠を超えて展開されることを理解する。											
	2. 子育	で支援と保育	内容、子ども	の発達過程を	踏まえて理解	し、様々な保育についても学	:び、						
授業の到達目標	修得	修得する。											
		. 保育現場の状況をイメージするために事例を取り入れながら、保育内容がどの様な仕組み											
	で子	で子ども達を支えているかを理解する。											
N. 11 - 1 - 1 A I													
学位授与の方針 との関連	保育に関	育に関する専門的知識・技術を習得している。											
	・乳幼児	乳幼児期の子どもは遊びの中で学び育っていく。どのような経験が大切かを考え、その経験											
授業の概要		から総合的に何を学んでいくかを知る。											
汉米沙州	・アクテ	アクティブ・ラーニング形式で授業を行う。											
	回数	イントロダク	ション		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	業内容							
	2	保育内容とは		ついて									
	3	保育内容の歴											
	4	子どもあそび		を使った遊び									
	5	子どもあそび	と生活 ②道	具を使った遊	び								
	6	子どもあそび											
授業計画	7	保育における	観察と記録	グループワー	ク								
汉太阳邑	8	環境を通して											
	9	生活や遊びに											
	10	個と集団の発											
	11	生活や発達の家庭・地域と											
	13	小学校との連											
		保育の多様な											
	15	保育内容にお	ける課題 ま	とめ									
	「試 駿	〕: レポー	ト課題(40	%)									
授業の評価		〔」: 授業態		取り組み (4 0 %)								
	「その他	リ」: レポー	卜 (20%)										
⇒# B5 (1 12° 1 65°)	授業内容	容の質問につい	ハてけ 個別で	7は全員に回答	なする。								
課題 (レポート等) のフィードバック	汉杰门	口の質問につい	(15) 四(1)	CISTRICE	1) 20								
事前・事後の学習		火回の授業箇所											
等の内容	復習:	レポートを課す	 トことがあるの	つで、テキスト	、を通読し授業	性内容の理解を深めておく。							
事前・事後の学習に必	1単位に、	○き白翌 #. 今 ki	トて⊿5時間 <i>の</i> ≓	と修が心 声でき	車	(135分) 重洛学羽 (19	85分)						
要な時間	1 井小八/~	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分)											
	シラバスの内容は授業進行状況と合わせるため変更することがある。												
履修上の注意	必ずテキストを持参する。また、配布プリントは整理してファイリングすること。												
	グルーフ	グループの話し合いや活動に積極的に参加すること。											
	F⊶ >	一方 ごかい	力な去れた	11 =	但去,***	ではラスカニコしのだ。)ワ	O 7 2 章 []						
テキスト	_	.ニケーション .編集 実生社		ッエーンヨン	休月•教育	で使えるクラフト&ゲーム7	U .类』						
ノヤヘト	四円映り	//	2020-										
	『幼稚園	教育要領解説	』 文部科	学省 フレ	ーベル館								
参考書		保育指針解説											
	『幼保連	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館											
その他	【オフィスアリ	-											
C-2/E	授業前後	È											

科目名/カリキュラ、	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育方法論		2年次 選択 幼免必修 濱田 敏子											
(20640-C2)		講 義	2	後期	選択	切 免必修	(実務家教員)						
	1. 多様	. 多様化した現代社会の中で生き抜くことのできる子どもを育む保育者になるための準備として、											
授業の到達目標		1年次の前期から学んだ講義や実習を振り返り、自分が興味をもった領域の保育方法を考察する。											
及来の判定する		. 実習での体験から、保育の分析を行い、保育者としての援助、指導のあり方を考察し導きだす											
	2 ک	ことができる。											
学位授与の方針	保育に関	育に関する専門的知識・技術を修得している。											
との関連													
		理論と実践のつながりを大切にし、保育を構成する力や子どもの活動にそって総合的に指導する											
授業の概要	力を身に	Jを身につけていく。											
	回数												
	1			/一プ討議とレ									
	2												
	3			-	·	₽ D							
	4			「環境の構成の と で質と評価	意味(グルーフ	/リーク)							
	5 6	遊びの指導											
	7	伝承遊びの意		-									
授業計画	8	生活の指導・	豊かな体験と	園行事									
	9	小学校との連	!携 円滑な	接続とは									
	10	様々な保育形	態「主体的	」・対話的で深	い学び」と教材	才研究							
	11				化財と保育 (グループワーク)							
	12	園内外の環境											
	10	保育者に求め											
	14 15	まとめに向けまとめ 方法			<u>ーク)</u>								
	10	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		<u>'</u>									
授業の評価		、」 · 授業態度		20%)									
	「その他	1」:体験活動	(10%)										
	. 10) et ~ am == \ \											
課題(レポート等)		-ト等の課題は	-		-								
のフィードバック	• 仅 兼内	1谷に関する負	向については	、順別又は至	体に回答する。								
事前・事後の学習)授業範囲の予											
等の内容	- 復習は	は授業開始時に	説明をした事	例内容を再度	読み返し、理解	な で で で で で で で で で で で で で で で で で で で							
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分)											
0. 41.4													
	保育事	☑習ⅠⅡ 数套	宝習ⅠⅢで作	成した記録な	常備すること。								
履修上の注意		で解決する自主 で解決する自主			市畑ナること。								
			H J - & AX / / / / / / /	·									
テキスト	『保育』	方法論 』 神長	長美津子・津金	金美智子・五十	一嵐市郎 編著	光生館							
参考書	 『保育方	i法・指導法』	大豆生田啓	友・渡邉英則	ミネルヴァ書	房							
≥ 7目			,,										
その他	【オフィスアワ	フー】授業の前後	发										
CV기면													

科目名/カリキュラ	フムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育相談				2年次			藤田貴久						
		講義	2		選択	幼免必修							
(20220-B2)				後期			(実務家教員)						
授業の到達目標	2、保育	1、保育相談支援の考え方を説明できる。 2、保育相談支援の方法を身につける。 3、保育相談支援の実際について理解する。											
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要		保育者が実践している保育相談支援について学ぶ。保育相談の支援方法について確認する。 保育相談支援の実際について、事例をもとに理解を深めていく。											
	回数	回数											
	1	保護者に対する	保育相談支援の	の意義									
	2	I when the care was a second and the control of the											
	3												
	4	子どもの成長の	喜びの共有										
		保護者の養育力	の向上に資する	る支援									
	6	信頼関係を基本	とした受容的な	いかわり、自己	决定、秘密保持の	の尊重							
	7	地域の資源の活											
授業計画	8	保育に関する保	護者に対する打										
	9	保護者支援の内	容										
	10	保護者支援の方	法と技術										
	11	保護者支援の計	·画、記録、評信	五、カンファレ	ンス								
		保育所における	保育相談支援の	り実際(グルーフ	^e ワーク①)								
	13				支援(グループワ	ー ク②)							
	14				援(グループワー								
		障害児施設、母											
	10	: レポート											
授業の評価	「平常点		PN0X (1 0 /0	,									
1文米の計画		」. ロ:グループ [・]	ローカにおけ	スレポート (30%)								
	1 (0)	/ / /) / (C401)	2011 1. (3 0 /0/								
課題 (レポート等) のフィードバック	グループ	『ワークにおけ	るレポートに	ついては、コ	メントをつけ゛	て返却する。							
事前・事後の学習 等の内容		!: シラバスの !: 授業のポイニ			にテキストを記	読んでおくこと。							
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め)て45時間の学	学修が必要です	上。事前学習((135分) 事後学習(135分)						
履修上の注意	テキスト	テキストは必ず事前に読んでおくこと。グループワークには、積極的に参加すること。											
テキスト	『基本保 中央法規		9 保育相談支	援』公益財団	法人児童育成情	· 3会=監修/西村重稀、青井 30分	井夕貴=編集						
参考書	適宜紹介	する。											
その他	【オフィスアワ	7-】随時											

科目名/カリキュラ。	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名												
教育実習指導Ⅱ		演習 1 選択 幼免必修 山本 郁子											
(津田 由加子											
(20813-C2)	1 4h1#												
		幼稚園・こども園教育(保育)について理解を深め、実習を通して幼稚園(保育)教諭の責務を学ぶ。 2. 実習日誌、 保育指導案の作成の仕方を学ぶ中から、 保育実践の視点を習得する。											
授業の到達目標		2. 美首ロ誌、 保負指導条の作成の任力を子ぶ中から、 保負美銭の税品を省付する。 3. 明確な自己課題をもって実習に臨み、 幼稚園(保育)教諭に必要な知識や技能・態度・専門性											
		を身につける。											
	• 教科学	・教科学習及び実習を通じて実践力を取得している。											
学位授与の方針	・社会人	社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、または、コミュニケーション能力や課題発見・											
との関連	解決能	解決能力を身につけている。											
	分雅唐	1.~ ビむ 周拗	古宝羽の東前	事終指道に	へいて車例を	交えながら行う。							
授業の概要													
	5.72	また、 グループ討議、 ロールプレイなども取り入れながら実践に即した形で授業を行う。											
	回数	回数											
	1	教育実習Ⅱの目	目的・授業の概要	要と自己課題	実習園の確認								
	2	個人票作成①		らべうた・手あ	-								
	3	個人票作成②		开究保育につい"									
	4			児の活動 環境									
	5	リ 促 会 性 道 安 作 に)保育者の援助・ -ションの方法。									
	6 7				こ	案作成							
授業計画	8	保育指導案作品			Tana 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	7511 775							
	9	手作り教材の係	R育指導案作成 &	と模擬保育①	グループワーク	ク							
	10	手作り教材の保	R育指導案作成 &	と模擬保育②	グループワーク	ク							
	11	教材研究 伢	よ育指導案作成 と	と模擬保育③	グループワーク	ウ							
	12			内容の説明・書	き方の指導								
	13		身とマナーの確認 ない。										
	- 11	教育実習の振り教育実習の反省											
	15			THE SCW									
授業の評価		、」. 〔1 :授業態度	、提出物	(6	0 %)								
		」: 小テスト		実習評価(4	0 %)								
課題(レポート等)	・授業内	容に関する質	問については	、個別またに	は全体に回答す	⁻ る。							
のフィードバック													
	子辺 · 数	r 哲宝翌への白	フ 課題 を 田 確	いまち 運具	百古眼に向けて								
事前・事後の学習		・回の授業内容				1項1堅171に4次り70年12。							
事前・事後の子首 等の内容	_	業の終わりに			0								
	レ	ポートや、手	作り教材を課	すことがある	0								
事業 事後の英羽は N 更													
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	めて45時間の質	学修が必要です	卜。事前学習	(45 分) 事後学習 (45	5 分)						
	房 <i>收</i> 或	知たな テル	イチ 売り 中辺	会加ぶ知はさ	おおい相 久まご	て対けこと							
	・履修登録を行っていても学外実習参加が認められない場合を下記に示す。 ①事前実習指導を2回以上欠席した場合 ②授業における課題が未提出の場合												
	③授業での指示・指導に従わない場合 ④教員による会議において実習が認められない場合												
履修上の注意	⑤必要な単位修得が出来ていない場合												
	⑥小テ	ストの成績が	著しく低い場	合・実習評価	と授業評価を	并せて評価							
		指導案 大百	· · · · · · ·										
テキスト	・ 『学び	べつづける保育	者をめざす実	習の本』 久富	富陽子 萌林書	林							
	. [\(\daggregation \)	国数本形写机	計 구선전	学化 コ 1・	ं ग अंत								
参考書		園教育要領解 連進刑認完 >				文部科学省 厚生労働省 フ	ルーベル館						
少 与音		:理捞空認足し こ応じ配布	この圏状月・	小日女识胜机	a 广川谷川 。	ヘロパエテロ /子工力側目 /	アープドルド						
		ー】授業の前後 1-1	 发										
その他													
	•												

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
子育て支援				2年次			藤田貴久					
		演習	1		選択	保育士資格必修	ng 円					
(20530-D2)				前期			(実務家教員)					
授業の到達目標	2. 子育3. 地域	 子育て支援の意義や意義について基礎知識について理解する。 子育て支援を行う上で、保護者とコミュニケーションをとるために基礎能力を養うことができる。 地域資源の活用や関係機関との連携や共同の意義を理解して、子どもと家庭を包括的にとらえる視点を身に付ける。 										
学位授与の方針 との関連	保育に関	まで関する専門的知識・技術を修得している。 ・										
授業の概要	技術をも	子育て支援の基本となる保育者と保護者の関係構築に必要な技術、及び知識について学びを深め、理論的な援助 技術をもとに、自洗的なコミュニケーションのあり方を身に付ける。また、子育て支援の近年の状況や課題も踏 ミえ、専門機関との連携や協働について理解を深める。										
	回数	回数										
	2	子どもの権利	と子育て支援									
	3	保育の専門性	と子育て支援									
	4	子育て支援の	展開過程									
	5	子育て支援に	おける計画・	記録・評価								
	6	保護者との信	頼関係									
松坐計画	7	保護者の理解	とかかわり方	•								
授業計画	8	地域資源の活	州と関係機関	との連携・協	力							
	9			生かした保護								
	10				護者への支援							
	11	課題のある保										
	12	保育所や幼稚 児童福祉施設			現状							
	13	児童発達支援										
	14 15	まとめ・振り		.かいの1日C	又1反							
	「試験		<i>AG. 7</i>									
授業の評価		.」 : 授業熊度	(20%)									
22212 - 11 11	1 .,	」:授業内課	, , , ,	、レポート等	提出物(209	%)						
課題(レポート等) のフィードバック		ト等の課題は 容に関する質				ა .						
事前・事後の学習 等の内容		欠回の授業箇戸 ンポートを課す				的容の理解を深めておく。						
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間 <i>の</i> 質	学修が必要です	。事前学習((45 分) 事後学習	習(45 分)					
履修上の注意	出会う子 題、実習	どもや保護者 先などで取り	、それぞれの 組まれている	家庭を想定し 子育て支援に	て意欲的に授う ついて関心を	ある。保育者を目指すものと 業に参加してほしい。また、 もち、日頃から様々な情報に 欲的に取り組むこと。	子育て支援の現状や課					
テキスト					・三浦主博 á	編 (株)みらい						
参考書	『保育所	教育要領解説 保育指針解説 携型認定こど	書』 厚生労	働省 フレ	ーベル館 ーベル館 内閣府 文部科	学省 厚生労働省 フレーベル	 レ館					
	【オフィスアワ	·-]										
その他	授業前後											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもの保健		選集 2 2年次 早野 克典											
(20220_D2)		講義	2	25 ∪ n	選択	保育士資格必修	+∧ +						
(20320-D2)	4 2017.H	旧佐申につい	アエ田名の一トフ	前期	<u> </u>		松本。享						
授業の到達目標		 乳幼児疾患について理解する。 背後に隠されている家族病理までも推し量れる勘を養う。 											
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。											
授業の概要	保育を担	R育を担当する保育者が、 子どもの保健領域の理解を深め、 今後の保育に反映していく。											
	回数				授業	类内容							
	1	こどもの発育、											
	2				で様子を見る?								
	3	生活と保健(排泄											
	4	病気と異常	主な症状と対	r応と主な病気と	対応								
	5	感染症総論											
	6	風邪の仕組み											
授業計画	7	応急手当 各自の母子手帳	t, t 1.15 ts.	ば「囚フエギ」、	が舌而みの								
	8	予防接種	をもこに、 な ^っ	过「好丁子帳」,	の 里安 //・:								
	9		チ 喘自レけ	2 原因 症状 :	と 関で空 なる で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	を作が起きたら?							
	10	虐待		或と家族と温かり									
	11	小児救急	/EII C/G	ж с жих с <u>ши</u> х									
	13	子どもと薬											
		保育園の保健の	実際 園医を	して思うこと									
	15	<保育園におけ	る感染対策>	グループ討論	総括								
	「試 験		(90%)										
授業の評価	「平常点 「その他	-	等の提出物、	授業態度、意	意欲 (10%)								
課題(レポート等) のフィードバック		『に関する質問』 引、後期の最終打			本に回答する。 ぞれのまとめ、	総括を行う。							
事前・事後の学習 等の内容		キスト等の該 ・回の授業内容(としておくこと。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の学	学修が必要です	」。事前学習(135分)事後学習(1	35分)						
履修上の注意	欠席回数 授業態度 また、度 本講義で	が著しく悪い 重なる場合、 な、授業態度	場合は、当記場合、退室を 当該科目の履 を重視する。	该科目の受験資 命じることが 修を取り消す 座席は指定さ	ある。 ことがある。	位が認められません。 ましていないと欠席扱いにな - トを行う。	65						
テキスト	子どもの	保健・健康と	安全 -理論	iと実際-	同文書院 改	女訂新版							
参考書		んに伝えたい ⁻ 来小児科学研究			イド』								
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	<u> </u>										

子どもの機能と改金 1	科目名/カリキュラ	ムN0.	ANO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
(20022-140) 校型	子どもの健康と労	7全			2年次									
ままり、		`	演習 1 選択 保育士資格必修 内海 尚美											
技業の別域目標	(20322-D2)													
投業の経費 で習得した知識をもとに、保育表端において子どもの健康と安全を守るために必要な知識と 技術を学びます。	授業の到達目標	2. 保育 3. 乳幼	2. 保育施設における健康管理や安全管理を理解する。3. 乳幼児に多くみられる病気とその症状について理解し、基礎的な観察技術を習得する。											
技術を学びます。		保育に関	R育に関する専門的知識・技術を修得している。											
カリエンデーション・授業内容、子どもの健康と保健における現状と問題	授業の概要													
全		回数	回数											
2		1	1 オリエンテーション:授業内容、子どもの健康と保健における現状と課題 講義											
日本学生の日常生活技術の1: 著替え、排液ケア 漢音		2	2											
1		3	丁こもの才体	н]′4.光 月 ・ 光	達 (孔列冗别									
投業計画 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		4	子どもの日常	生活援助1:	着替え、排泄	:ケア		演習						
投業計画		5	子どもの日常	生活援助2:	沐浴			演習						
接案計画		6	健康観察1:	身長、体重、	頭囲、胸囲			講義、演習						
# 子どもの病気と症状:乳奶児に多い病気	授業計 画	7	健康観察2:	体温、呼吸、	脈拍			講義、演習						
10 子どもの病気と症状:手洗い、罨法 講義 演習	汉未可固	8	子どもの病気	と症状:乳幼	児に多い病気			講義						
11 子どもの病気と症状:与薬 講義 講義		9	子どもの病気	と症状:症状	の観察と対応			講義						
12 子どもの発達特性と事故 講義、グループワーク 13 子どもの事故と対応 (公園内裏物除去、止血法、包帯法) 演習 14 子どもの事故と対応 (公園作業) 演習 15 まとめ:健康管理と考慮的止 講義 15 まとめ:健康管理と考慮的止 17 をの他」 17 をの他」 17 をの他」 18								講義、演習						
13 子どもの事故と対応 (知道内異物除去、止血法、包帯法) 議習		11	子どもの病気	と症状:与薬				講義						
14 子どもの事故と対応(心肺蘇生) 演習 講義								講義、グループワーク						
15 まとめ:健康管理と事故防止 講義 議義 議義 議義 議義 議義 議義 議義						止血法、包带	法)							
「読 験」: 筆記試験 (60%) 「平常点」: 授業態度・演習レポート (40%) 「その他」: 課題 (レポート等) のフィードバック レポート等の課題は、コメントを付して返却する。 授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 「子習】テキストや参考書の該当箇所を通話し、授業内容の概要を把握しておくこと。 「復習】授業で学んだ内容を振り返り、整理しておくこと。 事前・事後の学習に必要な時間 単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45分) 事後学習 (45分) 主体的に講義・演習に参加すること。 授業で配布するブリント類は各自ファイルに綴じるなどして、テキストとともに持参すること。 テキスト														
授業の評価					i止			講義						
「その他」: 課題 (レポート等)			-											
課題 (レポート等) のフィードバック 授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 事前・事後の学習 等の内容 【予習】テキストや参考書の該当箇所を通読し、授業内容の概要を把握しておくこと。 【復習】授業で学んだ内容を振り返り、整理しておくこと。 事前・事後の学習に必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (45分) 事後学習 (45分) 定体的に講義・演習に参加すること。 授業で配布するプリント類は各自ファイルに綴じるなどして、テキストとともに持参すること。 テキスト 『これだけはおさえたい!保育者のための「子どもの健康と安全」』 鈴木美枝子編著 創成社	授業の評価		-	演習レポー	卜 (40%)									
### ある 「大学」 「大学」		「その他	<u>.</u>] :											
#前・事後の学習に必要な時間						0								
要な時間							要を把握しておくこと。							
授業で配布するプリント類は各自ファイルに綴じるなどして、テキストとともに持参すること。		1単位に~	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(45 分)事後学習(45 分)											
参考書 適宜プリントを配布	履修上の注意					るなどして、う	テキストとともに持参するこ。	는。						
	テキスト	『これだ	ごけはおさえた	い!保育者の	ための「子ど	もの健康と安全	全」』 鈴木美枝子編著 創版	艾 社						
その他	参考書	適宜プリ	ントを配布											
	その他													

大学とも家庭支援機関 選集	科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
(20420-92)	子ども家庭支援	論			2年次									
世界の利益日報	(講義 2 選択 保育士資格必修 山本 邑太											
交換の利益目数	(20420-D2)		後期											
との関連 「株育・田学 の年中197月頃で、女権では中している。 現代のわが国におけるさまざまな問題から家庭支援のあり方について悪難を使め、保育者として、子どもだけでなく多様な保護者(家庭)とのかかわりやエーズに合わせた主飲な支援について方える。 「関数 世後素内容 日本では、大きな確定機とは内か 1 子ども家庭支援の最後と投稿(つかの子育工支援によかられているもの) 2 子とも家庭支援の監験と投稿(つかの子育工支援によかられているもの) 3 子とも家庭支援の関係とと投稿(つかの子育工支援によかられているもの) 4 子とも家庭支援の関係といるは、制度の「保護・無護者、家族、子ども、なども々の有効な技術医) 5 子ども家庭支援の関係の「保護・制度の「保護・無護者、家族、子ども、なども々の有効な技術医) 7 社会家庭支援の関係の「保護・制度の子ぞも家庭支援政策」 9 男者によるそとも家庭支援の関係の「保護・大きしからの支援」 9 男者によるそとも家庭支援の関係の「行きしの走時間虚を表するで、の支援」 9 男者によるそとも家庭支援の関係の「行きしの走時間虚を表するな」 1 展育部による子とも家庭支援の関係の「行きしの走時間虚を表するな」 1 またからの子とも変し支援の関係の「行きしの走神の事」 1 またからの子とも変し支援の関係の「できしの走神の事」 2 医育子とも子も発展を支援の関係の「できしの走神の事」 1 またからの子とも変し大変の実施の「行きのでき」 1 またが、長春内容に関する質問については、個別又は全体に関係する。 ・投業内容に関する質問については、個別又は全体に関係する。 クロ・ナード・クロ・オートを関すことがある。 2 日前の子室 まくこと 血技業後に復習を求める。その際、レポートを関すことがある。 2 日前の子室 まくこと 血技業後に復習を求める。その際、レポートを選すことがある。 第一年をの学書に おくこと 血技業後に復習を求める。その際、レポートを選すことがある。 第一年をの学書に 2 日本の子室 1 単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。 事前学書(135分)事後学書(135分) 事後学書(135分) 第一年で発達と応覚して意欲的に投資 ※加してはしい、また、生態発達や現代の家族や家庭について隠れをもち、日はから様々な信頼にアンクラ・ままなまた。 第一年をのでは、本が上によると思いまなまた。 第一年をのでは、本が上に表がしている。 1 日本のとは、まなまなまた。 1 日本のとは、大きなまたまた。 1 日本のと飲みな信頼にアンクラ・ままるまた。 1 日本のとは、大きなまたまたまた。 1 日本のとは、大きなまたまたまた。 1 日本のとは、大きなまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	授業の到達目標	2.子ど	2.子ども家庭支援における保育者の専門性と基本的態度について習得する。											
接来内容 一一		保育に関	呆育に関する専門的知識・技術を修得している。											
回数 一字とも家庭支援の近難とは何か 一字とも家庭支援の変異と反射 (今日の子育で支援に求めわれているもの) 2 十とも家庭支援の変異と反射 (今日の子育で支援に求めわれているもの) 3 子とも家庭支援の影響と反射 4 子とも家庭支援の影響を (現代のお	見代のわが国におけるさまざまな問題から家庭支援のあり方について理解を深め、保育者として、											
1 子ども家庭天後とは何か	授業の概要	子どもだ	子どもだけでなく多様な保護者(家庭)とのかかわりやニーズに合わせた柔軟な支援について考える。											
		回数												
		1	子ども家庭支援	受とは何か										
### 2 七・京家 は 2 大き という 2 大き 2 大		2	子ども家庭支援	その意義と役割	(今日の子育で	支援に求められて	ているもの)							
1		3	子ども家庭支援	そのあゆみ										
授業計画 (会 保育者の専門性と基本的態度		4	子ども家庭支援	度に関わる法・制	制度①(家庭、作	呆護者、家族、-	子ども、など各々の有効な法制度	隻)						
接業計画 (会 保育者の専門性と基本的態度		_	子ども家庭支援	後に関わる法・制	制度②(わが国の	の子ども家庭支持	爰政策)							
授業計画			保育者の専門性	上と基本的態度										
接案計画 8			社会資源と地域	成のネットワーク	<u></u>									
日	授業計画		保育者による子	- ども家庭支援の	の実際①(保育剤	新等を利用する-	子どもの家庭への支援)							
10														
11 保育者による子ども家庭支援の実際②(子どもの虐待問題を抱えた家庭への支援) 12 保育者による子ども家庭支援の実際③(ひとり親家庭・ステップファミリーへの支援) 13 ワークで学ぶ子ども家庭支援(ダループワーク) 14 これからの子ども家庭支援(選班と展望) 15 まとが・歌り返り 「読 験」:雑記試験(60%)「その他」: レポート等提出物(20%)「その他」: レポート等提出物(20%)「その他」: レポート等提出物(20%)「その他」: レポート等提出物(20%)「その他」: レポート等の課題は、コメントを付して返却する。・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 予習: テキストや参考書の該当箇所を通認し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。														
12 保育者による子ども家庭支援の実際の(ひとり複家庭・ステップファミリーへの支援) 13 ワークで学ぶ子ども家庭支援(郊ルーブワーク) 14 これからの子ども家庭支援(課題と展望) 15 まとか・張り返り 15 まとか・張り返り 15 まとか・張り返り 16 16 17 18 18 19 19 19 19 19 19														
13		-												
14							ツノファミリー((の又仮)							
技業の評価		13			•	<i>7</i>)								
では、一下では、「・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					果題と展室)									
授業の評価 「平常点」:授業態度、講義ノート (20%) 「その他」:レポート等規出物 (20%) ・レポート等)のフィードバック のフィードバック ・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 ・予習:テキストや参考書の該当箇所を通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 毎時間、次回授業の主要な内容について予習を課す。 復習:テキスト、参考書、配布プリント等を通読し、各回の授業内容について理解を深めておくこと。毎接業後に復習を求める。その際、レポートを課すことがある。 事前・事後の学習に必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (135分) 事後学習 (135分) 保育者を目指すものとして、実習や意識先で出会う子どもや保護者、それぞれの家庭を想定して意欲的に授業参加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナをか加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナをか加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナをか加してほこし、また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナをか加してほどい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナをか加して通じと、学習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に取り組むこと。 「保育実践に求められる子ども家庭支援」橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 参考書 適宜紹介する。		10												
「その他」: レポート等提出物 (20%) 課題 (レポート等) のフィードバック ・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 ・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 予習: デキストや参考書の該当箇所を通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 毎時間、次回授業の主要な内容について予習を課す。 復習: デキスト、参考書、配布ブリント等を通読し、各回の授業内容について理解を深めておくこと。毎接業後に復習を求める。その際、レポートを課すことがある。 事前・事後の学習に必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習 (135分) 事後学習 (135分) 「保育者を目指すものとして、実習や厳職先で出会う子どもや保護者、それぞれの家庭を想定して意欲的に授業参加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンデナを張って過ごし授業に臨むこと。予習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に取り組むこと。 テキスト 「保育実践に求められる子ども家庭支援」 橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 参考書 適宜紹介する。			-											
課題(レポート等) ・レポート等の課題は、コメントを付して返却する。 ・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 事前・事後の学習 等の内容 事前・事後の学習に 必要な時間 「単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分) 「関修上の注意 を表していて過ごし授業に臨むこと。予習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に授業を表していて過ごし授業に臨むこと。予習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に取り組むこと。 「保育実践に求められる子ども家庭支援」橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 「はれびアー」講義日のお昼休み。	授業の評価		-											
・授業内容に関する質問については、個別又は全体に回答する。 事前・事後の学習 等の内容 毎時間、次回授業の主要な内容について予習を課す。 復習:テキスト、参考書、配布プリント等を通読し、各回の授業内容について理解を深めておくこと。毎授業後に復習を求める。その際、レポートを課すことがある。 事前・事後の学習に必要な時間 1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分) 履修上の注意 保育者を目指すものとして、実習や就職先で出会う子どもや保護者、それぞれの家庭を想定して意欲的に授業参加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナを張って過ごし授業に臨むこと。予習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に取り組むこと。 「保育実践に求められる子ども家庭支援』橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 参考書 適宜紹介する。 【打び79-】講義日のお昼休み。		「その他	」: レポート	等提出物(20	%)									
#前・事後の学習														
#前・事後の学習														
必要な時間		毎 復習:デ	時間、次回授 キスト、参考	業の主要な内 書、配布プリ	容について予 ント等を通読	習を課す。 し、各回の授	業内容について理解を深めて							
必要な時間														
腰修上の注意 参加してほしい。また、生涯発達や現代の家族や家庭について関心をもち、日頃から様々な情報にアンテナ を 張って過ごし授業に臨むこと。予習・復習を含め、自らの学習に対して意欲的に取り組むこと。 「保育実践に求められる子ども家庭支援」 橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 参考書 適宜紹介する。 【お7ィスアワー】講義日のお昼休み。		1単位に	つき自習も含め	りて45時間の	学修が必要です	上。事前学習	(135分) 事後学習 (135分)						
参考書 適宜紹介する。 【オフィススワー】講義日のお昼休み。	履修上の注意	参加して	ほしい。また	、生涯発達や	現代の家族や	家庭について	関心をもち、日頃から様々な	:情報にアンテナ を						
【オフィスアワー】講義日のお昼休み。	テキスト	『保育実	践に求められ	る子ども家庭	支援』 橋本姫	子市・直島正権	#編 ミネルヴァ書房							
	参考書	適宜紹介	する。											
	その他	【オフィスアワ	7-】講義日のお	お屋休み。										

科目名/カリキュラ』	4NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
子どもの理解と援	助	2年次											
	.,,	演習 1 選択 保育士資格必修 松本 恭子											
(20230)		前期											
	1. 子と	. 子ども一人ひとりに応じた心身の発達や育ちを把握することの大切さを理解する。											
板架の到法口挿	2. 子と	. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を学ぶ。											
授業の到達目標	3. 子と	. 子どもを理解し適切な援助をするための具体的な方法を知る。											
 学位授与の方針	保育に関	育に関する専門的知識・技術を修得している。											
との関連													
	子どもを	どもを理解するうえでの基本的な考え方やその方法、子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の											
		ともを理解するうえぐの基本的な考え方やその方法、于ともの理解に基づく保育者の援助や態度の 本について理解する。また、子どもを理解するために必要な観察の視点や子どもの育ちにかかわる環境、											
授業の概要		本について理解する。また、十ともを理解するために必要な観祭の視点や十ともの育らにかかわる東境、 最上保護者・地域との連携について学習する。											
	- 成長 - 内	R MIX D 心外CV/吐がC /Y く丁日 1 V。											
		回数											
		7 13 ATH 677 1	- 極助の其才 (1) フじょの仁		美 内谷							
	1			1) 子どもの行									
	2			2) 保育者に求) = ==== 1							
	3					もの育ちと大人のかかわり							
	4					もの育ちと大人のかかわり							
	5					もの育ちと大人のかかわり							
	6	子どもの実態に	上応じた発達・	学びの把握(4)	3歳児の子ど	もの育ちと大人のかかわり							
授業計画	7	子どもの実態に	1応じた発達・	学びの把握(5)	4歳児の子ど	もの育ちと大人のかかわり							
1文未訂四	8	子どもの実態に	1応じた発達・4	学びの把握(6)	5歳児の子ど	もの育ちと大人のかかわり							
	9	子どもを理解す	「る方法 職」	員間や保護者と	の情報共有・保*	育における観察と記録							
	10	子どもを理解す	つる視点 親に	なるプロセスの	理解								
	11	子どもの理解に	- 基づく発達援!	助(1)保育の	中で気になる子	どもと親の理解と援助	•						
	12	子どもの理解に	- 基づく発達援!	助 (2) 特別な	配慮を要する子	どもと親の理解と援助-発達障害	<u> </u>						
	13	子どもの理解に	- 基づく発達援!	助 (3) 様々な	問題を抱えた子	ども・親・家族とのかかわり							
	14	子どもの理解に	基づく発達援助	助(4)多職種	や地域との協働	• 連携							
	15	まとめ											
		<u> </u>	(60%)										
授業の評価		、 - 平品 での 〔 :授業への		音欲 ・ 関心、・ 負	と度)(20%	5)							
1久木*/川岡		、」. 及未 ・/ 1」: 提出物(愿											
	1 6 07 [6	:	2007 11.5 11.	1,7	7 7 176 6 2	(2070)							
=# H	・レポー	-ト等の課題は	コメントを	付して返却す	ろ								
課題 (レポート等) のフィードバック		容に関する質											
*22 4 17 22	1XXII	はに対する質	1011/2 24 (14	、 III/1 な/こ/	女王件(C四石)	.∾°							
1.34 1.46 34 33	. 文.羽 .	東治に夕回の	極紫五分の塩	[画な知垠] ア	センファル								
事前・事後の学習		事前に各回の			-	<i>→ → → →</i>							
等の内容	・復省:	授業内容の見	直し。字びを	とり美践に生	いっしていくか	ど与える。							
	ļ												
事前・事後の学習に必要		,		N. 16- 32		/ .= N							
な時間	1単位に	つき目習も含め	りて45時間の ^会	字修が必要です	r。事前学習	(45分) 事後学習 (45分	分)						
		. /		,) =							
						することがある。							
	授業で	・授業では毎回演習を取り入れながら進めるので、グループワークなどに積極的に取り組むこと。											
 履修上の注意	・classroomを通じて連絡することがあるので、各自で確認しておくこと。												
機形工の住息													
	『実践に	こつながる 新	しい子どもの	理解と援助』	一今、ここに	生きる子どもの育ちをみつめ	T—						
テキスト	編著:大	は浦賢治 ミネ	ルヴァ書房										
	適宜、授	※ 業時プリント	などを配布す	`る。									
参考書	適宜、授	受業中に紹介す	る。										
	【オフィスア「	7-】授業の前後	<u> </u>										
その他		■ ***>*** ** 114 B											
	1												

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育の計画と評価	価			2年次			藤田 貴久						
(00000 00)		講義	2		選択	保育士資格必修	(+=++++ D)						
(20660-D2)	四去山		10 万女の所	前期	たの状況が正	のおきまたのいて四切ます	(実務家教員)						
授業の到達目標	指導計ことが	・保育内容の充実を図り、保育の質を向上するための指導計画の考え方について理解する。 ・指導計画(部分実習指導案・全日実習指導案・週の指導案・月の指導計画・期の指導計画)を自ら考える ことができるようになる。 ・子ども理解に基づく保育の計画、実践、評価、改善の過程について理解する。											
学位授与の方針 との関連	保育に関	引する専門的知	畿・技術を修	得している。									
授業の概要		通して子ども理が 考え方を理解				保育を展開するための見通し	の持ち方など						
	回数				授業内	內容							
	1	なぜ保育の計	画が必要なの	カュ									
	2	-											
	3	3 1.2歳児の指導計画の作成について											
	4	3 · 4 · 5歳	児の指導計画	の作成									
	5	部分実習指導	案の作成										
	6	グループワー	ク 部分実習	指導案を活用	して								
	7	全日実習指導	案の作成										
授業計画	8	グループワー	ク 全日実習	指導案を活用	して								
	9	週の指導計画	の作成										
	10	グループワー	ク 週指導案	を活用して									
	11	月・期の指導											
	12	グループワー		指導計画を活	·用して								
	13	エピソード記		7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
	14	グループワー		ド記述を活用	1.7								
		振り返りとま		1 1000 0 1071									
	10		_ :)									
授業の評価		・味磁レホ! 授業態度		,									
1文条の計画		、 . 1又未忠及 1 : 授業時の		Ш <i>Нт</i> (200/)								
	1 C V) TU	3. 1文未时(7)	レが一下守证	山物 (20%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	授業内容	容の質問につV	ては、個別ス	スは全員に回答	答する。								
事前・事後の学習 等の内容		次回の授業箇所 レポートを課す				を内容の理解を深めておく。							
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	て45時間の営	学修が必要です	广。事前学習	(135分) 事後学習 (13	35分)						
履修上の注意	必ずテキ	の内容は授業: -ストを持参す。 プの話し合いや	る。また、配	布プリントは	整理してファー	ある。 イリングすること。							
テキスト	『保育所	園教育要領解説。 「保育指針解説 『携型認定こど	書』 厚生労	働省 フレ	ーベル館	学省 厚生労働省 フレーベル	レ館						
参考書	授業内で	ご紹介する											
その他	【オフィスアワ 授業前後	-											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
乳児保育Ⅱ		2年次											
(20651-D2)		演習											
(20031 1/2)	1. 乳												
		・ 代表により、											
授業の到達目標	з. —,	. 一人一人の発達を支える生活と遊びの環境、職員間の協働などについて理解する。											
学位授与の方針	保育に関	育に関する専門的知識・技術を修得している。											
との関連													
		_											
	乳児保育	↑Ⅰの学びを基	に、実際の援	助や関わりを	通して子どもヨ	理解を深め、保育者としての)						
授業の概要	あり方を	考える。											
	回数	回数											
	1	オリエンテーシ		育Ⅰの復習									
	2	3歳未満児の発											
	3	食事の習慣形成											
	4	食事の習慣形成排泄の習慣形成											
	5 6	睡眠、清潔の習											
	7	ことばの発達と		2000000									
授業計画	- 8	実際の保育から	環境構成と保育	育者の援助を学ん	Š								
	9	0歳児の日課と	:担当制										
	10	保育の計画と記	已録										
	11	保育教材の研究	E(グループ活動	协①)									
	12	保育教材の研究											
	13	保育教材の研究											
	- 11	乳児保育に携え 振り返りとまと		竹性			_						
	10			(80	%)								
授業の評価	「平常点			(10	%)								
1XXX > H I limit	「その他	-		(10	%)								
							-						
課題 (レポート等)		- 卜等の課題は			-								
のフィードバック	・授業内	容についての	質問は個別ま	たは全体に回	答する。								
	→ 777 O	E LABORES	(-1 -) . /n -1-	#/ 1-10-	n >	> 2 left 2							
本		成木満児にふ L録したりして		教材について	日ころから関われ	心を持ち、作ったり試したり							
事前・事後の学習 等の内容		•		慣形成につい	て)を自分の	ものになるまで繰り返し練習	Į						
		- - ること。	97000 (B	B/17/2010 21	() 2000	ののになるよく旅り返り旅台							
本共 本体での2000-1-1													
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に	つき自習も含め	めて45時間の質	学修が必要です	一。事前学習((45分) 事後学習 (45分	分)						
	 教科書や配布プリントは熟読し、授業時間内で理解するようにし、分からないことは必ず												
履修上の注意		質問すること。											
		学ぶ乳児保育	』 善本眞弓	編著 わかば	<u></u>								
テキスト	『保育所	「保育指針』											
参考書	授業の中	で紹介する											
少つ目	1000	EMPLY / W											
7. 114	【オフィスアワ	7-】授業の前後	发										
その他		THE PARTY HAVE											

科目名/カリキュラ	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
保育実習指導 I 1	D	藤田 貴久 1年次後期 22日 1年次後期 1年次後期 1年次後期 1年次後期 1日本上次地以修 (主致定数員)											
	D												
(20823-D12)				2十八反列			山本 邑太						
授業の到達目標	施設 2. 実習	1. 福祉施設の内容や機能、また、保育士や施設教員の仕事について講義を通して学び、施設実習が円滑に実践できることを目指す。2. 実習施設の一日の生活の流れや支援の内容を理解しる。3. 実習施設が持つ機能や社会的役割について理解する。											
学位授与の方針 との関連	・社会人	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。 社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・ 解決能力を身につけている。											
授業の概要		記量福祉施設での実習を通じて、利用者への理解を深めるとともに、施設の機能および施設職員の 裁務について実践的に学ぶ。											
	回数	回数 授業内容											
	1	意義と目的、概	[要、実習生に	求められるもの	など								
	2	福祉施設、利用	者、職員の理解	解									
	_	DVD「施設実	習の基本」										
	4	生活指導、学習	指導、社会人	としての常識									
	5	療 育指導、自立	支援										
		*************************************	活支援施設、	児童養護施設									
	7	児童発達支援セ											
授業計画	8	障害者支援施設		涌所授産)									
	_	個人票作成、オ											
		実習課題、事前		301030.0									
	10	実習日誌の書き											
	- 11												
	12	指導計画の書き											
	13	実習中のケース											
	14	グループ討議、											
	10	実習の反省とま											
		」: 筆記試縣											
授業の評価	「平均点	.」: 授業態度	E、課題提出	(40%)									
	「その他	.」: 実習態度	E、実習評価7	など(50%)									
課題 (レポート等) のフィードバック		ト等の課題は 容に関する質											
事前・事後の学習 等の内容		配布プリント席した場合、			にくること								
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	上。事前学習	(45分)事後学習(45	5分)						
履修上の注意	①事前指 ③授業に	導の欠席が2回	回以上の場合、 た課題を提出	②授業態度、 しない場合、	出席状況が悪 ④教員による	会議で実習が認められない。	<u> </u>						
テキスト	•					』 駒井美智子 萌文書林 会編 ななみ書房							
参考書	『保育所	保育指針』	—— 必要に応じ配										
その他	【オフィスアワ	一】水曜の昼休	大み										

科目名/カリキュラム	NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
保育内容演習「総合表	現」	演習 2 選択 保育士資格選択 松本 恭子										
(20617-D2)	ı	後期 向井順子										
授業の到達目標	 表現の技術を向上させる。 グループワークを通して積極性や協調性を養い、個々の役割の責任を果たす。 表現活動を通して体験、学習したことを教育・保育現場で役立てる。 											
学位授与の方針 との関連		・保育に関する専門知識・技術を修得している。 ・教科学習及び教育・保育実習等を通じて実践力を修得している。										
授業の概要	 ・本学のキリスト教主義教育に基づき「クリスマス降誕劇(ページェント)」の舞台制作・発表を行い、「表現活動とは何か」を実体験する。 ・音楽表現、造形表現、身体表現、言葉の表現など、あらゆる表現を総合的に組み合わせて制作する。 ・表現について考え、互いの意見などを尊重しながら、全員で舞台作品の完成を目指す。 											
	回数		27 #U - 1	- 0 27 TO TO TO		業内容						
	2	クリスマス降	: 迦劇について	の字省、DV	Dや紙芝居倪	徳、感想や意見交換・発表						
	3	クリスマス降	:誕劇の台本学	" :習、配役等の	確認							
			ウ:クリスマ				(配					
	4	役・トーンチ	ヤイムなどの	体験、衣装・	小道具制作、	その他) 						
	5 6	ガループロー	・カ・カリスマ	"ス降漸劇補翌	カリスマス	飾り付け・点灯式練習・準備	その他					
授業計画	6 7	7/2 77	7.///	川	, , , , , , , ,	かり 110 一次 12 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	. C 0 / IE					
汉未可固	8	グループワー	・ク:クリスマ	ス降誕劇の実	践練習(全体網	東習・衣装着用・練習ビデオ	撮影・PBL等を含む)					
	9			II								
	10			II								
	11	ガルプロ	カ・カリマー	リっ欧鉱樹田、	ーサル・制作	7½ 丰						
	12					_{元衣} 見交換・発表(シンク・ペア	 ・シェア筌を含te)					
		保育・教育現			PIEC SEVEN CIECS							
	15	まとめ										
	「試	験」: レオ	ポート (50%	6)								
授業の評価						(40%)						
	140	の他」: ペー	ーシェント発表	₹ (10%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	授業は	こ関する質問や	₽相談は、個別	川又は全員に回	1答する。							
	予習	: プリントやク	フリスマス物語	吾の本などをよ	く読み、聖劇	への理解を深めること。						
事前・事後の学習		台詞や讃美歌										
等の内容	/ / ===					準備しておく。						
	復習	: 計画通りに進	重められている	か等グループ	で振り返り、	次の授業に繋げる。						
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位	につき自習も	含めて45時間	の学修が必要	です。事前学習	習(135分)事後学習(135分)					
	・グループワークが中心となるため、自分たちの役割を果たせるよう協力しながら進めていく。・他のグループと進捗状況等確認しながら進め、全員で連携しながら劇を作り上げていけるようにする。											
履修上の注意	・クリスマスペイジェントの日を目標にして、計画的に取り組むこと。・舞台機器や制作活動の状況などにより、シラバスを変更する場合がある。											
テキスト	 ・ページェント台本、トーンチャイム・聖歌隊楽譜(プリント配布) ・『聖書』『讃美歌』『讃美歌 2 1』『こどもさんびか』『幼児さんびか』 ・その他、適宜、プリントを配布する。 											
参考書	クリスマスに関する聖書物語の絵本・紙芝居・DVD等、聖書など											
その他	【オフィ	スアワー】授業の	前後									

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
幼児音楽ⅡA		7주 4점	,	2年次	\22.4U		÷4. W=7					
(20722-E2)		演習 1 選択 保育士資格選択 向井 順子 前期 1.幼児音楽Iで習得した基礎的な技術をもとに、より高度な音楽的技術を習得する。										
授業の到達目標	2.保育理	見場で生かせる	実践的な音楽	支術をもとに、 終指導法を身に	こつける。	楽的技術を習得する。 かな音楽的表現力を身につ	ける。					
学位授与の方針 との関連	保育に関	呆育に関する専門知識・技術を修得している。										
授業の概要		実践的な音楽演習を通して、幼児と直接関わる保育者として必要なコミュニケーション力と基礎的な 技能及び表現力を身につける。										
	回数				授業	内容						
	1	授業内容説明		で学んだこと	の復習と確認							
	2	姿勢・呼吸法		777 2 277 2 244	• বাবা							
	3	発声・呼吸法 指導略案作成			[智							
	5		• クルーノ分 !!	rv)								
	6	模擬授業発表		ーク・プレゼン	ンテーション)							
	7		II	, , ,	, , ,							
授業計画	8	,	II.									
	9	研究討議										
	10	弾き歌い・歌	唱									
	11		<i>II</i>									
	12	弾き歌い・リ										
	- 10	弾き歌い・パ		X中山日								
		弾き歌い・ア 振り返りとま		独唱								
	10	***		(5.0%)								
授業の評価		:授業態度										
	「その他	」」:提出物(1 0 %)									
課題 (レポート等) のフィードバック	授業内容	に関する質問	については、	個別または全	体に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容		対研究と歌お。 業で学んだ教			-	となるようにする。						
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	計。事前学習((45 分)事後学習(45 分)					
履修上の注意	授業態度を重視 実技中心なので毎日の練習が必要											
テキスト	『こどものうた100』 小林美実 監修 チャイルド本社 随時 プリントを配布											
参考書												
その他	【オフィスアワ	7-】授業の前後	É									

科目名/カリキュラ.	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
幼児音楽ⅡB		. ४५ चच	,	2年次	\## LU		-t- II. 1075 →					
(20723-E2)		演習	1	後期	選択	保育士資格選択	向井 順子					
授業の到達目標		1.保育現場で生かせる実践的な音楽指導法を身につける。 2.器楽合奏・合唱を通して、他者とアンサンブルをする経験を通して、個々の音楽的表現力を高める。										
学位授与の方針 との関連	保育に関	R育に関する専門知識・技術を修得している。										
授業の概要		実践的な音楽演習を通して、幼児と直接関わる保育者として必要なコミュニケーション力と基礎的な 技能及び表現力を身につける。										
	回数				授業	内容						
	1	前期演習の復	習と確認									
	2	弾き歌い(秋		.)								
	3	弾き歌い・初										
	4	各パート分け										
	5	パート練習・)							
	6	賛美歌合唱練		. (//)								
授業計画	7		<i>II</i>									
	8		<i>"</i>									
	9	聖歌隊として		ゲループロー/	カ)							
	11	通し稽古 (グ			/)							
	12	クリスマスペ			レープワーク)							
	13				ンテーション)							
	14	弾き歌い・レ	パートリー確	認・アンサン	ブル仕上げ	(プレゼンテーション)						
	15	振り返りとま	とめ									
) : 実技試験		50%)								
授業の評価		〔」:授業態度	. , . ,									
	「その他	1」:提出物(10%)									
課題 (レポート等) のフィードバック	授業内容	ドに関する質問	については、	個別または全	体に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容		対研究と歌お 受業で学んだ教				となるようにする。						
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要とな	なる。事前学習	(45分)事後学習(45分)					
履修上の注意		授業態度を重視 実技中心なので毎日の練習が必要										
テキスト	『こどものうた100』 小林美実 監修 チャイルド本社 随時 プリントを配布											
参考書												
その他	【オフィスアリ	ワー】授業の前後	Ŕ									

科目名/カリキュラ	名/カリキュラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格											
造形ⅡA				2年次								
		演習	1		選択	保育士資格選択	井口 佳江					
(20723-E2)	1											
授業の到達目標						言うことができ、他者の意見	.を尊重しつつ、					
3000 7000		よりよい作品になるよう努力をする姿勢を培う。										
	3. 素材の	3. 素材の可能性を探求し、それを活かせる作品の制作に取り組む。										
■ 学位授与の方針と関連	保育に関	する専門知識	技術を習得	している。								
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		4, 4, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	2411 2 1114									
授業の概要					必要性を理解で							
	作品の題	**刀を伝えるこ	とかできるよ	っにする。IT	Cを活用し作品	を制作する。						
		1										
	1	教材研究①導		ものを考える)							
	2	教材研究②制										
	3	教材研究③作										
	4	教材研究①素)							
	5	教材研究②制										
	6	教材研究③制										
	7	教材研究④制										
授業計画	8	教材研究⑤制										
	9					鑑賞(コメント)						
	10			る物で制作し	てみよう(材料	料選び・構成・絵コンテ)						
	11	アニメーショ										
	12	アニメーショ										
	13	アニメーショ										
	14	アニメーショ										
	15	アニメーショ	ン⑥鑑賞									
	F =	Am 8 x 18 . L	(
100 NIA - 377 have		:課題提出		1-0 NIA 140	1-2 XIII - 1-2 L =	the DV (1 = 0 /)						
授業の評価			ワーク、出席	・授業態度・	授業への参加が	意欲(40%)						
	「その他	1]:										
	個なの誰	明明什(000年10月	ラフルームト	で担出1 フ	ノードバッカ	(コメント) オスニガ行ら						
課題 (レボート等) の フィードバック					ィードハック フォーム等で行	(コメント) もそこで行う。 テュ						
フィードバック	7000	ノーションの	ノイードハッ	クは、Google	ノオーム寺 (1	17.						
東治・東然の学習祭の	予習:次	マ同の授業で行	うことを把握	しておくこと	進備が必要が	な場合は授業前に用意するこ	とを心がける。					
事前・事後の学習等の 内容						こ配布するので参照すること						
	K		, , , ,	11.11 5 000810	, , , , , , , , ,							
事前・事後の学習に必	1単位に	つき自習も含め	りて45時間の学	学習が必要でで	」 。事前学習((45分)事後学習(45分)					
要な時間			* · · · ·	:= ~ · ·		,,						
	作成の記	2録をつける。										
B /4 / - >> *	必ず用具	具や材料を忘れ	ず持ってくる	0								
履修上の注意	課題作品	4の提出期限を	守る。									
	汚れても	困らない服装	で授業に参加	する。								
	適宜資料	配布										
テキスト												
	<u></u>											
参考書												
	<u> </u>											
その他	【オフィ	'スアワー】授	業の前後									
ر ۱۳۰۰ افتار استان المساور الم												

科目名/カリキュラム	4NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
造形 Ⅱ B				2年次			
(20733-E2)		演習	1	後期	選択	保育士資格選択	井口 佳江
(20133-E2)	1. 造形	I で習得した	造形的基礎を		で考えて計画	 的に制作できる技術を習得す	<u> </u> する。
極業の到法日種	2. グル	ープ制作から	互いのイメー	ジの違いを明	確にし、尊重を	合いながら表現する方法を会	
授業の到達目標	3. 素材	の可能性を深	く考察し、作	品制作に生か	す。		
学位授与の方針 との関連	保育に関	する専門知識	・技術を修得	している。			
COMME							
 授業の概要		場や実習に役 対して湧き起				るようにする。 ICT妊甲授業	
汉朱沙城女						からフィードバックを得る。	
	□ ¥/.	I				₩, ₼, ☆	
	回数 1	教材研究 ①	制作 (PBL)		授	業内容	
	2	教材研究 ②					
	3	教材研究 ③		(プレゼンテー	ション)		
	4	クレイアニメ	①クレイア	ニメを知る・	ストーリーと	絵コンテ (グループワー)	ク・PBL)
	5	クレイアニメ	②粘土で制	作 (グルー	プワーク・PB	L)	
	6	クレイアニメ		(グループワー			
授業計画	7	クレイアニメ		表(プレゼ	ンテーション)	
	9	卒業制作 ① 卒業制作 ②					
	10	卒業制作 ③					
	11	卒業制作 ④					
	12	卒業制作 ⑤	(PBL)				
	13	卒業制作 ⑥	(PBL)				
	14	卒業制作 ⑦					
	15	卒業制作 ⑧	(PBL)				
授業の評価	「試 験	:」: (:授業の参	加度(40	%)			
1文米 沙山 岡		.」 . 及来ッッ .」 : 提出課題		707			
	個々の課	題はGoogleク	ラスルーム上	で提出し、フ	ィードバック	(点数やコメント等) はそこ	こで行う。
課題 (レポート等) のフィードバック	また、プ	゜レゼンテーシ	ョンの教員及	び学生のフィ	ードバックは、	、その都度Googleフォーム等	等で行う。
+++ ++// • W 77				157 JA All 2017	18 V = 1- 10 A	1 	· - 1
事前・事後の学習 等の内容						は事前に行い、準備しておく を深めておくこと。	くこと。
						•	
東治・東外の学習にひず							
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の ^生	学修が必要です	一。事前学習	(45 分) 事後学習 (4	5分)
	制作の	記録をつける	こと。 必ず	用具や材料を	忘れないこと		
履修上の注意		品の提出期限					
テキスト							
	『浩形兰	術の基礎』	ヨハネス・イ	ッテン菩 壬	塚文四郎部 :		
参考書				•		テルロルでは 【一・成田秀夫編 東信堂	
				= 0, 1		21110-1-	
	【オフィスアワ	ト】 水曜日の	昼休み 造形	準備室			
その他							
	<u> </u>						

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
幼児体育ⅡA		2年次 2年次 125 125 125 125 125 125 125 125 125 125											
(20742-E2)		演習											
(20142 E2)	1 分目												
		2. 幼児の身体活動指導のための発展的知識を習得し、その指導性を高める。											
授業の到達目標	2. 列光の分体活動指導のための光展的知識を自得し、その指導性を同める。 3. 子どもの発育・発達に応じた援助ができるようになる。												
	'-												
	保育に関する専門的知識・技術を修得している。												
学位授与の方針													
との関連													
				値について理	解を深め、それ	1らを子どもに体感させるた	:めに						
授業の概要	側さかり	や関わりにつ	いく考える。										
	回数				授業	内容							
	1	オリエンテー	ション		1270	1 7 11							
	2	集団遊び 多	種多様な鬼ご	`っこ									
	3	集団遊びの指	導計画作成				_						
	4	集団遊びの指	導実践										
	5	発表した集団	遊びプログラ	ムの省察									
	6	大型遊具を使	った遊び マ	ット、跳び箱	、平均台、鉄	奉							
授業計画	7	大型遊具を使											
2000	8	大型遊具を使			. do de								
	9	発表した大型			ムの省察								
		小型遊具を使 小型遊具を使											
	11	小型遊具を使											
	13	不生姓兵を使発を使発表した小型		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	人の名室								
	14	安全管理と応		. <u></u>	のの日本								
	15	まとめ	70.7 -										
	「試 駿		の評価 (3	0 %)									
授業の評価	「平常点	〔」:授業態度	、意欲(50	%)									
		」」:指導案(
		は、次回の授業											
課題 (レポート等) のフィードバック	質問につ	いては、授業	時に全体に向	けて回答し説	明する。必要に	こ応じて個別に説明する。							
のフィートハック													
	マ羽・舎	東 睡眠学 左	上調な敷うでも	シノァ レー 火屋	コの極紫内穴の	概要を把握し、おもな遊び							
事前・事後の学習		∌、唖때寺、⊬ 習しておくこと				「帆安を15座し、わりな姓い	<u>«</u>						
等の内容		真となる、こと 尊実践後、集団											
		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			, 0								
1.37 1.76 37 77 3.7													
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に	つき自習も含め	りて45時間の当	学修が必要です	上。事前学習 (45分) 事後学習 (45%	分)						
. cv A [m]													
						立姿勢を評価する。							
						ことは安全面から禁止する。							
履修上の注意						自で水分、タオルを用意する	Ţ						
						合は、退場を命じることがあ)る。						
	・体調が悪い、病気等の場合は、始まる前に必ず申し出ること。 ・運動ができない場合、診断書があれば別途対応する。												
	適宜資料配布												
テキスト	ZILX	, HC 114											
, ,													
	文部科学	省「幼児期運	動指針ガイド	ブック」									
参考書													
その他	【オフィスア!	7-】授業の前後											
=													

科目名/カリキュラ	ラムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
幼児体育ⅡB				2年次			_
(00749 F0)		演習	1		選択	保育士資格選択	小野 昌二
(20743-E2)	1 /LID	#ロト・アンプラ 46 注	· 小肚细	後期	マトミラ目(細口)	- ハンマ 四年のナンボルフ	
授業の到達目標	2.幼児	期における発達の身体活動指導 もの発育・発達	のための発見	展的知識を習得	导し、その指導	こついて理解を深める。 尊性を高める。	
学位授与の方針 との関連	保育に関	する専門知識	・技術を修得	している。			
授業の概要		こおける身体教 公要な働きかけ [、]			解を深め、それ	れらを子どもに体感させる	
	回数					 内容	_
	1	オリエンテー	ション				
	2	屋外でのプロ	グラムの実践	है			
	3	野外活動の計	画/野外活動	既論			
	4	野外活動の実	践①				
	5	野外活動の計	画と評価				
	6	親子体操の習	得と指導				
授業計画	7	リズム遊び					
汉未可酉	8	リズム遊びの	指導計画作成	ζ			
	9	リズム遊びの	指導実践				
	10	発表したリズ					
	11	身近なものを	使った遊び	新聞紙、段ボ	ール		
	12	身近なものを			4		
	13	身近なものを					
	14	発表した身近	なものを使っ	た遊びプログ	ラムの省察		
	15	まとめ	- 77 hrs / -	- 0/)			
		(2) : 指導実践(
授業の評価		京」:授業態度、	, ,,, ,	%)			
		也」:指導案(は、次回の授業F	-	明十2			
課題 (レポート等) のフィードバック					明する。必要に	に応じて個別に説明する。	
	予習:食	事、睡眠等、体	調を整えて	おくこと。次回	回の授業内容の)概要を把握し、おもな遊び	を予習
事前・事後の学習		ておくこと。					
等の内容	復習:指	導実践後、集団	討議した内容	容を各自まとぬ	めておくこと。		
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に、	つき自習も含め	で45時間の	学修が必要です		(45分) 事後学習 (45	分)
履修上の注意	ピアス運動に各自て体調が	ス、ネックレス、 こふさわしい服	、つけ爪、時 裝と運動シュ をすること。 の場合は、始	計等、装飾品 ーズを使用す ・授業態度が まる前に必ず	を身に付ける ること。・各 著しく悪い場 申し出ること。	む姿勢を評価する。 ことは安全面から禁止する。 自で水分、タオルを用意する 合は、退場を命じることがあ	ること。
テキスト	適宜資料	斗配布 					
参考書	文部科学	名(幼児期運	動指針ガイド	·ブック」			
その他	【オフィスア!	ワー】授業の前後	É				

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
				2年次			藤田 貴久				
床月大日11号Ⅱ		演習	1	2年次	選択	保育士資格選択	(実務家教員)				
(20825-E2)	前期 山本 邑太										
	1. 保育所や福祉施設の内容や機能や保育士や施設職員の仕事について講義を通して理解する。 2. 保育実習では保育理論と実践の統合を図り、保育を総合的に理解し、保育士としての専門										
授業の到達目標						,					
						実践現場での体験を通して理	里解する。				
	3. 保育士資格取得に向け自己課題を明確にする。 ・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
学位授与の方針	・教科学省及び美省を通じて美銭力を修停している。・社会人として必要な幅広い視野や柔軟な思考力、またはコミュニケーション能力や課題発見・										
との関連		くとして必要な! E力を身につけ、		条戦な思考力	、またはコミョ	ューケーション配力や課題を	€兄・				
	州中(人 fit	5月を対に 71)	(1.00								
授業の概要	保育者に	なるための基	本的な知識を	・身につけ. 3	実習の音義や実	習施設について確認・理解	をする。				
[大木 V] [M] 女	1,11,1		, ,,,,,,,,,				2 / 30				
	回数				授業	 内容					
	1	実習Iについ	て 実習の	目的と意義	2277						
	2	保育所実習の	目的と意義	ビデオ視聴 課	^限 題作成(1)	呆育実技・絵本					
	3	保育実習の具	体的内容	誹	製題作成(2)係	呆育実技・手遊び(グルー ご	プワーク)				
	4	保育実習事前	指導 個人票	作成 1							
	5	"	保育所	「生活1日の流	アれを把握する。	(乳児)					
	6	"	オリエ	ンテーション	/について (1)						
授業計画	7	"	オリエ	ンテーション	/の日程を決める	る。(グループワーク)					
及未可固	8	"	保育所	「生活1日の流流	れを把握する(幼児)実習記録の書き方((2)				
	9	"	実習記	一録の書き方	(3) 研究保育》	案(1)					
	10	"			(3) 研究保育第						
	11	11				て 守秘義務について研究保	:育案(2)				
	12	"	-	., , ,	グループワーク	*					
	13	//				服装、身だしなみ、持ち物配 、、	雀認)				
	14	事後実習指導			(グループワー	·Ø)					
	15	まとめ : 筆記試験		習の反省と課	展						
授業の評価		R」:		(500/)							
1文未少計画					みなど(40 %	۵)					
		: - ト等の課題は、				0)					
課題(レポート等)					- 。 :体に回答する。						
のフィードバック											
	保育実習	ないかわる準	備(教材作り	等)を行うこ	と。						
事前・事後の学習 等の内容	遅刻や欠	(席のないよう)	こ日々自らの	体調管理を怠	らないこと。						
寺の八日											
東笠 東然の労羽は以西											
事前・事後の学習に必要な時間	1単位に	つき自習も含め	て45時間の	学修が必要でつ	す。事前学習(45分) 事後学習 (45	分)				
			 	V/. 41 > F.L.							
		をしていても、				2 2 3 IB A					
E151 - 33 *	0 0 0 1 1 1 1 1		- 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		れた課題を提出 へ	しない場合。					
履修上の注意		おいて出された									
		こよる会議で実 ³ 2習指導欠席2回			れた場合。						
	0 1 1112	₹百担等久乕2回 ▼価と授業評価									
					支術教育研究会	編 かかみ書屋					
					大阳极月则几五	炯 'ホ'ホッケ百/内					
テキスト	『保育所保育指針』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館										
						駒井美智子 萌文書林	PH				
					277 112	22.5HII					
参考書	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』、守巧・小櫃智子 著 わかば社										
その他	【オフィスア	フー】授業の前後	2								

科目名/カリキュラ、	۵NO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名						
/II				2年次			山本 邑太						
保育実習指導Ⅲ		演習	1		選択	保育士資格選択	藤田貴久						
(20827-E2)				前期			(実務家教員)						
(20021 12)	1 社会												
		. 利用者の理解、援助のあり方等について追及し、実践を円滑に、また効果的に行うことができ											
授業の到達目標		ることを目指す。											
		. 実習施設が持つ機能や社会的役割について理解する。											
		教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。											
 学位授与の方針	・社会人	.として必要な	幅広い視野や	柔軟な思考力	、またはコミ	ュニケーション能力や課題発	· É見・						
との関連	解決能	力を身につけ	ている。										
	児童福祉	:施設での実習	を通じて、利	用者への理解	を深めるとと	もに、施設の機能および施設	よ職員の						
 授業の概要	職務につ	いて実践的に	学ぶ。										
汉宋》列成安													
		1											
	回数	/n	Enth. Colo		授美	美 内容							
	1	保育実習Ⅲの		-n 1 /n -h !	. *								
	2	実習先を知る			義								
	3	福祉制度と福											
	4	実習課題の明 利用者の理解		辛について									
	5 6	利用者の理解			(1)								
	7	利用者の理解											
授業計画	8	援助のあり方		./ 有に JV·C	(2)								
	9	援助のあり方											
	10	実習記録の書											
	11	実習記録の書											
	12	実習記録の書											
	13	日誌・提出書	類等の配布と	指導									
	14	実習に臨むた	めに 実習	課題の明確化									
	15	実習の心得の	確認 実習	前点検・確認									
	「試 験	i] :											
授業の評価					/ポート(10	%)							
	「その他	」: 実習態原	き、実習評価な	よど (70%)									
課題 (レポート等) のフィードバック		ト等の課題は			る。 体に回答する。								
	12**	はに対りの貝	1111C 24. C13	、旧加入は土	件に凹合する。								
事前・事後の学習	・1回生 ⁶	時の実習の振り) 返りを行い、	自分の課題を	と明確にしてお	らくこと。							
等の内容													
+x+ +x - x - x - x													
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の 学	学修が必要です	上。事前学習	(45分) 事後学習 (45)	分)						
, 오 LA lb1													
					<u> </u>								
	実習は	利用者の生活	の場に入り、	そして職員の	仕事の場におい	ハてともに働くことになる。							
履修上の注意	一人の	社会人として	の自覚を持ち	、実習に臨む	こと。								
					を認められない する。	い場合かめる。							
	7.041	・実習評価と授業評価を合わせて、総合的に評価する。											
テキスト	『保育・福祉専門職をめざす学習の基礎』 生活技術教育研究会編 ななみ書房												
ノヤヘト													
参考書	保育所保	:育指針、必要	に応じ配布す	る									
> 1H													
II	[#7/a7fg-]												
その他													

科目名/カリキュラ、	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
WORD演習 Ⅱ		\ 	_	2年次) I							
(20921-G2)		演習	2	前期	選択	情報処理士選択	野口義栄					
(20321 02)	1. WORL	演習Ⅰで習得	した基礎技能		り実践的な文詞	書作成技法を演習し、実践:	力を身につける。					
				-		な能力の習得をめざす。	V 2 2 7 1 1 2 0 0					
授業の到達目標	3. 文書	3. 文書表現を通して、コミュニケーションとしての応用的な力を身につける。										
学位授与の方針	教科学習	及び実習を通	じて実践力を	を修得してい	る。							
との関連												
	宝社会で	ジナコミューケ	ーション毛	型の一つとし、	てドキュメン	トの果たす役割は重要である	Z					
授業の概要						メント作成技法を習得する。						
		, = \$ 1, 1, 1	V (2/10.00 C)	HJFE CJJA	, gg, 1 (—)	V I II MAKIME E IN 7 00						
	回数					業内容						
	1	文書表現の概	[観: コミ:	ュニケーショ		の役割、文書表現手法の概要	要					
	2	文書表現手法	: 文章	作成における	基本事項(WOI	RD演習 I の復習)						
	3	各種文書書式	11: 文字	書式、段落書	式、インデン	F						
	4	各種文書書式	•= •			ー、ページ区切り						
	5					ての文章表現手法						
	6					返し、スタイルの利用						
授業計画	7				アート、トリ							
	9	文書の構成・				アート、SmartArt						
	10	表計算との連										
	11					るための文書表現手法						
	12		****		に情報を伝え							
	13					PBL<課題解決型学習>						
	14	総合実践演習	12: わか	りやすい文章	表現の工夫2	PBL<課題解決型学習>						
		総合実践演習										
Les VIIIs and her		: 筆記試験										
授業の評価		〔」:受講態度)/)							
	「その他	1」:提出作品	、課題レから	- 下等 (20)	%) 							
課題(レポート等)	・レポー	- 卜等の課題は	、コメントを	を付して返却 [、]	する。							
のフィードバック		容に関する質				5.						
事前・事後の学習	,	毎回の演習に				0						
等の内容	•復習:	未習熟な演習	項目について	ては、課外に	おいて習熟して	ておくこと。						
事前・事後の学習に必要	1 出 告 17	へき白羽す 会り	トナ 45時間の	学校ぶり亜ィ	*中 車	「(135分)事後学習(195/\ \					
な時間	1単位に	つら日日 6日0	ひて45時間の	子形が必安し	「9。 尹刖子百	(130万) 争仮子百(13077)					
屋板しの注意	・課外に	おいても継続	的な練習が望	望ましい。								
履修上の注意												
=4-1	『一个 人	ラフカ W.1	1.9016 □	шЫ /шогч	冷羽「小型で	まし同じ 姚徳は田)						
テキスト	『元至マ	イスター Word	1 2016』 noa	出版 (WORL)演省 1 の教科	·書と同じ、継続使用)						
参考書	[Word	2016 パーフ	ェクトマスク	ター』 秀和シ	⁄ステム							
× 7 E												
7. 11h	【オフィスアワ	7-】授業の前後	 发									
その他	L											

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
EXCEL演習Ⅱ		No. 777	_	2年次	N77 LF1	late to a see 1 No. 100					
(20931-G2)		演習	2	後期	選択	情報処理士選択	野口義栄				
(20931 02)	1. EXCE	 上演習 で習得	具した基礎技		り実践的な表	計算技法の習得を目標とす	<u></u>				
授業の到達目標	2. EXCE		CAS検定」等	の資格合格に	必要な実践的	な能力の習得を身につける	*				
学位授与の方針 との関連	教科学習	教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。									
授業の概要	数値情報を含む処理(データの視覚化・蓄積管理等)は実社会においても欠かせない手法である。これらの基本概念を理解し、具体的操作方法を演習していく。										
	回数										
	1	表計算機能の	基本事項:	数値情報の	基本的な取扱い	い手法、視覚化・蓄積の重					
	2	特殊な表示形	式作: シ	ートの書式設	定、セルの取打	吸、テーブルの書式設定					
	3	簡単な数式と									
	4	関数の利用((1) 基本関	数: 各種基	本関数の基本技	操作					
	5				用関数の応用和	刊用					
	6	入力規則:		•							
授業計画	7	条件付き書式				→ N/ // / / · · · · · · · ·					
	8				てのデータのマ						
	9				に合わせたグラ						
	10				使って総合的7 統計的な取り打						
		データの集計									
						フネロ D利用形態1 PBL<課題解					
						の利用形態 2 PBL<課題解					
		総合演習:									
	「試 験	〕:筆記試験	、実技試験	(60%)							
授業の評価		〕:受講態度	•								
	「その他	」:提出作品	、課題レポー	ート等(20	%)						
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 容に関する質				5.					
事前・事後の学習 等の内容		毎回の演習に 未習熟な演習				· · · · ·					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	かて45時間の	学修が必要で	ず。事前学習	(135分) 事後学習(135分)				
履修上の注意	・課外に	おいても継続	的な練習が誓	望ましい。							
テキスト	『完全マ	·スター Excel	2016』 noa	出版 (EXCI	弘演習Ⅰの教和	斗書と同じ、継続使用)					
参考書	[Excel	2016 パーフ	フェクトマス	ター』 秀和	1システム						
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	发								

科目名/カリキュラ	ラムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名												
プレゼンテーション	ン演習			2年次									
		演習 2 選択 情報処理士選択 津田 敏											
(20960-FG2)	T	前期											
		(課題にするか、 こつける。	、目的化がかっ	、とのように	ノレセンテー	ンヨンをするかを考える力を							
極業の知法日標		-つける。 'ーポイントをネ	年田1 ア効田	的わフライド	ルポカカ羽担 ・	± z							
授業の到達目標													
	3. 1	/センテーショ、	ノを囲して止	唯に分かりや	9く人に伝え	る力を身につける。							
	. 数利兰	智及び実習を	るドイ中吐力	ナ. 佐	7								
200					-	ュニケーション能力や課題							
学位授与の方針 との関連		(こして必要な) 解決能力を身(, 2/2/4-	ユーケーション 配力 (味趣							
この例注	光光	所(人配力であ)	C 21) (1.0	0									
	※主のこ	· 一端和 以	亜ム次业 . 桂	却巾住 しご	ノナントブドック:	ローポイントにトスコニノド	· //c.ch						
						ワーポイントによるスライド ョンの基本を学ぶ。	TFIX、						
授業の概要	7 2 6 2	· / 一ションの	床白を囲して	、別本的なノ		コンの基本を子の。							
	回数	T				内容							
	1	プレゼンテー	ションの輝声	* 計田	1又未	:r 147							
	2	テーマ、ねら											
	3	パワーポイン			ライドの作品	注							
		プレゼンテー				14							
	5	必要な資料・			~ 'J								
	6	必要な資料・											
	7	必要な負付 スライドの作		/									
授業計画	8	スライドの作											
	9	スライドの作											
	10	スライドの作											
	11	レジュメの作											
	12	リハーサル	1474										
	13	プレゼンテー	ションと質疑	広炫 証価									
		評価に対する											
		反省と自己評											
				テーマ・内容	、資料使用力、	作成力、発表力) (50%)							
授業の評価		、 () : 出席、授				() () () () () () () () () ()							
		1 : レポート			(= + / + /								
				-	料・情報収集、	レジュメ・スライド作成、							
課題(レポート等)	発表等	ないて、適2	直個別にアド	バイスをする	0								
のフィードバック	・レポー	ト等の課題は、	コメントを	付して返却す	る。								
事前・事後の学習	予習:選	訳したテーマ	と目的を意識	して、必要な	資料や情報を	収集しておくこと。							
等の内容	復習:授	業で作成した	スライドが、	選択したテー	マや目的に合	致しているかを見直して							
	*	3くこと。											
事芸 事物を英型に	1単位に	つき自習も含め	て45時間の当	学修が必要です	0								
事前・事後の学習に 必要な時間	事前学習	135	分) 事後	後学習 (1	35 分)								
20分 6四月													
 履修上の注意						ど社会人基礎力が求められて	いる。						
	これらを	身につけられ	るように意識	してプレゼン	テーションの	準備・作品作成に臨むこと。							
テキスト	適宜プリ	ントを配布する	る。										
参考書	『「分が	いやすい説明_	」の技術』藤	沢晃治著 Bl	LUE BACKS藉	所書 2002年							
7	【オフィスアワ	7-】授業の前後	È										
その他													
	<u> </u>												

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名
デジタルグラフィッ	クスI			2年次			
(20940-G2)		演習	2		選択	情報処理士選択	佐藤 栄悟
(20940-G2)	1 Adal	peのIllustrate	an • Dhatagha	後期	1.ナス		
				=		こおいて必要な要素を学び、	
授業の到達目標		・/・/ / 見的に情報を伝え)	C401 C纪女体女乐と于U、	
	79321	CHATCIA TA C IA.	C/ 0/10/1	(2) () 00			
学位授与の方針	李利 宗迩	174.7ド中羽ナごる	ドイ字吐力さ	- 佐伊 ナ フ			
との関連	教件子首]及び実習を通	して夫践力を	修侍している	0		
授業の概要	グラフィ	ックデザイン	に必要な知識	とスキルを学	<i>ప్</i> 。		
	1-1 ¥4				授業	中央	
	<u>回数</u> 1	Illustrator	① 怯 微 . 甘 未	- 協 <i>作</i>	欠 表	.	
	2	Illustrator					
	3	Illustrator					
	4	Illustrator					
	5	Illustrator					
	6	Illustrator					
l es alle est est	7	Illustrator					
授業計画	8	Illustrator					
	9	Photoshop ①					
	10	Photoshop ②	色調補正				
	11	Photoshop ③	画像の切り抜	i き			
	12	Photoshop ④	様々な加工				
	13	印刷物の作成	①制作	(PBL)			
	14	印刷物の作成	②制作	(PBL)			
	15	振り返り・ま	とめ				
	「試験						
授業の評価		[]: 授業参					
	「その他	1」: 授業内	課題(40%)提出作品	(20%)		
3m FF (
課題 (レポート等) のフィードバック	質問につ	いては各ステ	ップ毎に、全	:体又は個別に	回答する。		
事前・事後の学習		受業概要を把握					
等の内容		rの回りのビジ ・授業内容につ				<u>L</u> .	
	Ø H · II	以来口石化力	CEM EIN	.07 (45 (C C	0		
古子 古体《光型》	1単位に	つき自習も含め	て45時間の	学修が必要です	0		
事前・事後の学習に必 要な時間	事前学習	引(135分)	事後学習(135分)			
× 3. 41.4							
履修上の注意		食に備えて授業		をとること。			
/K/D 11 / LIA	作品の抜	出期限は守る	こと。				
	1						
1							
テキスト							
	 						
参考書							
少つ百							
	【オフィスア「	フー】 水曜日のタ	居休み 浩形	準備室			
その他		_ /4::parte:://	/ ~_///				
	1						

科目名/カリキュラ	ムN0.	NO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
デジタルムービー	· I	22002										
(20950-G2)		演習 2 選択 情報処理士選択 佐藤 栄悟 後期										
(20950-G2)		123,791										
授業の到達目標	2.501	1.課題を考え、何を訴えたいかを考え、表現の大切さを修得する。2.もの作りにおいて完成させる大変さと達成感を獲得する。3.写真及びアニメをデジタルムービー化する編集技術を修得する。										
学位授与の方針 との関連	・教科学	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
授業の概要	撮影をした写真や描いたアニメのコマを編集ソフトによってムービー化し、発表し評価し合う。 表現の大切さを学ぶとともに情報発信について考える。											
	回数				授美							
	1	制作写真ムー	ビーの例を見	て概要、目的	を理解し、課	題・題目・ねらいを考える						
	2	資料収集、撮	影及び作成①)								
	3	資料収集、撮	影及び作成②)								
	4	資料収集、撮	影及び作成③)								
	5	資料収集、撮	影及び作成④)								
	6	資料収集、撮	影及び作成⑤)								
Tes 316-51	7	発表と評価										
授業計画	8	デジタルビデ	オの例を見て	概要、目的を	理解し、課題	・題目・ねらいを考える						
	9	ビデオ撮影お	よび作成①									
	10	ビデオ撮影お	よび作成②									
	11	ビデオ撮影お	よび作成③									
	12	ビデオ編集①)									
	13	ビデオ編集②										
	14	ビデオ編集③										
	15	発表と評価										
授業の評価	「試 験 「平常点 「その他	〔」:作成2=80	%、発表20%、	計 (100%)								
課題(レポート等) のフィードバック		撮影、作成に おけるプレゼ			する。							
事前・事後の学習 等の内容						直し、資料収集・撮影を行う 致しているか吟味する。	o					
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分)事後学習(135分)										
履修上の注意	製作は、制作技術力だけではなく、何を訴えたいか、どう発信するかという発信力が大切である。 この能力は社会人基礎力としても求められている。これらを身につけるように意識して取り組む こと。											
テキスト	指定なし											
参考書	Web上の編集ソフトの使用方法等を参考											
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	Ŕ									

科目名/カリキュラ	ラムNO.	ANO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
情報処理実習	П	2年次 2年次 2年7 2年10月7日 2月1日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月7日 2年10月										
(20971-F2)		実習 1 選択 情報処理士選択 津田 敏										
授業の到達目標	前期 1. ビジネスソフト表計算処理(Excel) とデータベース(Access)の違いについて理解する。 2. データベースで利用するオブジェクトについて理解するとともに各オブジェクトの使い方を修得する。 3. Excelで作成した数種類のデータをインポートしてデータベースとして活用できるようになる。											
学位授与の方針 との関連	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。											
授業の概要	授業の概要 ベータベースのオブジェクトであるテーブル、クエリ、レポート、フォームそれぞれの特性を理解し、 データベースの正しい仕組みを修得し、データを管理・活用できるようにする。											
	回数				授業	内容						
	1	データベース	(Access)を使	[う理由								
	2	テーブルの設	計・整合性・	インポート								
	3	テーブルの設		インポート								
	4	クエリの基本	<u> </u>									
	5	クエリの基本										
	6	リレーション										
授業計画	7	リレーション レポート	ンツフ②									
	8	フォーム①										
	9	フォーム①										
	11	オリジナル学	生情報データ	ベース作成①)							
	12	オリジナル学										
	13	オリジナル学										
	14	オリジナル学										
	15	オリジナル学	生情報データ	ベース作成⑤	発表							
授業の評価	「試 「平常点 「その他	- !」:各オブジ	エクト作成(60%)、オリ	ジナルデータ・	ベース作成(40%)						
課題 (レポート等) のフィードバック	各オフ	「ル設計やクエ 「ジェクトの理」 日容に関する質	解不足につい	て指摘し補う	0	ハて助言助力する。						
事前・事後の学習 等の内容		冒:次回テーマ 冒:授業で学ん				業で取り組めるようにしてお くこと。	:くこと。					
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位に	つき自習も含め	って45時間の質	学修が必要です	广。事前学習	(45 分) 事後学習 (4	.5 分)					
履修上の注意	社会では情報処理能力が求められている。特に正確にデータを取り扱う能力は必要とされている。 表計算処理(Excel)とは違うデータベースAccessについてはとても重要な能力である。 社会人としての情報処理能力を修得することを意識して学ぶこと。											
テキスト	『Access本格作成入門 Access 2016/2013/2010 対応版』今村ゆうこ著(技術評論社)2018年											
参考書												
その他	【オフィスア!	ワー】授業の前後	Ź									

科目名/カリキュラ、	ムN0.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
簿記演習 (21012-G2)		演習	2	2年次 前期	選択	情報処理士選択	津田・敏				
授業の到達目標	簿記3	級検定試験レ	ベルの問題を	・解く力をつけ	っる。						
学位授与の方針 との関連	• 教科	・教科学習及び実習を通じて実践力を修得している。									
授業の概要	・本講	義は初級簿記A	• Bを履修し	基礎力をつけ7	たうえで、簿記	検定3級問題が解ける力を	養う。				
	回数 1 2 3 4 5	決算手続き 決算手続き 決算手続き	② 現金過不 ③ 減価償去	「足、貸倒引当 『、有形固有資	全	类内容					
授業計画	6 決算手続き⑤ 収益の前受、費用の未払、収益の未収 7 決算手続き⑥ 法人税等の処理、問題 8 決算手続き⑦ 問題 9 決算手続き⑧ 問題 10 簿記3級レベル演習① 11 簿記3級レベル演習② 12 簿記3級レベル演習③ 13 簿記3級レベル演習④ 14 簿記3級レベル演習④										
授業の評価	「平常	簿記3級レ/ 験」:定期試 京」:小テス)他」:	験(60%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	・授業に	内容に関する質	質問について	は、個別又は含	全体に回答する	00					
事前・事後の学習 等の内容		: テキストの7: 問題を解いて			しておくこと。 かったところを	見直すこと。					
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位は	につき自習も含	含めて45時間の	の学修が必要で	です。事前学習	'(135分)事後学習(135分)				
履修上の注意	・分からない問題、用語、勘定科目等があれば必ず理解するように心掛けること。										
テキスト	『みんなが欲しかった簿記の教科書 第10版』:滝澤ななみ著 TAC出版 『2023年度版日商簿記検定模擬試験問題集3級 模試8回』:ネットスクール出版 2023年2月										
参考書											
その他	【 オフィジ	スアワー】									

科目名		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名			
コンピュータ会 (21020-G2)	計I	演習	2	2年次 前期	選択	情報処理士選択	津田 敏			
授業の到達目標						いて、基本的な操作 ータ会計の基礎知識				
学位授与の方針 との関連	教科学習	習及び実習を	通じて実践だ	力を修得して	いる。					
授業の概要	・本講義は初級簿記Aを履修した者で、簿記の基礎を学習したことを前提に行う。・課題をこなすことによりコンピュータ会計の力をつけるようにする。									
	回数				授業内	容				
	1					用と作成について	-			
	2				ールについ	<u> </u>				
	3		トの操作に		マにへいて					
	<u>4</u> 5			乍と帳簿の体 ジネス法務に						
	6				、小切手、	頁金関連				
授業計画	7			计処理 売上						
1又未可凹	8				、債権・債剤	务関連				
	9			计処理 給与	·関連 税、消費税	1月末				
	10 11		亜米伤と云 タの入力処理		/忧、 何复忧!	判				
	12		タの入力処理							
	13		タの入力処理							
	14		タの入力処理							
	15	月次次昇 ★」:定期試		务と会計処理						
授業の評価		[] : 課題(
課題(レポート 等) のフィードバック					は全体に回答 付けて返却す					
事前・事後の学習 等の内容					ιば書き出し 点はテキスト	ておく。 等で理解をすること	<u>-</u> .			
事前・事後の学習 に必要な時間	1単位に)	つき自習も含	含めて45時間	の学修が必要	要です。事前	学習(135分)	事後学習(135 分			
履修上の注意	・課題を	こなすことで	ご力がつくの	で課題は必っ	ずすること。					
テキスト	『令和5	年度版コンヒ	 ピュータ会計	基本テキス	—— 卜(弥生会計	23プロフェッショフ	ナル)』:実務出版			
参考書										
その他	【オフィスア	ワー】授業の前	前後							

科目名/カリキュラ、	ムN0.	グライン (2) 投業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名											
コンピュータ会計	П	演習 2 選択 情報処理士選択 津田 敏											
(21020-G2)		演習 2 選択 情報処理士選択 津田 敏 後期 後期											
(21020 02)													
極楽のがより挿		ソフトの使用力		-	/┗° カ△到	の甘畑知塾と仮復士で							
授業の到達目標		・企業の一連の取引を入力することにより、コンピュータ会計の基礎知識を修得する。・個々の取引の内容を自ら考え、処理し、企業会計業務について理解する。											
		・四、ソルカリンロ石で日の行ん、だない、正木云川木切に フバー(
学位授与の方針	#1 ~1 \\												
との関連	• 教科字	省及び実習を	迪して実践刀	を修得してい	ఏ .								
授業の概要						務の基礎を学ぶ。							
	・課題を	こなすことに。	よりコンピュー	ータ会計の力を	とつけるように	.する。							
	回数				授	業内容							
	1	企業と会計											
	2		の操作基礎知										
	3		と業務と会計が と業務と会計が										
	5		≩業務と会計処 □る業務と会計										
	6	D	の入力処理と	,									
	7		の入力処理と										
授業計画	8		の入力処理と										
	9	月次決算に	こかんする業務	8と会計処理									
	10	会計データ	の入力①										
	11	会計データ											
	12		- 夕会計総合網										
	13		タ会計総合網										
	14		- タ会計総合網 - タ会計総合網										
	15 「計 駘	:定期試験		K 白 (E)									
授業の評価		.」:課題(40											
2×2/C -> H I IIM	「その他		,,,										
課題(レポート等)				個別又は全体									
のフィードバック	・提出され	1た課題は、₹	欠の時間にコラ	メントを付けて	て返却する。								
事前・事後の学習	 ・予習:2	欠回の内容を記	売み、疑問点な	があれば書き出	出しておく。								
等の内容					こところを復習	する。							
車前・車体の登場に が悪													
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位に~	つき自習も含め	めて45時間の	学修が必要です	r。事前学習 (〔 135分)事後学習(13	5分)						
 履修上の注意	·課題をご	・課題をこなすことは力がつくので課題については積極的に取り組むこと。											
	FAGERIBE - NO BAST THERE (JULY ASTONAL												
テキスト	『令和5年度版コンピュータ会計基本問題集(弥生会計23プロフェッショナル)』:実教出版												
参考書													
その他	【オフィスアワー】授業の前後												
	I - ' ' '												

科目名/カリキュラ	ムNO. 授業形態 単位数 開講時期 卒業必・選 免許・資格 担当者名										
保育者論特講	<u> </u>	講義 2 選択 幼一種免選択 後期									
授業の到達目標		の役割・専門性 の教育について		翠する。							
学位授与の方針 との関連	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力をを修得している。										
教職に関する専門的な知識、課題について講義、演習等で検討・考察・分析をする。 また、グループ討議、視聴覚機器を使用して発表するという形式も用いながら授業を進める。											
	回数				授業	:内容					
	1	教職論									
	2	教育の本質									
	3	子どもの発達	と教育								
	4	幼稚園教育の	基本								
	5	幼保小連携教	育								
	6	家庭教育・地	域社会の教育								
授業計画	7	子どもの遊び	と学び								
1父来 計画	8	子どもの教育	的環境								
	9	教師の特性									
	10	教師の社会的	役割								
	11	組織の一員と	しての教師								
	12	教職への実践	的な学び(1) 子ども一人	ひとりへの指	導のあり方					
	13	教職への実践	的な学び(2)集団指導の	あり方						
	14	学び続けるた	めの教師の課	題							
	15	教師の職務と	服務規定								
	「試 騎	🗦 🗆 : 課題(5	0 %)								
授業の評価		〔」:授業態度									
	「その他	1」:提出物(3 0%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	・授業内	容に関する質	問については	、個別または	全体に回答すん	3.					
事前・事後の学習 等の内容		該当箇所の通読業後の内容の		を深める。							
事前・事後の学習に 必要な時間		1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。 事前学習 (135 分) 事後学習 (135 分)									
履修上の注意	・はさみ、のりは毎回必ず持参すること。										
テキスト	必要に応じて指示あるいはプリント配布										
参考書	授業時に提示する。										
その他	【オフィスア!	7-】授業の前後	Ê								

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名		
				2年次					
教育原理特論		講義	2		選択	幼一種免許選択	井口 佳江	Ľ	
				前期					
		者の専門性を原		0	· (#1.11/. %.)				
授業の到達目標						†)の原理に気づく。			
	3. 指导	要録や園務分賞	はと保育者の	り美務月を育む	٥٤.				
	トル方由	の幼児教育に	関金ス東田仏	知識, 世後五	が宝味力なな	佐但 アロス			
	より同反	と () タリゾロ 名文 目 (こ	関する号門的	邓峨"12州汉	(い天成力をで)	10分でです。			
学位授与の方針と関連									
	保育者の	専門性は「見	える専門性」	と「見えない	専門性」に大力	別されるが、両者の特性を原	東理的側面		
	から理解	解し、その中で	も実務力(見	える専門性)で	ある「指導要	録」や「園務分掌」等を修得	事する。		
授業の概要									
	1				オリエン	テーション			
	2	オリエンテー	ション 教育	を原理的に理	!解することと	は 保育者の質向上を支える	る原理とは		
	3	保育者の専門	性(1):「	見える専門性	:」と「見えな	い専門性」			
	4				゛ループワーク				
	5	7	7 . 7		゛ループワーク)			
	6	7		関点から問う					
	7			園幼児指導要録	・保育所児童保育	育要録・認定こども園			
는 바꾸 가		園児指導要録に		-An 24/2017	胆よっつ臼				
授業計画	8			成①:学籍に					
	9			:成②:指導に	-	; ±			
	10				ルの記録の書き 見の記録の書き				
	12				元の記録の書き 見の記録の書き				
	13				記録する視点				
	14				園・小学校と				
	1.5					任者研修、中堅者研修、			
	15	キャリアアッ	プ研修、まと	め					
	「試験」	: 課題、レ	ポート (70%)					
授業の評価		[]:提出物、	授業態度・授	業への参加意	欲 (30%)				
	「その他	1]:							
	118.	一体の細胞は	0 125	フィー) 1. 云谷	ニハファベー	・コントナフ			
課題 (レポート等) の フィードバック		-ト等の課題は P容に関する質				· · · ·			
24 17197	1又未产	1分に因りる貝	同に フィ・ては	、 四加 よたは	主件に凹合り	' ം			
事前・事後の学習等の	前回の授	受業内容を復習	し理解するこ	と、テキスト	を読み次回の	受業の予習をしておく。			
内容									
+++ +w • %771- V									
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に	つき自習も含め	りて45時間の ^会	学修が必要です	上。事前学習	(135 分) 事後学習(135 分)		
Z.2161									
						トもメモをとる。			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ないようにすること。	~ ~ → 1/4 00		
履修上の注意					・可のないスマ	ートフォン・タブレット等の)電子機器		
		引は、減点ある L画に巡って採			。て前後する	こしがなる			
	* 1文来司	画に沿って授	未せ打りか、	延11 仏优によ	つて削仮りる	_ C N+α)′ω°			
	『幼児の)思いをつかぐ	指導計画の作	成と保育の展	開』2021年	文科省、フレーベル館			
テキスト		:評価に生かす				7. MB			
, , , , , ,									
	適宜資料	l配布						-	
参考書									
その他	【オフィスア!	7-】随時							

科目名/カリキュラ	ムNO.	授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名		
教育制度特論		講義	2	2年次 前期	選択	幼一種免選択	井口 佳江		
授業の到達目標	2. 公教育	が制度の成立を	歴史的に理解	し、それにか	かわる知識を	こついて、基礎的な知識を身 獲得する。 する基礎的知識を身に付ける	•		
学位授与の方針と関連	より高度	どの幼児教育に	関する専門的	知識・技術及	び実践力を修行	得している。			
授業の概要						ぶ。それらに関連する課題を 対応に関する基礎的知識を学			
	1	オリエンテー	ション						
	2	公教育の原理	及び理念						
	3	近代公教育制	度の成立①海	外編					
	4	近代公教育制	度の成立②日	本編					
	5	公教育制度を	構成している	教育関係法規	(1)				
	6	公教育制度を	構成している	教育関係法規	(2)				
	7	教育制度を支		- , ;					
授業計画	8	教育制度を支							
及未打四	9	教育制度をめ			<u>-</u>	, -			
	10				• 教育支援制	度】			
	11	教育制度をめ)-			
	12				・保育園づく	9			
	13	危機管理や事							
	14	安全管理及び	安全教育の両	面から具体的	な取組				
	15	まとめ							
授業の評価	「平常点	: 課題、レ : 提出物、			欲(30%)				
	「その他	1.] :							
課題 (レポート等) の フィードバック		-ト等の課題は P容に関する質				· · · · ·			
事前・事後の学習等の 内容	前回の授	発業内容を復習	し理解するこ	と、次回の授	業の内容をイン	ンターネット、図書館などを	利用し予習する。		
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の ^会	学習が必要です	上。事前学習 ((135分)事後学習(13	55分)		
履修上の注意	 ・授業に積極的に参加し、必ずノートを取る。教授者のコメントもメモをとる。 ・教授者のアナウンス(授業に関するお知らせ等)を聞き逃さないようにすること。 ・遅刻、居眠り、私語、授業に関係ない行為、許可のないスマートフォン・タブレット等の電子機器の使用は、減点あるいは欠席扱いとする。 ・授業計画に沿って授業を行うが、進行状況によって前後することがある。 								
テキスト	適宜資料配布								
参考書	川口 洋誉 古里 貴士 中山 弘之『未来を創る教育制度論(新版)(未来の教師ファースト・ステップ)』								
その他	【オフィ	スアワー】随	時						

科目名		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
乳児保育特論	ì	講義 2 2年次 後期 選択 幼一種免選択 中尾 博美										
授業の到達目標		 乳児期の心身の発達を理解する。 乳児保育の環境を構成する力を身につける。 										
学位授与の方針 との関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力を修得している。										
授業の概要		乳児保育の理論を学び、保育所など実践の場で子ども理解を深め、 保育者としての在り方や今後の学び方について考える。										
授業計画	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	1 オリエンテーション 2 乳幼児期の特性:乳幼児期の生活 乳児保育の課題①人への関心 3 乳幼児期の特性:乳幼児期の生活 乳児保育の課題②発達に影響する大人との関係 4 乳幼児期の特性:乳幼児期の発育・発達 乳児保育の課題 5 乳幼児期の特性:乳幼児期の発育・発達 乳児保育の課題②発達を支える環境の大切さ 6 環境を通して行う教育及び保育:空間と家具 7 環境を通して行う教育及び保育:個人的な日常のケア 8 環境を通して行う教育及び保育:間くことと話すこと 9 環境を通して行う教育及び保育:活動 10 環境を通して行う教育及び保育:相互関係 11 環境を通して行う教育及び保育:保育の計画 12 環境を通して行う教育及び保育:保護者と保育者 13 地域における子育て支援①地域の特性を知る										
授業の評価	15 「試 験 「平常点 「その他	:		(60 % (40 %								
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 容に関する質			る。 全体に回答する	5.						
事前・事後の学習 等の内容		送当箇所の通読 業後の内容の		な深める。								
履修上の注意		談は、慎むこ に授業に参加・	-									
テキスト	日本が誇	る!丁寧な保	育 大豆田友		学館							
参考書	参考資料:幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説											
その他	【オフィスアワ	ワ−】授業の前後	Ê									

科目名		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
器楽演習 I		演習 2 2年次 前 期 選択 幼一種免選択 池田 京子										
授業の到達目標	2. こど	 各々のピアノの演奏技術を向上させる。 こどものうたにおけるコードによる伴奏法を習得する。 リズム・表現曲の奏法を習得する。 										
学位授与の方針 との関連	より高度	ちのもの幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力を修得している。										
授業の概要		ピアノ奏法について学ぶと共に、こどものうたの伴奏やリズム曲など子どものための曲に できるだけ多く触れるようにする。										
授業計画	回数 授業内容 1 春のうた(1)(3月) 2 春のうた(2)(4月) 3 春のうた(3)(5月) 4 行事のうた(春) 5 リズム曲(1)マーチ 6 リズム曲(2)かけ足 7 夏のうた(1)(6月) 8 夏のうた(2)(7月) 9 夏のうた(3)(8月) 10 行事のうた(夏) 11 リズム曲(3)スキップ 12 リズム曲(4)ギャロップ 13 表現曲(1)(自然) 14 表現曲(2)(動物) 15 まとめ											
授業の評価	15 「試 験 「平常点 「その他	.」: 授	期試験 業への取り組	み	(70 %) (30 %) (%)							
課題 (レポート等) のフィードバック	授業	内容に関する質	質問については	は、 個別又は	全体に回答すん	3.						
事前・事後の学習 等の内容			-		確認しておく、 キスト等によ	こと。	くこと。					
履修上の注意												
テキスト	『こどものうた100』小林美実 監修 井戸和秀 編 チャイルド本社 『保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム集』 茂田すすむ 編著 全音楽譜出版社											
参考書												
その他	【オフィスアワ	<i>!</i> 】月・火・オ	くの授業時間以	 以外								

科目名		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
器楽演習Ⅱ	演習 2 2 年次 後 期 選択 幼一種免選択 池田 京子											
授業の到達目標	2. こど	 高度な演奏技術を身につける。 こどものうたの伴奏やリズム・表現曲の奏法を習熟する。 豊かな音楽表現力を身につける。 										
学位授与の方針 との関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力を修得している。										
授業の概要		ための曲につ 力を培うこと		・トリーを広げ	ると共に、この	の授業を通じて、。	より豊かな					
授業計画	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	秋のうた(1 秋のうた(2 秋のうた(3 行事のうた(3 行事のうた(1 リズム曲(2 冬のうた(1 冬のうた(2 冬のうた(3 行事のうた(3 行事のうた(3 リズム曲(4 生活のうた 表現曲(4)(10月))(11月) 秋))(ワルツ))(ポルカ))(12月))(1月))(2月) 冬))(ジャンフ)(フォーク		授業内名	74						
授業の評価	「試 験	 : 定期試験 : 課題への :		(70%) (30%)								
課題 (レポート等) のフィードバック	• 授業内	容に関する質	問については	、個別又は全	体に回答する。							
事前・事後の学習 等の内容			-		確認しておくこ キスト等によ ^り	こと。	くこと。					
履修上の注意												
テキスト	『保育の	_	、スキップ、	ギャロップ、	編 チャイル ワルツ、リズ。							
参考書												
その他	【オフィスアワ	ワー】月・火・カ	の授業時間以	以外								

		1			卒業必・選	免許・資格	担当者名				
図画工作演習	演習	2	2年次 後期	選択	幼一種免選択	佐藤 栄悟					
授業の到達目標	1. 造形教育において自らの目的を見出す。 2. 目的を持って自らの研究に取り組む。 3. 他者との違いを受け入れる。										
学位授与の方針 との関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力を修得している。									
授業の概要	造形美	造形表現を自分で考察し、保育の現場に応用できるようにする。 造形美に対して湧き起こる内的感動を基調とした共創的授業。ICT活用授業。 自分なりに造形教育のビジョンを持って研究に取り組む。									
	回数				授	業内容					
	1	素材研究 ①									
[2	素材研究 ②									
[3	素材研究 ③									
	4	素材研究 ④									
	5	素材研究 ⑤									
	6	表現研究									
授業計画	7	表現研究②									
	8	表現研究 ③ 表現研究 ④									
	9										
	10 表現研究 ⑤ 発表 11 修了研究 ①										
	12	修了研究 ②									
	13	修了研究 ③									
		修了研究 ④									
			発表								
	「試 駿	:] :課題 (6 0 %)								
授業の評価	「平常点「その他	、」:授業参加 」:	度 (40%)							
10/10/02 (1 14 /						(点数やコメント等) はそこ その都度Googleフォーム等					
	予習:授業概要を把握しておくこと。授業外学習が必要な場合は事前に行い、準備しておくこと。 復習:授業の資料をGoogleクラスルームに配布するので、理解を深めておくこと。										
事前・事後の学習に必要 な時間	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。事前学習(135分) 事後学習(135 分)										
	制作の記録をつけること。 必ず用具や材料を忘れないこと。 課題作品の提出期限を守ること。 汚れても困らない服装で臨むこと。										
テキスト											
参考書	『造形芸術の基礎』 ヨハネス・イッテン著 手塚又四郎訳 美術出版社 『アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習』 溝上慎一・成田秀夫編 東信堂										
その他	【オフィスアリ	一】水曜の昼休	、 造形準備	带室							

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
保育実践演習Ⅱ	保育実践演習Ⅱ 演習 2 1年次 後期 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3										
授業の到達目標	2、保育 3、保育	1、保育実践研究 I で学習した内容について、記述し文章としてまとめる。 2、保育実践研究 I で学習した内容について説明することができる。 3、保育実践研究 I の内容を振り返り、課題について分析することができる。 4、保育実践研究 I の学習したことを実践できる。									
学位授与の方針と関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技能を習得している。									
授業の概要		保育実践研究 I で実践した保育内容を復習し、実践研究論文としてまとめる。論文を作成しながら、 保育実践における課題を明らかにする。									
	1	オリエンテー	ション								
	2	保育実践研究	I (第1回~3	回)の復習							
	3	保育実践研究	Ⅰ (第4回~6	回)の復習							
	4	保育実践研究	Ⅰ (第7回~9	回)の復習							
	5	保育実践の論	文作成①								
	6	保育実践の論	文作成②								
	7	保育実践の論	文作成③								
144 M 31 T	8	保育実践の論	文作成④								
授業計画	9	保育実践の論	文作成⑤								
	10	保育実践の論	文作成⑥								
	11	11 保育実践論文中間発表会									
	12	12 保育実践の論文作成⑦									
	13	13 保育実践の論文作成®									
	14										
	15 保育実践研究論文最終発表会										
	F-3 b #*A	/m -la -la n h		(
152 Alle 50 377 Pm	_	: 保育実践	研究論文作成	(100%)							
授業の評価	「平常点	-									
	「その他」:										
課題 (レポート等) の フィードバック	保育実践	研究論文作成	にあたり助言	と添削をおこ	なう。						
事前・事後の学習等の 内容	事前学習:保育実践研究論文の作成にあたり質問事項を把握しておくこと 事後学習:教員の助言をもとに論文を文章化していく										
事前・事後の学習に必 要な時間	1単位に~	つき自習も含め	りて45時間の質	学習が必要です	上。事前学習 ((135分)事後学習(1:	35分)				
履修上の注意	 ・授業に積極的に参加し、必ずノートを取る。教授者のコメントもメモをとる。 ・教授者のアナウンス(授業に関するお知らせ等)を聞き逃さないようにすること。 ・遅刻、居眠り、私語、授業に関係ない行為、許可のないスマートフォン・タブレット等の電子機器の使用は、減点あるいは欠席扱いとする。 ・授業計画に沿って授業を行うが、進行状況によって前後することがある。 										
テキスト	適宜紹介	適宜紹介する									
参考書	適宜紹介	する									
その他	【オフィ	スアワー】随	時								

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
臨床心理アセスメ	ント	講義	2	2年次 後期	選択		竹本 聡子				
授業の到達目標	2. 保育カ	 ウンセラーの6 ウンセリング(メントによる	のアセスメン	理解する。 ト法を学ぶ。							
学位授与の方針 との関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力をを修得している。									
授業の概要	子どもの「個々の内面を理解する客観的方法(アセスメント)」としての「面接法」「観察法」 「検査法」の手法を学び、保育カウンセリングの視点から子どもの臨床的な援助の技法を検討 する。										
授業計画	回数 1 2 3 4 5 6 7	回数 授業内容 1 オリエンテーション:子どもの臨床心理アセスメントとは 2 保育カウンセラー導入の背景と役割 3 保育カウンセリングにおける臨床心理アセスメント 4 アセスメントの方法①:面接法 5 アセスメントの方法②:観察法 6 アセスメントの方法③:検査法									
[[八木町 四	8 保育現場におけるアセスメントの技法②:発達障害のグレーゾーン 9 保育現場におけるアセスメントと支援の方法 10 事例カンファレンス① (グループワーク) 11 事例カンファレンス② (グループワーク) 12 事例カンファレンス③ (グループワーク) 13 事例カンファレンス④ (グループワーク) 14 保育者における関連機関との連携 15 まとめ										
授業の評価	「平常点	€」:レポート ₹」:授業態度 1」:提出物	課題 70% 20% 10%								
課題 (レポート等) のフィードバック		-ト等の課題は、 日容に関する質問				⁻ る。					
事前・事後の学習 等の内容		亥当箇所の通読 受業後の内容の			0						
事前・事後の学習に 必要な時間		つき自習も含め 【(135									
履修上の注意											
テキスト	資料を配布する。										
参考書	適宜、資	適宜、資料を配布する。									
その他	【オフィスアリ	7-】随時				-					

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
相談援助研究	演習	2	2年次 後期	選択		山本 邑太						
授業の到達目標	1. 子どもの育ちにかかわる様々な課題、保護者のニーズについての理解を深める。2. 保育及び教育の現場で相談援助や保護者支援を行う際の視点・考察力を身につける。											
学位授与の方針 との関連	より高度	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力をを修得している。										
授業の概要	子どもや	ソーシャルワークについての理解を深め、さらにそれを演習によって深める。事例をもとに 子どもや保護者のこころの動きを考えたり、模索しながら、保育者に求められる役割につい て共に考える。										
	回数 授業内容 1 オリエンテーション (相談援助とは) 2 ソーシャルワークの考え方と視点 3 ソーシャルワークの機能と実際 4 ソーシャルワークの方法と技術											
授業計画	5 6 7 8 9	ソーシャルワ 保護者との関係 地域子育て支持 事例分析に必 保育者の資質 保育所におけ	係構築 援 要な手法 向上に向けた	事例分析								
	14 15	12 知的障害児施設における相談援助の事例分析 13 児童家庭支援センターにおける相談援助の事例分析 14 児童相談所における相談援助の事例分析 15 まとめ										
授業の評価	「平常点	き」:筆記試験 〔」:授業態度、 1」:レポート等	講義ノート									
課題 (レポート等) のフィードバック		-ト等の課題は、 3容に関する質問										
事前・事後の学習 等の内容	予習:テキストや参考書の該当箇所を通読し、各回の授業内容の概要を把握しておくこと。 毎時間、次回授業の主要な内容について予習を課す。 復習:テキスト、参考書、配布プリント等を通読し、各回の授業内容について理解を深めて おくこと。毎授業後に復習を求める。その際、レポートを課すことがある。											
事前・事後の学習に 必要な時間	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。											
履修上の注意	与えられた課題は必ず期限を守ること。											
テキスト		『保育実践に求められるソーシャルワーク』橋本好市・直島正樹編 ミネルヴァ書房 その他、必要に応じて資料を配布する。										
参考書		・考図書を指定で 必要に応じて資		ేవ.								
その他	【オフィスア!	7-】講義日のお	をはみ。									

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
				2年次								
子どもと健康	ŧ	演習	2	2十八	選択		小野 昌二					
				前期								
	1. 乳幼	児の心身にと・	って健康で安	全な保育・教	育を理解する							
	1. 乳幼児の心身にとって健康で安全な保育・教育を理解する 2. 現代社会における乳幼児の心身の発達に影響を及ぼす問題点を認識し、保育に必要な援助・支援の											
授業の到達目標	あり											
	(4)	あり方に関する知識を獲得する。										
	より高度の幼児教育に関する専門的知識・技術及び実践力をを修得している。											
	より同反	と (27分) がし (名) 目 (二)	判り ②号门印		い天成刀をで	写行している。						
学位授与の方針												
との関連												
	乳幼児の)健康と安全に	関する知識を	習得し保育者	に必要とされる	る判断力や実践力を身に付け	る。					
授業の概要												
1又未り似安												
	回数				授業	内容						
	1	オリエンテー	ション									
	2	健康保育・安										
	3				更領 • 保育所							
	4	現代社会にお										
		保育環境にお				☆ 净						
	5											
	6					もの健康状態の特性						
授業計画	7					もの生活習慣と健康						
		8 幼稚園・保育園における乳幼児の健康管理(3)健康と遊び・運動について										
	9	9 幼稚園・保育園における乳幼児の健康管理(4)感染症・衛生、疾患と障害を持つ子供の保育										
	10											
	11											
	12											
	13											
	14	14 乳幼児の健康な生活習慣に関する取り組みと保護者啓発について (グループ討議・ワーク)										
	15	15 乳幼児の健康な生活習慣に関する取り組みと保護者啓発について (グループ討議・ワーク) (評価)										
	「試 駿	〕:レポート	(40%)									
授業の評価	「平常点	〔」:受講態度	・取り組み	(40%)								
	「その他	1」:提出物	(20%)									
	提出物は	出物は授業時に返却し説明する。										
課題(レポート等)	質問につ	質問については、授業時に全体に向けて回答し説明する。必要に応じて個別に説明する。										
のフィードバック												
	課題に応	関題に応じて予習・復習し授業内容のまとめを行うこと。										
東芸 東然の労羽	1,000		H - 1242/14: 1 H		, 0							
事前・事後の学習 等の内容												
4.51.15												
	1 224 (da) =	1単位につき自習も含めて45時間の学修が必要です。										
事前・事後の学習に												
必要な時間	事前字省	135	分) 事行	後学習 (1	35 分)							
	٠ مالد تصل	11. 7 46 4 4	10 VEL 3- VA-+L .	三五/元 1 - 平								
		ける態度や取										
履修上の注意	授業態度	が著しく悪い	場合は退場を	命じることが	ある。							
及砂工ジエ心												
	適宜資料	等を配布										
テキスト												
	『幼稚園	教育要領解説。	』(文部科学	省)								
参考書	『これな	らわかる!子	どもの保健演	:習ノート』(診断と治療社)							
	子どもと	健康[第2版]	(みらい)									
	+											
その他	[L 474A75	フー】授業の前後	£									
·												

科目名		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名					
情報処理研究	研究Ⅱ 演習 2 2年次 前 期 選択 注											
授業の到達目標	2. スマー	1. ビジネスソフトを実践的に活用するための色々な機能について理解する。 2. スマートフォン・USBフラッシュメモリ内のデータをPCで活用できるようになる。 3. Web作品、クラウドストレージ上のデータを活用できるようになる。										
学位授与の方針 との関連	教科学習	対科学習及び実習を通じて実践力を修得している。										
授業の概要	情報活用	スマートフォンやUSB、Webやクラウドストレージ内のデータ活用と多岐にわたる 青報活用を通してICT活用力を向上させるとともに今後の情報社会でのICT活用に ついて考える。										
授業計画	回数 授業内容 1 スマートフォンとクラウドストレージ活用について 2 文書処理ソフト (Word)による作品1作り① 3 文書処理ソフト (Word)による作品1作り② 4 文書処理ソフト (Word)による作品1作り③ 5 文書処理ソフト (Word)による作品2作り① 6 文書処理ソフト (Word)による作品2作り② 7 文書処理ソフト (Word)による作品3作り③ 8 表計算処理ソフト (Excel)による作品作り① 9 表計算処理ソフト (Excel)による作品作り① 9 表計算処理ソフト (Excel)による作品作り② 10 表計算処理ソフト (Excel)による作品作り③ 11 表計算処理ソフト (Excel)による作品作り④ 12 プレゼンテーションソフト (PowerPoint) による作品作り① 13 プレゼンテーションソフト (PowerPoint) による作品作り② 14 プレゼンテーションソフト (PowerPoint) による作品作り②											
授業の評価	「試 験 「平常点 「その他] :	作品2点、表記 (% (%)	Pp作品1点 25	5点×4=100点(10	00 %)					
課題 (レポート等) のフィードバック	・ソフト	・スマートフォンとPC接続等の活用について助言助力する。・ソフトによるファイル作成、機能使用をチェックし、理解不足について指摘し補う。・授業内容に関する質問については個別に質問を受け回答する。										
事前・事後の学習 等の内容		予習:次回テーマに該当するソフト機能等を学習し、ファイル作成を検討しておくこと。 復習:授業で学んだ機能、技術等について理解を深めておくこと。										
履修上の注意		社会では情報処理能力が求められている。ソフトの機能を駆使した情報発信ができること もその一つである。社会人としての情報処理能力を修得するように意識して学ぶこと。										
テキスト	指定なし	指定なし										
参考書												
その他	【オフィスアワ	-】授業の前後	ž									

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
修了研究Ⅱ-1	-1 演習 6 Z年次 選択										
授業の到達目標	1. 研究論文の書き方を理解する 2. 結果、考察、結語、引用文献が研究テーマや目的と合致するようにまとめる 3. 研究の意義と残された課題、要旨を完成させ、第三者に伝わるプレゼンテーションを行う										
学位授与の方針 との関連	専門分野	専門分野の研究能力を身につけている。									
授業の概要	前期は、論文の完成を目指し取り組む。調査。観察。実践などの結果整理を行う。 同時に考察を進め、論文の概要を整える。前期中の完成を目指して、論文の全体像を明確にする。										
	回数				授業	内容					
	1	オリエンテー									
	2	研究テーマ									
	3	先行研究の词	<u></u> 自加								
	4	研究の方法									
	5	倫理的配慮									
	6	研究計画の多	* *								
授業計画	7	研究の結果の									
***************************************	8	研究の結果の	り図表化								
	9 結果の整理										
	10 研究の考察 1 Transaction Trans										
	11 研究の考察 2 RB なわ た 部 B B B B B B B B B B B B B B B B B B										
	12 残された課題										
	13 註、引用文献、参考文系										
	14 謝辞と目次 15 最終チェック										
	15 r⇒+ #A	取於アエツ? :」:筆記試験									
授業の評価		() : 軍託武級 () : 出席状況		400/.)							
1文未り計画		、」 . 四席40亿 :課題(10		40 /0 /							
課題(レポート等)			· ·	仕して返却す	z						
のフィードバック		容に関する質									
	1単位に~	つき自習も含め	って45時間の	学修が必要です	T ₀						
事前・事後の学習 等の内容	事前学習	1 (225 <i>5</i>	分) 事後学習	图 (225	分)						
履修上の注意	課題の提出期限は必ず守ること										
テキスト											
参考書	研究テー	研究テーマに応じて指示する									
その他	【オフィスアワ	一】授業の前後	Ź								

科目名/カリキュラムNO.		授業形態	単位数	開講時期	卒業必・選	免許・資格	担当者名				
修了研究Ⅱ-	2	演習	6	2年次 通期	選択		津田 由加子 井口 佳江				
授業の到達目標	2. 関心	1. 研究論文の書き方を理解する 2. 関心のある事項から各自テーマを決め、研究の目的、方法、具体的な実施計画を作成する 3. 第三者に伝わるようにプレゼンテーションを行う									
学位授与の方針 との関連	専門分野	専門分野の研究能力を身につけている。									
授業の概要	後期は、最終チェックと提出を行う。また、論文について討議を行い、関連分野への 知見を加え学びを深める。修了時期には研究成果として学内発表を行う準備を進める。										
	回数				授業	<u>-</u> - 内容					
	1	論文提出									
	2	残された課題	頁1								
	3	残された課題	頁2								
	4	全体討議1									
	5	全体討議2									
	6	全体討議3									
授業計画	7	全体討議4									
1文 来 計 画	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13 配布資料作成										
	14										
	15	修了研究発表									
		試 験」:筆記試験 (50%)									
授業の評価		: 出席状況		40%)							
	「その他	」:課題(10	%)								
課題 (レポート等) のフィードバック		・ト等の課題は 容に関する質				,					
事前・事後の学習 等の内容											
履修上の注意	意 課題の提出期限は必ず守ること										
テキスト											
参考書	研究テー	研究テーマに応じて指示する									
その他	【オフィスアリ	7-】授業の前後	Ž								